

ISSN 1346-7328

国総研資料 第405号

平成 19 年 6 月

国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of
National Institute for Land and Infrastructure Management

No.405

June 2007

災害情報共有プラットフォーム標準仕様書

STANDARD SPECIFICATIONS FOR A DISASTER INFORMATION PLATFORM

国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure and Transport, Japan

災害情報共有プラットフォーム標準仕様書

金澤 文彦*, 小原 弘志**, 大手 方如***, 山本 剛司****, 上坂 克巳*****

STANDARD SPECIFICATIONS FOR A DISASTER INFORMATION PLATFORM

Fumihiko KANAZAWA*, Hiroshi OBARA**, Masayuki OOTE***,
Takeshi YAMAMOTO****, Katsumi UESAKA*****

概要

本資料は、災害情報の標準化により地方整備局棟の災害対策業務における情報共有を改善するため、システム連携インタフェース、データ辞書等の災害情報に関する一連の標準仕様を策定したものである。

キーワード：災害情報，データ辞書，システム連携インタフェース

Synopsis

This report describes standard specifications for a interface and the data dictionary for a disaster information platform to improve the information sharing in regional development bureaus by standardizing disaster information.

Key Words : disaster information, data dictionary, system interface

* 情報基盤研究室 室長

* Head of Information Technology Division

** 情報基盤研究室 主任研究官

** Senior Researcher of Information Technology Division

*** 情報基盤研究室 研究官

*** Researcher of Information Technology Division

**** 情報基盤研究室 交流研究員

**** Guest Research Engineer of ITD

***** 広島国道事務所 所長
前 情報基盤研究室 室長

***** Hiroshima National Highway Office (former Head
of Information Technology Division)

目次

第1編 災害情報共有プラットフォーム

0.本書の位置づけ	1-1
1. 目的	1-3
1.1. 背景と目的	1-3
1.2. 本書の役割と標準化	1-4
2. 対象範囲	1-7
2.1. 情報システムの役割	1-7
2.2. インタフェースによる連携の対象となるシステム	1-7
2.3. システム利用者	1-7
2.4. システム全体構成	1-8

第2編 システム連携標準インタフェース仕様書(案)

1. 概覧	2-1
1.1. 目的	2-1
1.2. 適用範囲	2-1
1.3. 引用規格	2-1
2. システム連携標準インタフェース仕様	2-2
2.1. 定義	2-2
2.2. インタフェースの種類	2-2
2.3. 実装方式	2-2
2.4. 接続方式	2-2
2.5. 公開・管理方式	2-3
3. システム連携標準インタフェース関数仕様	2-4
3.1. 災害情報取得・更新のためのインタフェース	2-4
3.2. 災害情報概要取得のためのインタフェース	2-15
3.3. 位置参照サービスのためのインタフェース	2-18

第3編 災害情報 データ辞書(案)

1. 概覧	3-1
1.1. 目的	3-1
1.2. 拡張についての考え方	3-1
1.3. 引用規格	3-2
2. 適用範囲	3-2
3. データ辞書識別	3-2
4. データ内容及び構造	3-3
4.1. データ内容	3-3
4.2. データ構造	3-48
5. 参照系	3-53
5.1. 時間参照系	3-53
5.2. 座標参照系	3-53
5.3. 地理識別子による空間参照系	3-53
6. データ製品配布	3-58
6.1. 配布形式情報	3-58
6.2. 配布媒体情報	3-68
7. メタデータ	3-68
附属書1 災害情報データ辞書(案) 拡張規則	3-69
1. 本附属書の位置づけ	3-69
2. 拡張のための規則	3-70
3. 制限のための規則	3-71
附属書2 他のデータ辞書からの引用	3-72

1. 本附属書の位置づけ	3-72
2. JPGIS (Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 ...	3-73
2.1. 空間スキーマ	3-73
2.2. 時間スキーマ	3-75
2.3. 地理識別子による空間参照	3-79
3. 各分野の標準仕様	3-84
3.1. 道路通信標準 (Ver1.05) データディクショナリ編	3-84
3.2. 河川基幹データベースシステム標準仕様 (案) 第 2.1 版	3-119
4. JMP2.0 (日本版メタデータプロファイル)	3-121

第1編 災害情報共有プラットフォーム

第 1 編 目次

0.本書の位置づけ	1
1. 目的	3
1.1. 背景と目的	3
1.2. 本書の役割と標準化	4
1.2.1. データの標準化とは	5
1.2.2. インタフェース仕様の標準化とは	5
1.2.3. 標準化したインタフェースによる標準化したデータの交換	6
1.2.4. 災害情報共有プラットフォームにおけるシステム連携標準インタフェース仕様(案)及びデータ辞書(案)の適用	6
2. 対象範囲	7
2.1. 情報システムの役割	7
2.2. インタフェースによる連携の対象となるシステム	7
2.3. システム利用者	7
2.4. システム全体構成	8

0.本書の位置づけ

本書は、国土交通省の総合技術開発プロジェクト「リアルタイム災害情報システムの開発」(以下 RT 総プロ)の一環として、全体的な設計構想(システムアーキテクチャ)に基づき個別の情報システムを構築・運用することで各種の課題を解決しようとした検討業務の成果の一つである。

災害対応時には様々な情報が必要となるが、情報を扱う人あるいはシステム間での定義が異なるため相互流通を阻害する一因となっている。そこで本書第3編データ辞書(案)では、国土交通省内における災害対応業務において必要となる情報(災害情報)の流通性を高めるために、必要な情報を整理し、相互理解が可能な仕様としてまとめた。また、本書第2編においてはそれらの情報を異なるシステム間で相互流通させるためのインタフェース仕様をまとめた。

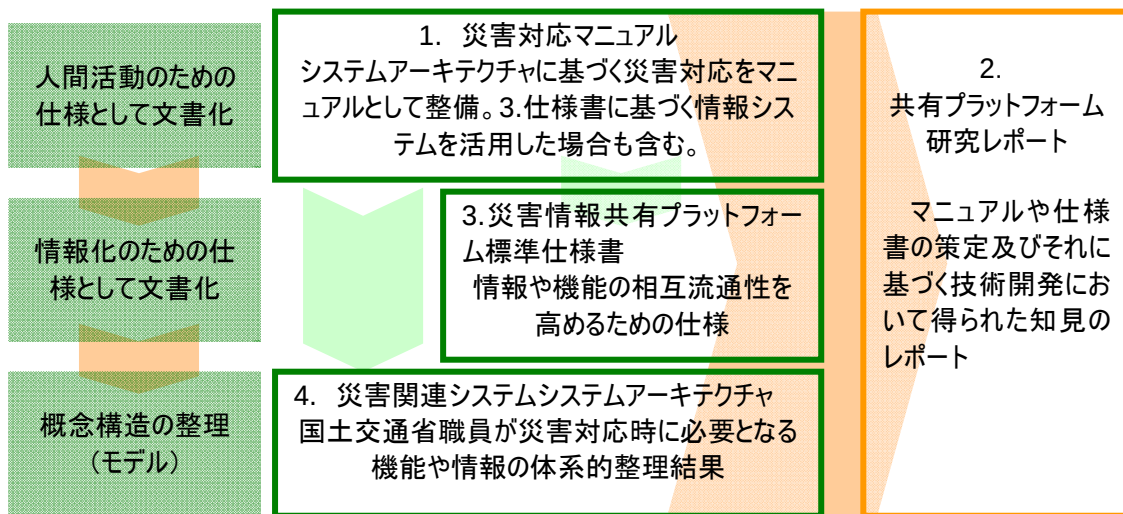
RT 総プロにおいては、災害対応におけるこれらの有用性及び実用性を確認するために災害情報共有プラットフォームシステムの開発を行い、実証実験によりインタフェースの評価を実施した。実証実験によって得られた課題を反映し、データ辞書(案)及びシステム連携標準インタフェース仕様書(案)を策定しているが、運用にあたっては本書が引用する規格の動向や実際に連携する既存・新規のシステムの状況や動向に応じて今後見直しを行うことも必要になる。

他のドキュメントとの関係

RT 総プロにおいては以下の 4 つのドキュメントを 3 カ年の検討成果とする。

1. 災害対応マニュアル
2. 共有プラットフォーム研究レポート
3. 災害情報共有プラットフォーム標準仕様書 [本書]
4. 災害関連システムシステムアーキテクチャ

各ドキュメントの位置づけ及び本書との関係を以下に示す。



本書の利用方法

本書は、災害対応の様々な局面で必要となる情報の相互流通性を高めることを目的として作成されたものである。よって、今後新たなシステム開発を行う場合、あるいは既存システムから情報を取得するためのインタフェース開発を行う場合には、本書に示す仕様に準拠し構築することが望まれる。

ここでは、システム開発の指示を出す「発注者」及び実際に開発作業を行う「開発者」を対象として本書の利用方法を示す。なお、システム開発においては「利用者」が最も重要な要素として存在し、「発注者」を兼ねる場合が多い。しかしながら本書は、システム開発を支えるデータ構造や関数の仕様を定めるものであ

る, UI (User Interface) をなんら規定するものではない。つまり「利用者」が本書を利用することはない。

発注者

本書の第 1 篇及び各編に提示される概要(目的や引用規格等)を読み, 情報の相互流通性における標準化の重要性を理解する。また, 現在様々な組織において同様の取組みが検討されているため, これらの情報収集に努めると共に, 国内や国外における規格化動向についても考慮し, 不整合がないよう努力する。

開発者

本書に規定する全ての技術的仕様を理解し, 開発作業に従事すること。

1.目的

1.1.背景と目的

これまでのシステム開発(図 1)では、災害対応の業務における個別の課題解決を目的とするものが多く、結果として類似した機能やデータを扱うシステムが乱立した。

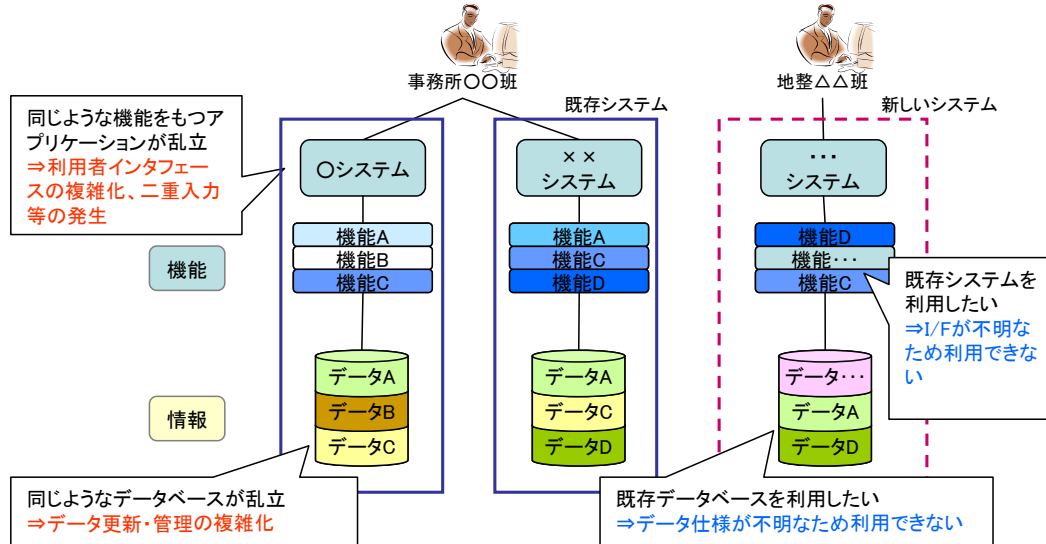


図 1 これまでのシステム開発

そこで、災害対応の業務を俯瞰し、災害関連システムアーキテクチャ(災害対応業務の分析結果)を作成することにより、災害時に「誰が(アクター)」「どのような情報を(情報)」「どのように使うか(機能)」を体系的に整理した(図 2)。

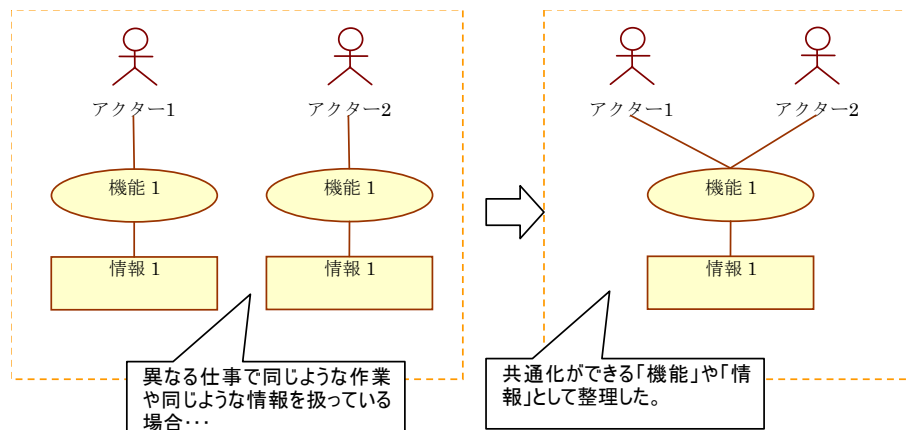


図 2 災害関連システムアーキテクチャの作成

この災害関連システムアーキテクチャを利用し、災害対応業務全体を大きな一つのシステムとして捉えることにより、将来的には 図 3 のような枠組みで情報や機能を共通に利用することを目指す。

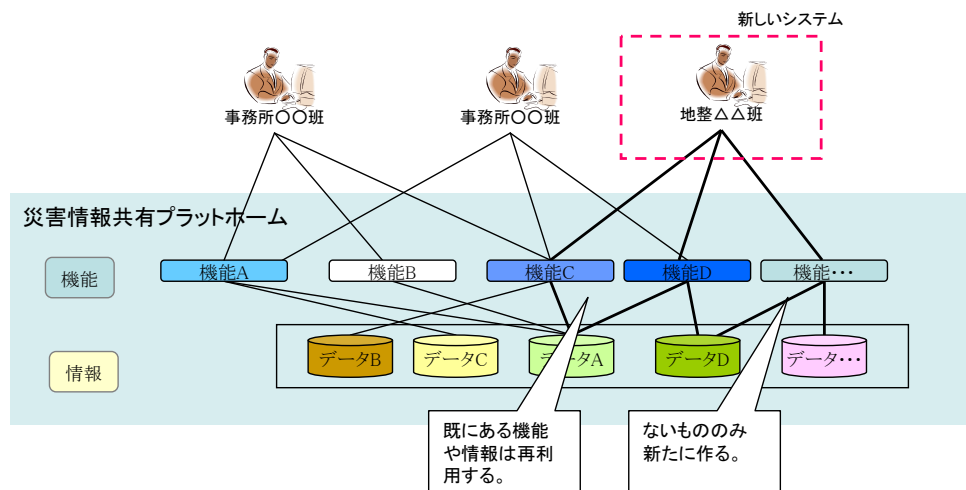


図 3 これからのシステム開発

災害情報共有プラットフォームの定義

本書においては 図 3 のような将来的な枠組みを視野に入れ、災害情報共有プラットフォームを

「災害対応時に、国土交通省の職員（事務所、地方整備局、本省）がそれぞれの役割に必要な情報を見るための情報の基盤」

として定義し、各役割を果たす際に、機能を使って必要な情報を加工し見ることを実現することを目的とする(図 4)。

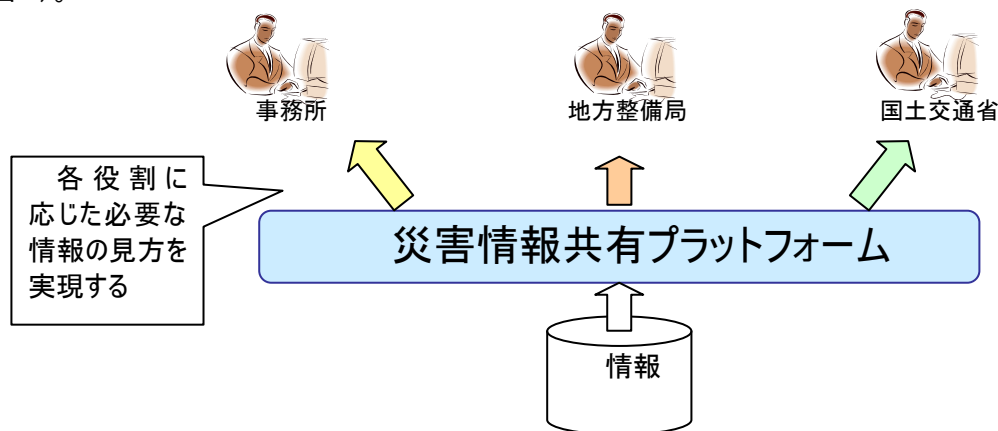


図 4 災害情報共有プラットフォームの枠組み

1.2.本書の役割と標準化

本書は、災害情報共有プラットフォームを情報システムによって実現することを目指し、必要となる要素技術の仕様を定めるものである。

災害対応においては、国土交通省内においても出張所～事務所～地方整備局～本省と下位及び上位機関での情報のやり取りや、河川～道路～企画と異なる部門間での情報のやり取りが発生する。また国土交通省で収集する各種情報（施設被害や交通規制）は、他省庁においても災害概要あるいは復旧活動を行う上で重要な情報であり、省庁間でのやり取りも発生する。

情報をやり取りする際には、迅速性や確実性が重要視されるとともに、やり取りの過程において誤りや誤解が発生することは許されない。特に機関や部門が異なるため、使用している言葉や言葉の意味が異なることが想定される。そこで、迅速性や確実性を担保するための最適な手段として災害情報共有プラットフォームを実現すべく、データやインターフェース仕様の標準化を行う。

1.2.1. データの標準化とは

データの標準化とは、「提供者・利用者間で『やりとり(要求と応答)』されるデータの定義・構造を標準化する」ことである。提供者・利用者間で、データに対する相互理解をえることを目的とする。その「やりとり」の方法にはこだわらない。システム間でインタフェースを介してやり取りしてもよいし、CDなどの媒体を用いてもよい。

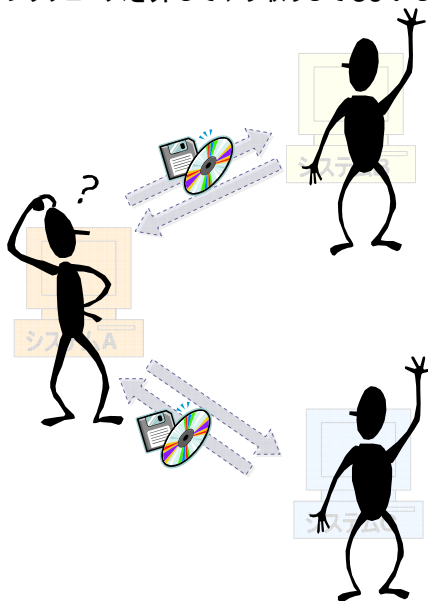


図 5 データ辞書

1.2.2. インタフェース仕様の標準化とは

災害対応では国土交通省内外において様々な組織の協力が必要となる。これら組織間の連携なくしては迅速・円滑な災害対応を実施することができない。そこで組織間でのデータのやり取りを円滑に行うため、やり取りの方法を本仕様書(案)においてインタフェース仕様として定めることとした。各組織がもつシステムは本仕様書(案)に定めるインタフェースを実装することにより、データのやり取りを行うことができる。

インタフェース仕様ではアプリケーションプログラム間での「やりとり」(要求と応答)の方法を標準化する(標準 I/F)。この標準 I/F を実装することにより、異なるシステムとのやり取りを行う際に、相手となるシステムごとに要求の方法や応答の解釈の方法を実装する必要がなくなる。なお、「やりとり」とは必ずしもデータのやり取りだけではなく、相手となるシステムの機能を起動することも含まれる。

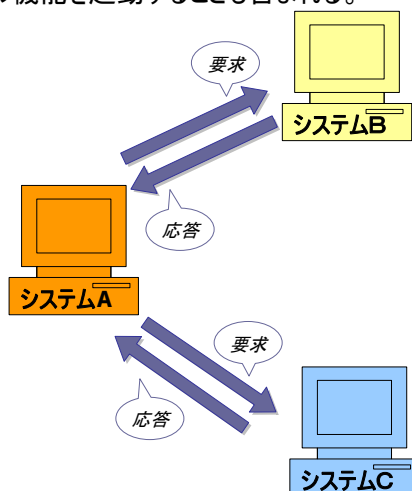


図 6 標準インタフェース

1.2.3. 標準化したインターフェースによる標準化されたデータの交換

データをやりとりするための I/F を細かく規定すると、システム間でのデータのやりとりには「データの標準化」が不要に見えるが、やりとりするデータに応じた膨大な数の I/F を規定し、その I/F を実装しなければならない。例えば、あるシステム(A)が二つのシステム(B, C)に分散して存在するデータを取得したいとする。I/F が標準化されていればシステム A は、システム B 及び C に対して同じ方法(標準 I/F)でデータを要求することができる。システム B 及び C からの応答の方法も同じであるため(標準 I/F)、システム A は、同じ方法(標準 I/F)で応答を理解することができる。さらに、データが標準化されていればシステム A は、システム B 及びシステム C の応答に含まれるデータの構造を理解することができる。

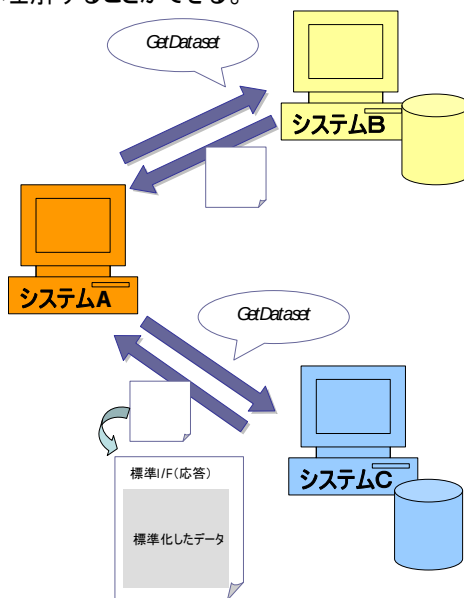


図 7 標準インターフェース及びデータ辞書の必要性

1.2.4. 災害情報共有プラットフォームにおけるシステム連携標準インターフェース仕様(案)及びデータ辞書(案)の適用

本書においては、標準インターフェースによって他のシステムに存在するデータを取得することにより、既存システムに存在するデータを活用する。

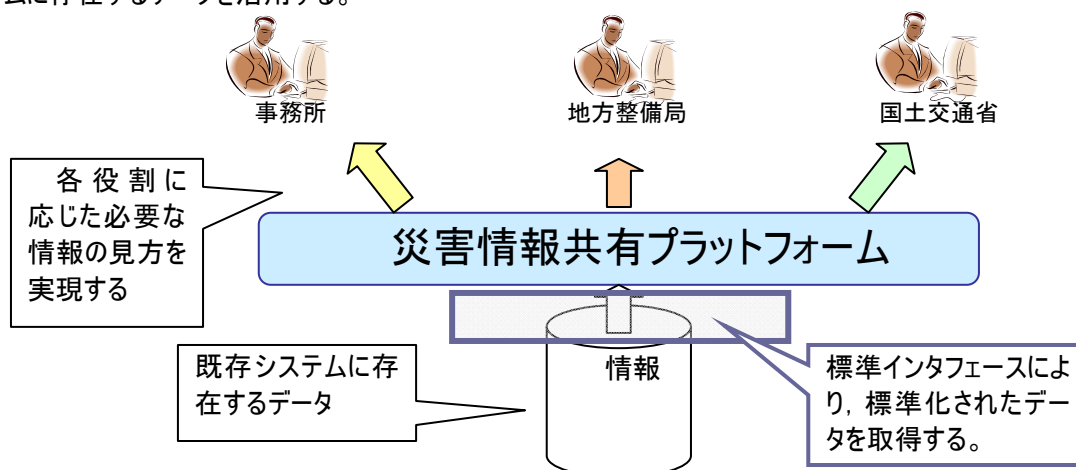


図 8 標準インターフェース及びデータ辞書の利用

2.対象範囲

2.1.情報システムの役割

本書におけるシステム化対象業務は、国土交通省の地方整備局及び事務所における災害対策本部/支部運営要領に示される分掌事務である。これらの業務に対して、本システムは、情報を共有するために

- 情報の閲覧
- 情報の抽出
- 情報の登録

の三つの役割を担うものとする。また既存システムとの関係を 図 9 に示す。

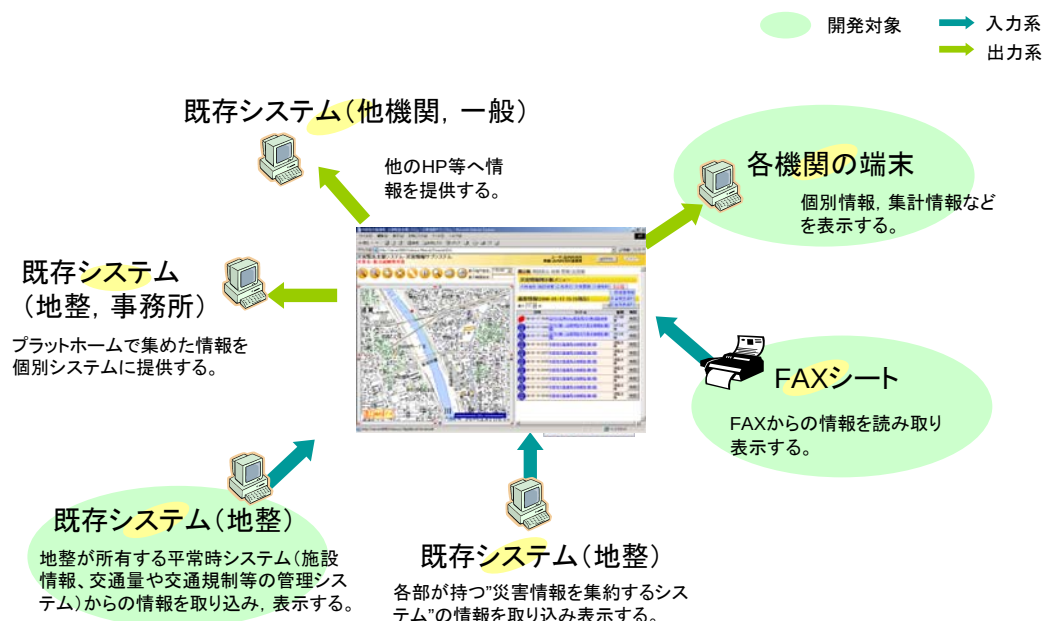


図 9 本システムと既存システムとの関係

2.2.インタフェースによる連携の対象となるシステム

本システムとの連携対象となるシステムは以下の要件を満たしていることを想定する。

- 災害対応に有用な情報を蓄積・管理していること。
 - 本システムのサーバとネットワーク的な接続が可能であること。
 - 第 2 編で定める連携のための標準インタフェースを実装し、本システムから連携インタフェースを解して情報の取得が可能であること。
- （連携先のネットワーク情報や情報の種類や項目はあらかじめ本システム側で設定をしておくこととし、これらを動的に連携することは想定しない。）

2.3.システム利用者

本システムの利用者は

国土交通省 本省（災害対策室、河川局治水課、道路局道路防災対策室）
地方整備局 災害対策本部（本部会議）、災害対策本部（企画部）、各部（河川部、道路部）
事務所

とする（図 10）。

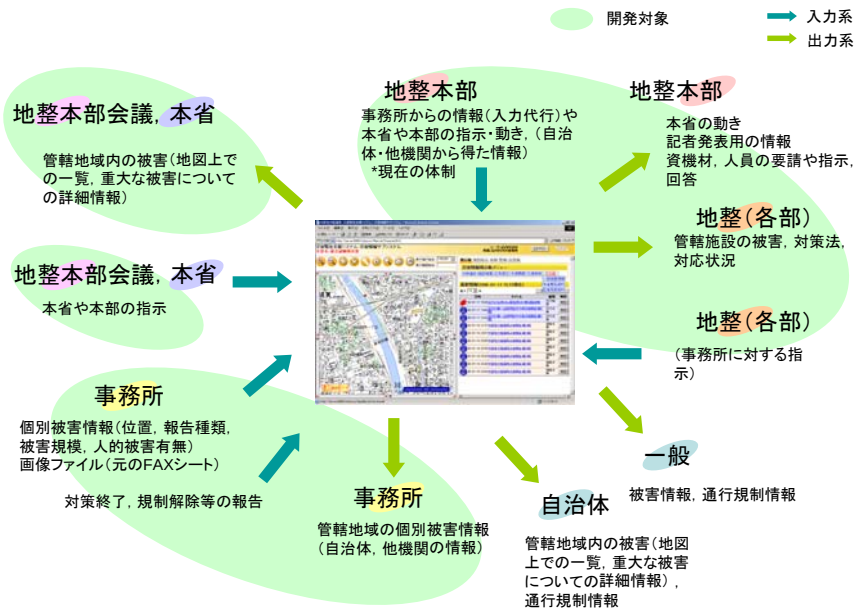


図 10 本システムの利用者

将来的には、関係自治体との連携や一般住民への情報提供などにより、自治体職員や一般住民も利用者となることが想定されるが、現段階では国土交通省内での利用を想定する。

2.4.システム全体構成

システム全体像を図 11 に示す。標準インタフェースにより既存システムから取得した情報を必要に応じて加工し閲覧する。なお、紙資料から位置や時間の情報を読み取り、共有することも対象とする。

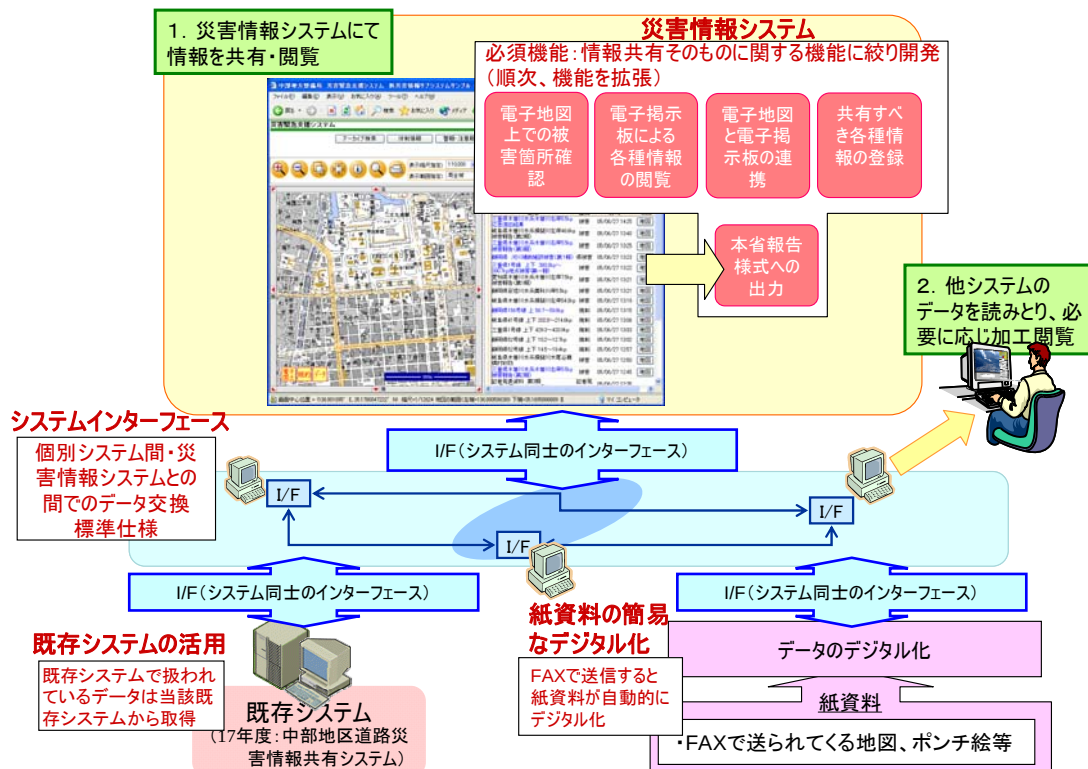


図 11 システム全体像

第 2 編 システム連携標準インターフェース仕様書(案)

第 2 編 目次

1. 概覧	1
1.1. 目的	1
1.2. 適用範囲	1
1.3. 引用規格	1
2. システム連携標準インタフェース仕様	2
2.1. 定義	2
2.2. インタフェースの種類	2
2.3. 実装方式	2
2.4. 接続方式	2
2.5. 公開・管理方式	3
2.5.1. 公開についての考え方	3
2.5.2. 管理についての考え方	3
3. システム連携標準インタフェース関数仕様	4
3.1. 災害情報取得・更新のためのインタフェース	4
3.1.1. 関数	4
3.1.2. 構造体	7
3.2. 災害情報概要取得のためのインタフェース	15
3.2.1. 関数	15
3.2.2. 構造体	16
3.3. 位置参照サービスのためのインタフェース	18
3.3.1. 関数	18
3.3.2. 主な構造体	20

1.概覧

1.1.目的

これまで国土交通省内においては業務を支援するためのさまざまな情報システムが構築されてきた。しかしながら情報システムの多くは独自のインターフェースをもち、情報システム間のデータ交換が困難であった。

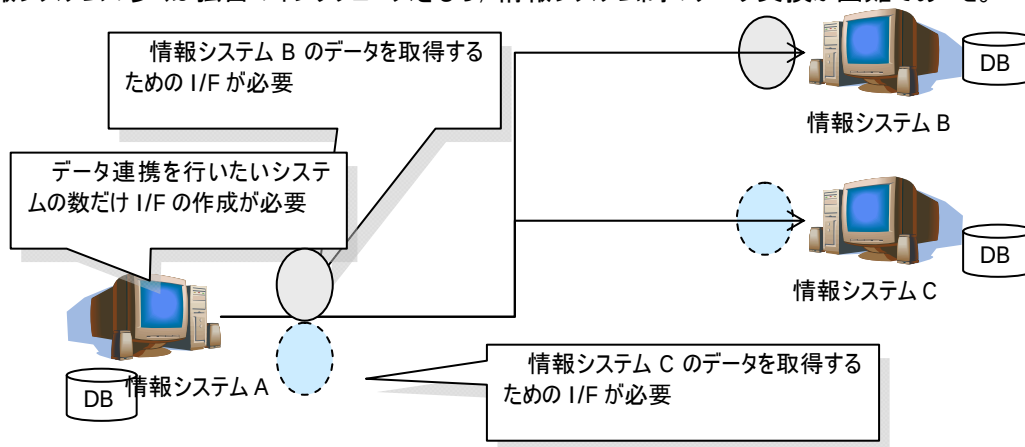


図 12 これまでのデータ交換

本システムインターフェース仕様(案)は、異なるシステム間でのデータ連携を効率的に行うための標準的なインターフェースの仕様を定めるものである。

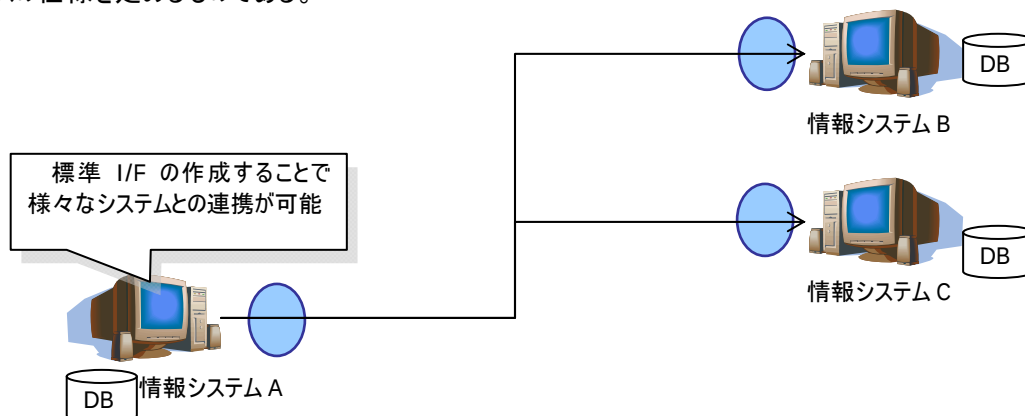


図 13 これからのデータ交換

1.2.適用範囲

本システム連携標準インターフェース仕様書(案)の適用範囲は、国土交通省内における、災害情報共有プラットフォームシステムとデータ連携を行う情報システムを対象とする。

本仕様書においては、個別システムに散在する各種情報に対して、災害情報共有プラットフォーム上で一元的に閲覧することを実現するために必要となるインターフェース仕様を規定する。

1.3.引用規格

本システム連携標準インターフェース仕様書(案)は以下の規格から引用する。これにより本システム連携標準インターフェース仕様書(案)の一部を構成する。

[[引用する規格]]

- ・Web Services Architecture, W3C Working Group Note 11 February 2004, W3C
- ・Simple Object Access Protocol (SOAP) 1.1, W3C Note 08 May 2000, W3C
- ・Web Services Description Language (WSDL) 1.1, W3C Note 15 March 2001, W3C
- ・河川 GIS・河川アプリケーション標準インターフェースガイドライン 第 1.0 版(案)(国土交通省河川局)

2.システム連携標準インタフェース仕様

2.1.定義

本仕様書(案)で適用するインタフェースとは、インターネット/イントラネット環境で動作する災害対応時に必要となるデータを擁する各種システム間を相互接続するための仕様を指す。

2.2.インタフェースの種類

本仕様書(案)で規定するインタフェース仕様は以下に示す 3 種類である。

災害情報取得・更新のためのインタフェース

個別システムから情報を取得する、または個別システムの情報を更新するためのインタフェース

災害情報概要取得のためのインタフェース

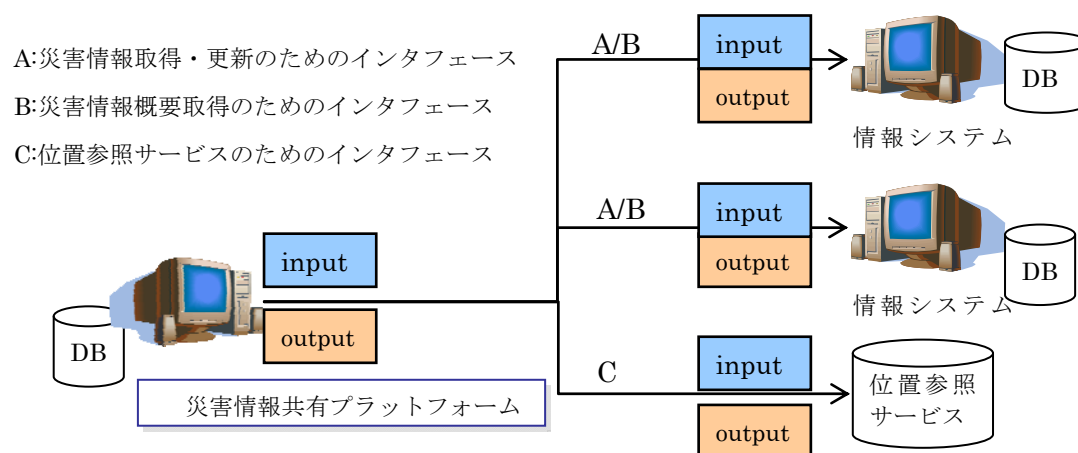
個別システムによって格納されたデータから、必要最小限の情報(概要)のみを取得するためのインタフェース。

インタフェースを用いると全ての災害情報を取得することが可能であるが、取得するデータ量の軽減による処理の迅速性を増すために当該インタフェースを定めることとした。

位置参照サービスのためのインタフェース

データがもつ位置情報を相互変換(座標⇄住所、座標⇄距離標)するためのインタフェース。

各種システムがもつ災害情報は、位置情報として「座標」をもつ場合や「住所」あるいは「距離標」をもつ場合がある。これらの情報を必要に応じて関連付けるため、当該インタフェースを定めることとした。



2.3.実装方式

本仕様書(案)で定める関数仕様の実装方式として、以下の 2 種類を定める。

方式1) HTTP による POST/GET を利用した実装

方式2) HTTP による SOAP と WSDL を利用した実装

2.4.接続方式

システム間での接続は、インタフェースを介して行う。システム間での接続に用いる通信プロトコルは、HTTP とし、以下のうちいずれかの方式とする。

方式1) POST/GET により行う場合

方式2) SOAP により行う場合

アプリケーション間で接続を行う場合には、基本的に以下の手順で行う。

- (1) システムとサービスを提供するシステム間の接続認証
- (2) システムによる具体的な命令の送信
- (3) サービスを提供するシステムによる命令に対する処理結果の送信

2.5.公開・管理方式

2.5.1.公開についての考え方

(1) システムは、本ガイドラインで定めた関数仕様、実装仕様に基づくインタフェースを公開する。公開したインタフェースを介して、複数の異なるシステムに対してサービスを提供する。

(2) システムは、公開されたインタフェースを介して、複数の異なるシステムに対して、サービスの提供を依頼する。

2.5.2.管理についての考え方

標準インタフェースが公開され、システム間を自由に接続できるようになったとしても、どこにどのようなインタフェースを提供するシステムがあるのか分からなければ、そのインタフェースを利用することは出来ない。そのため、将来的にはシステムの登録や認証、管理を行う仕組みが必要となる。

3. システム連携標準インタフェース関数仕様

3.1. 災害情報取得・更新のためのインタフェース

災害情報取得・更新のために利用されるインタフェース関数を定義する。ここでは、河川 GIS・河川アプリケーション標準インタフェースガイドライン 第 1.0 版(案)から、本インタフェース仕様として利用する関数を抽出した。

機能分類	機能	内容	関数名	備考
初期設定	ログイン	セッションを確立してサービスの利用を開始する	Initialize	
	ログアウト	セッションを破棄してサービスの利用を終了する	Terminate	
検索	ID 指定の地物検索	地物の ID を指定して検索し、発見された地物の情報を取得する	GetFeature	
	点座標指定の地物検索	点の座標を指定して検索し、発見された地物の情報を取得する	(GetFeature)	
	面指定の地物検索	面の座標を指定して検索し、発見された地物の情報を取得する	(GetFeature)	
	属性指定の地物検索	地物の属性に条件を設定して検索し、発見された地物の情報を取得する	(GetFeature)	
編集	地物編集ロック	地物に対して編集ロックをかけて他ユーザによる編集を禁止する	LockFeature	オプション
	地物編集ロックの解除	地物に対する編集ロックを解除して他ユーザによる編集を許可する	Transaction	オプション
	地物追加	新しい地物を登録する	(Transaction)	オプション
	地物削除	既存の地物を削除する	(Transaction)	オプション
	地物編集	既存の地物を編集する	(Transaction)	オプション

※関数名の()は、別の機能で定義されている関数であることを示す

3.1.1. 関数

3.1.1.1. GetFeature

関数名	GetFeature	
説明	地物の属性に条件を設定して検索し、発見された地物の情報を取得する	
引数	型	名前
	FeatureCondition	condition
	構造体	
	論理	doGetSpatialInfo
戻り値	FeatureInfo 構造体の配列	
	発見された地物の情報のリスト	
関連項目	FeatureCondition 構造体, FeatureInfo 構造体	

3.1.1.2. Initialize

関数名	Initialize	
説明	セッションを開始する (Initialize が成功した時点から Terminate が成功する時点までをセッションとする)	
引数	型	名前
		説明
		(なし)
戻り値	文字列	セッション ID
関連項目	Terminate	

3.1.1.3. LockFeature

関数名	LockFeature	
説明	地物に対して編集ロックをかけて他ユーザによる編集を禁止する	
引数	型	名前
	FeatureIdentifier 構造体の配列	featureIdentifiers
		説明
		ロックする地物識別子のリスト
戻り値	文字列の配列	指定された地物 ID に対応するロック ID のリスト ※ロック ID は地物 ID とは異なるもの ※ロックに失敗した場合、戻り値のロック ID は Null 値となる ※全てのロックに失敗しても、引数と同数のロック ID (Null 値) が戻る
関連項目	FeatureIdentifier 構造体	

3.1.1.4. Terminate

関数名	Terminate	
説明	セッションを終了する (Initialize が成功した時点から Terminate が成功する時点までをセッションとする)	
引数	型	名前
	文字列	sessionId
		説明
		セッション ID
戻り値	論理	処理結果 true: 成功 false: 失敗
関連項目	Initialize	

3.1.1.5. Transaction

関数名	Transaction	
説明	地物に対して登録, 編集, 削除, 編集ロック解除を行う	
引数	型	名前
	TransactionElement 構造体の配列	transactionElements
		説明
		地物に対する登録, 編集, 削除, 編集ロック解除の内容のリスト

戻り値	TransactionResult 構造体の配列	地物に対する更新結果のリスト
関連項目	TransactionElement 構造体, TransactionResult 構造体	

3.1.2.構造体

3.1.2.1. AttributeCondition

構造体名	AttributeCondition	
説明	属性に関する検索条件	
要素	型	名前
	文字列	className
	文字列	attributeName
	文字列	value
	AttributeCondition 構造体の配列	attributeSubConditions
	文字列	comparisonOperator
		説明
		地物クラス名
		属性項目の名前
		値
		検索条件のリスト 検索条件を組み合わせる場合に使用する ※検索条件が指定されていた場合は attributeName,Value よりも優先される
		比較演算子 指定されたすべての値に対してそれぞれ適用する “eq”: ~と等しい, “ne”: ~と等しくない, “lt”: ~より小さい, “gt”: ~より大きい, “le”: ~以下, “ge”: ~以上, “isnull”:ヌルである, “like”: ~とマッチする ワイルドカードは以下のとおり %:0 文字以上の文字列とマッチ _: 1 文字とマッチ エスケープ文字は¥とする
	文字列	logicalOperator
		論理演算子 “and”: ~かつ~ ※検索条件が指定された場合のみ有効 “or”: ~または~ ※検索条件が指定された場合のみ有効
関連項目	AttributeCondition 構造体	

3.1.2.2. AttributeInfo

構造体名	AttributeInfo	
説明	地物の属性情報	
要素	型	名前
	文字列	attributeName
		説明
		地物属性の項目名

	文字列	attributeValue	地物属性の値
関連項目			

3.1.2.3. Coordinate

構造体名	Coordinate		
説明	座標		
要素	型	名前	説明
	実数	x	X 座標
	実数	y	Y 座標
	実数	z	Z 座標
関連項目			

3.1.2.4. Curve

構造体名	Curve		
説明	線座標情報		
要素	型	名前	説明
	Coordinates 構造体	coordinates	座標列
関連項目	Coordinates 構造体		

3.1.2.5. FeatureCondition

構造体名	FeatureCondition		
説明	地物の検索条件		
要素	型	名前	説明
	文字列の配列	layerNames	レイヤ名のリスト 検索対象のレイヤを限定する際に指定する
	文字列の配列	classNames	地物クラス名のリスト 検索対象の地物クラスを限定する際に指定する
	FeatureIdentifier 構造体の配列	featureIdentifiers	検索する地物識別子のリスト 検索対象の地物インスタンスを限定する際に指定する
	SortCondition 構造体の配列	sortConditions	ソート条件のリスト
	SpatialCondition 構造体の配列	spatialConditions	座標に関する検索条件のリスト 複数の条件はすべて And で結合する
	AttributeCondition 構造体の配列	attributeConditions	属性に関する検索条件のリスト

		複数の条件はすべて And で結合する
関連項目	FeatureIdentifier 構造体, SortCondition 構造体, SpatialCondition 構造体, AttributeCondition 構造体	

3.1.2.6. FeatureIdentifier

構造体名	FeatureIdentifier	
説明	地物インスタンスの識別子	
要素	型	名前
	文字列	className
	文字列	instanceId
関連項目		

3.1.2.7. FeatureInfo

構造体名	FeatureInfo	
説明	地物の情報	
要素	型	名前
	FeatureIdentifier 構造体	featureIdentifier
	SpatialInfo 構造体	spatialInfo
	AttributeInfo 構造体の配列	attributeInfos
関連項目	SpatialInfo 構造体, AttributeInfo 構造体, FeatureIdentifier 構造体	

3.1.2.8. Point

構造体名	Point	
説明	点座標情報	
要素	型	名前
	Coordinate 構造体	coordinate
関連項目	Coordinate 構造体	

3.1.2.9. SortCondition

構造体名	SortCondition	
説明	ソート条件	
要素	型	名前
	文字列	attributeName
	文字列	sortType
関連項目	ソート種別 “asc”: 昇順, “desc”: 降順	

3.1.2.10. SpatialCondition

構造体名	SpatialCondition	
説明	座標に関する検索条件	
要素	型	名前
	文字列	spatialOperator
	空間演算子 “equals”: ~と一致する, “disjoint”: ~と共通部分がない, “intersects”: ~と共通部分がある, “touches”: ~と接触する, “within”: ~に含まれる, “contains”: ~を含む, “overlaps”: ~と共通部分がある(同次元の図形同士に限定), “crosses”: ~と交差する(点-線, 点-面, 線-線, 線-面の関係に限定)	
要素	SpatialInfo 構造体	spatialInfo
	FeatureIdentifier 構造体の配列	featureIdentifiers
演算を行う図形の情報 地物識別子よりも優先される		
演算を行う地物識別子のリスト		
関連項目	SpatialInfo 構造体, FeatureIdentifier 構造体	

3.1.2.11. SpatialInfo

構造体名	SpatialInfo	
説明	図形情報	
要素	型	名前
	文字列	spatialType
	図形の種別 “point”: 点, “curve”: 線, “surface”: 面	
	文字列	crs
	座標参照系	
要素	Point 構造体	point
	点座標情報 図形種別が点の場合のみ有効	
	Curve 構造体	curve
要素	線座標情報 図形種別が線の場合のみ有効	
	Surface 構造体	surface
要素	面座標情報 図形種別が面の場合のみ有効	
関連項目	Point 構造体, Curve 構造体, Surface 構造体	

3.1.2.12. Surface

構造体名	Surface		
説明	面座標情報		
要素	型	名前	説明
	Coordinates 構造体	exterior	外周座標列
	Coordinates 構造体の配列	interiors	内周座標列のリスト
関連項目	Coordinates 構造体		

3.1.2.13. TransactionElement

構造体名	TransactionElement					
説明	地物編集要素					
要素	型	名前	説明			
	文字列	lockId	ロック ID			
	文字列	transactionType	編集種別 “add”: 追加 “delete”: 削除 “update”: 更新 “cancel”: ロック解除			
	FeatureInfo 構造体	featureInfo	編集内容としての地物情報 編集種別が追加の場合は featureIdentifier.instanceId は無効 編集種別が削除の場合は無効 編集種別が更新の場合はすべての要素が有効 編集種別がロック解除の場合は無効			
関連項目	FeatureInfo 構造体					
備考	編集種別によって必要となる情報は以下の通り。					
		追加	削除	更新	ロック解除	全ロック解除
	lockID		○	○	○	
	featureInfo					
	インスタンス ID			○		
	クラス	○		○		
	属性	○		○		

3.1.2.14. TransactionResult

構造体名	TransactionResult
説明	地物更新結果

要素	型	名前	説明
	FeatureIdentifier 構造体	featureIdentifier	地物識別子
	論理	result	処理結果 true: 成功 false: 失敗
関連項目	FeatureIdentifier 構造体		

3.2.災害情報概要取得のためのインタフェース

災害情報取得・更新のために利用されるインタフェース関数を定義する。ここでは、災害情報取得・更新のためのインタフェースが実装されていることを前提にそのサブセットとして、独自に関数を定義した。

3.2.1.関数

3.2.1.1. GetSummary

関数名	GetSummary	
説明	地物の ID を指定して概要情報を取得する。	
引数	型	名前
	FeatureIdentifier 構造体の配列	featureIdentifier s
	整数	isTraining
戻り値	SummaryInfo 構造体の配列	検索結果の概要情報のリスト (updateDateTime で降順並べ 替え済み)
関連項目	SummaryInfo 構造体, FeatureIdentifier 構造体	

3.2.1.2. GetSummaryAll

関数名	GetSummaryALL	
説明	概要情報提供対象の地物の概要情報を取得する。	
引数	型	名前
	Period 構造体	periodCondition
	整数	maxNum
	整数	isTraining
戻り値	SummaryInfo 構造体の配列	検索結果の概要情報のリスト (updateDateTime で降順並べ 替え済み)
関連項目	SummaryInfo 構造体, periodCondition 構造体	

3.2.2.構造体

3.2.2.1. BoundingBox

構造体名	BoundingBox		
説明	座標範囲		
要素	型	名前	説明
	実数	xMin	X 座標最小値
	実数	yMin	Y 座標最小値
	実数	xMax	X 座標最大値
	実数	yMax	Y 座標最大値
関連項目			

3.2.2.2. FeatureIdentifier

構造体名	FeatureIdentifier		
説明	地物インスタンスの識別子		
要素	型	名前	説明
	文字列	className	地物名
	文字列	instanceId	地物ID
	整数	recID	レコード ID
	整数	version	バージョン
関連項目			

3.2.2.3. Period

構造体名	Period		
説明	時間範囲		
要素	型	名前	説明
	日付	begin	開始日時
	日付	end	終了日時
関連項目			

3.2.2.4. SummaryInfo

構造体名	SummaryInfo		
説明	概要情報		
要素	型	名前	説明
	日付	updateDateTime	最終更新日時
	文字列	title	タイトル
	BoundingBox 構造体	bBox	座標範囲
	整数	recId	レコード ID

	整数	version	バージョン番号(報数)
	整数	isTraining	訓練モードフラグ(-1=訓練, 0=運用)
	FeatureIdentifier 構造体	featureIdentifier	地物インスタンスの識別子
関連項目	BoundingBox 構造体		

3.3.位置参照サービスのためのインタフェース

3.3.1.関数

3.3.1.1.GetSearchCase

関数名	GetSearchCase		
説明	検索ケースの取得 主にアプリケーションのメニューを構成するための情報を取得する関数		
引数	型	名前	説明
	string	caseName	検索ケースの名称 “”や null が指定された場合はすべての検索ケースを取得する
	string	searchType	検索種別のフィルタ “”や null が指定された場合はすべての検索ケースを取得する “keyword”:キーワードによる検索 “list”:リスト選択による検索 “list_keyword”: リストによる絞り込みとキーワードによる検索の組合せ “extent”:地理範囲による検索
戻り値	SearchCase 型の配列		検索ケースのリスト
関連項目	SearchCase 型		

3.3.1.2.GetType

関数名	GetType		
説明	ロケーションタイプの取得		
引数	型	名前	説明
	string の配列	typeName	ロケーションタイプの名称の配列 null が指定された場合はすべてのロケーションタイプを取得する
戻り値	LocationType 型の配列		ロケーションタイプの配列
関連項目	LocationType 型		

3.3.1.3.GetInstance

関数名	GetInstance		
説明	ロケーションインスタンスの取得		
引数	型	名前	説明
	string	typeName	ロケーションタイプの名称
	string	geoid	地理識別子
戻り値	LocationInstance 型		ロケーションインスタンス
関連項目	LocationInstance 型		

3.3.1.4.SearchInstance

関数名	SearchInstance		
説明	ロケーションインスタンスの検索		
引数	型	名前	説明
	string の配列	keywords	検索キーワードのリスト
	string	typeName	ロケーションインスタンス型の名称
	GeographicExtent 型	geographicExtent	検索の対象とする地理範囲
	string	spatialOperationType	空間演算種別 “contains”:指定範囲に含まれるロケーションインスタンスを検索する “overlap”:指定範囲と重なるロケーションインスタンスを検索する
	date	temporalPosition	検索の対象とする時点
	int	start	検索開始オフセット
	int	maxResults	検索結果の最大件数
戻り値	BasicInstance 型の配列		検索用ロケーションインスタンスの配列
関連項目	GeographicExtent 型, BasicInstance 型		

3.3.1.5.SearchParentInstance

関数名	SearchParentInstance int start, int maxResults		
説明	親ロケーションインスタンスの検索		
引数	型	名前	説明
	string	baseTypeName	検索の基準となるロケーションインスタンスの型の名称
	string の配列	baseGeoIds	検索の基準となるロケーションインスタンスの地理識別子のリスト
	string の配列	keywords	検索キーワードのリスト
	string	parentTypeName	親ロケーションインスタンスの型の名称
	GeographicExtent 型	geographicExtent	検索の対象とする地理範囲
	string	spatialOperationType	空間演算種別 “contains”:指定範囲に含まれるロケーションインスタンスを検索する “overlap”:指定範囲と重なるロケーションインスタンスを検索する
	date	temporalPosition	検索の対象とする時点
	int	start	検索開始オフセット
	int	maxResults	検索結果の最大件数
	BasicInstance 型の配列		検索用ロケーションインスタンスの配列
関連項目	GeographicExtent 型, BasicInstance 型		

3.3.1.6.SearchChildInstance

関数名	SearchChildInstance		
説明	子ロケーションインスタンスの検索		
引数	型	名前	説明
	string	baseTypeName	検索の基準となるロケーションインスタンスの型の名称
	string の配列	baseGeoIds	検索の基準となるロケーションインスタンスの地理識別子のリスト
	string の配列	keywords	検索キーワードのリスト
	string	childTypeName	子ロケーションインスタンスの型の名称
	GeographicExtent 型	geographicExtent	検索の対象とする地理範囲
	string	spatialOperationType	空間演算種別 “contains”:指定範囲に含まれるロケーションインスタンスを検索する “overlap”:指定範囲と重なるロケーションインスタンスを検索する
	date	temporalPosition	検索の対象とする時点
	int	start	検索開始オフセット
	int	maxResults	検索結果の最大件数
戻り値	BasicInstance 型の配列		検索用ロケーションインスタンスの配列
関連項目	GeographicExtent 型, BasicInstance 型		

3.3.2.主な構造体

3.3.2.1.SearchCase

構造体名	SearchCase		
説明	検索ケース		
要素	型	名前	説明
	string	caseId	検索ケースの ID
	string	dispName	表示名
	string	description	説明
	LocationType 型の配列	targetTypes	検索対象のロケーションタイプのリスト
	string	searchType	検索種別 “keyword”:キーワードによる検索 “list”:リスト選択による検索 “list_keyword”: リストによる絞り込みとキーワードによる検索の組合せ “extent”:地理範囲による検索
関連項目	LocationType 型		

3.3.2.2.LocationType

構造体名	LocationType		
説明	ロケーションタイプ		
要素	型	名前	説明
	string	typeName	型名
	string	dispName	表示名
	LocationType 型の配列	parent	親ロケーションタイプの配列
	LocationType 型の配列	child	子ロケーションタイプの配列
関連項目			

3.3.2.3.LocationInstance

構造体名	LocationInstance		
説明	ロケーションインスタンス		
要素	型	名前	説明
	string	geographicIdentifier	地理識別子
	string の配列	alternativeIdentifier	代替地理識別子の配列
	GeographicExtent 型	geographicExtent	地理範囲
	TemporalExtent 型	temporalExtent	時間範囲
	ResponsibleParty 型	responsibleParty	責任者情報
	Point 型	position	位置
	LocationType 型	locationType	ロケーションタイプ
関連項目	GeographicExtent 型, TemporalExtent 型, ResponsibleParty 型, Point 型, LocationType 型		

3.3.2.4.BasicInstance

構造体名	BasicInstance		
説明	検索用ロケーションインスタンス		
要素	型	名前	説明
	string	geoId	地理識別子
	string	typeName	ロケーションタイプの名称
	string	displayName	表示名
	double	minX	地理範囲－最小経度
	double	minY	地理範囲－最小緯度
	double	maxX	地理範囲－最大経度
	double	maxY	地理範囲－最大緯度
	date	beginDate	時間範囲－開始
	date	endDate	時間範囲－終了
	string	extraDesc	ロケーションインスタンスの付加的な説明 原則、親ロケーションインスタンスの表示名
関連項目			

3.3.2.5.GeographicExtent

構造体名	GeographicExtent		
説明	地理範囲		
要素	型	名前	説明
	BoundingPolygon 型	boundingPolygon	境界多角形
	BoundingBox 型	boundingBox	境界矩形
	GeographicDescription 型	geographicDescription	地理的記述
関連項目	BoundingPolygon 型, BoundingBox 型, GeographicDescription 型		

3.3.2.6.BoundingBox

構造体名	BoundingBox		
説明	地理範囲		
要素	型	名前	説明
	double	minX	最小経度

	double	minY	最小緯度
	double	maxX	最大經度
	double	maxY	最大緯度
関連項目			

第3編 災害情報 データ辞書(案)

第3編 目次

1. 概覧.....	1
1.1. 目的	1
1.2. 拡張についての考え方	1
1.3. 引用規格	2
2. 適用範囲	2
3. データ辞書識別	2
4. データ内容及び構造	3
4.1. データ内容	3
4.2. データ構造	48
5. 参照系	53
5.1. 時間参照系	53
5.2. 座標参照系	53
5.3. 地理識別子による空間参照系	53
6. データ製品配布	58
6.1. 配布形式情報	58
6.2. 配布媒体情報	68
7. メタデータ	68
附属書 1 災害情報データ辞書(案) 拡張規則	69
1. 本附属書の位置づけ	69
2. 拡張のための規則	70
3. 制限のための規則	71
附属書 2 他のデータ辞書からの引用	72
4. 本附属書の位置づけ	72
5. JPGIS(Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 版	73
5.1. 空間スキーマ	73
5.2. 時間スキーマ	75
5.3. 地理識別子による空間参照	79
6. 各分野の標準仕様	84
6.1. 道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編	84
6.2. 河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第 2.1 版	119
7. JMP2.0 (日本版メタデータプロファイル)	121
別添 1 JMP2.0	
別添 2 JPGIS	

1.概覧

1.1.目的

これまで国土交通省内においては業務を支援するためのさまざまな情報システムが構築されてきた。しかしながら情報システムの多くは独自のデータ辞書をもつため、情報システム間のデータ交換が困難であった。

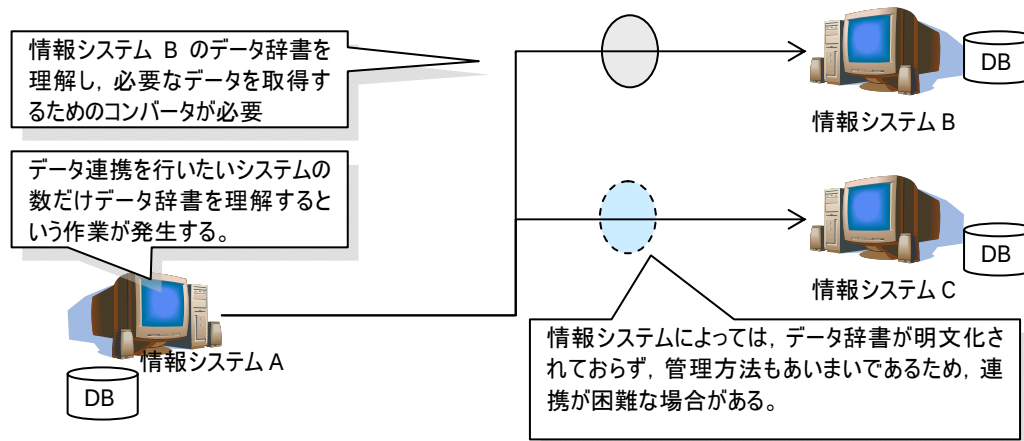


図 14 これまでのデータ交換

本データ辞書(案)は、地方整備局(企画部、河川部、道路部)および事務所(河川、道路)を中心とする国土交通省職員の災害対応業務を分析し、必要となる情報を整理し、その成果を仕様としてまとめたものである。今後情報システムを構築する場合には、この仕様を交換形式として扱うことにより、情報システム間の連携を可能とし、データの流通性を高めることを目的とする。

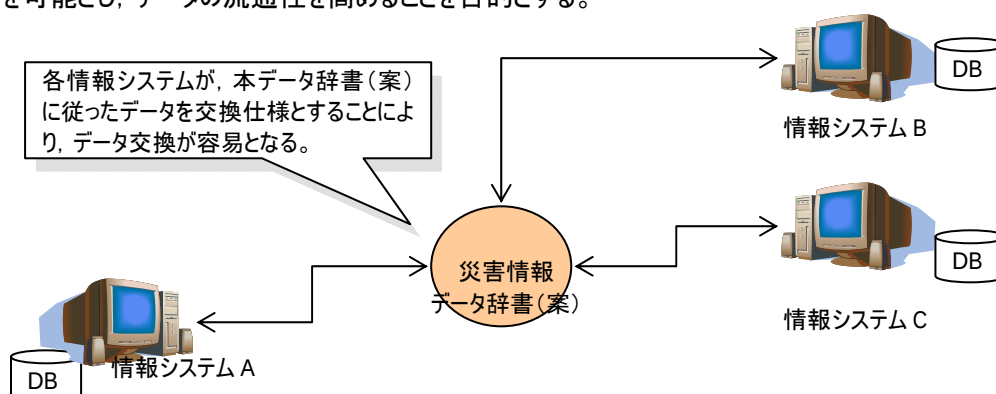


図 15 これからのデータ交換

1.2.拡張についての考え方

なお、本データ辞書(案)は、災害対応業務で必要となる汎用的な情報を定義する。本データ辞書(案)を拡張し、各地方整備局、事務所においてその地域特性等を考慮した定義を行いたい場合は、附属書に示す拡張規則に準拠しなければならない。

1.3.引用規格

1.3.1.引用規格及び仕様

本データ辞書(案)は以下の規格及び仕様から引用する。

[[適用する規格]]

JMP2.0 (日本版メタデータプロファイル)

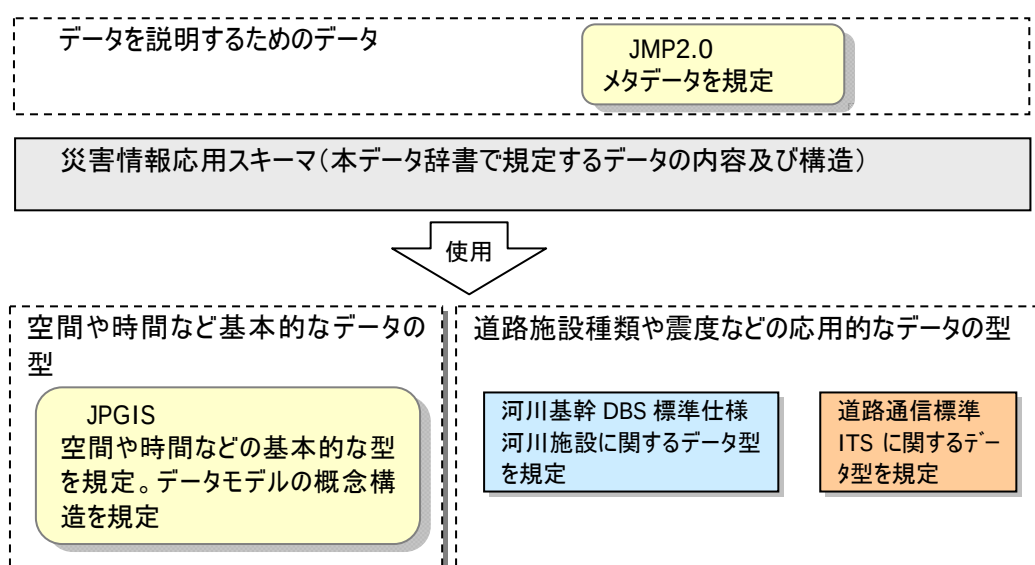
JPGIS(Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 版

道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編

河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第 2.1 版

1.3.2.引用規格及び仕様間の関係

本データ辞書(案)で引用する規格及び仕様間の関係を以下に示す。



本データ辞書(案)では、空間や時間を記述するための基本的なデータの型は JPGIS を採用し、道路施設の種類の被害種類、震度などの応用的なデータの型は河川基幹データベースシステム標準仕様または道路通信標準を採用することとした。

道路通信標準においても座標等基本的なデータの型を定義しているが、JPGIS は地理情報の国際規格である ISO19100 シリーズならびに国内規格である JIS X7100 シリーズに準拠している。そのため国土交通省内に限らずさまざまな分野とのデータのやり取りを想定し、JPGIS を採用することとした。

2.適用範囲

本データ辞書(案)の適用範囲は、国土交通省内における災害対応業務において必要となる情報とする。

3.データ辞書識別

名称 : 災害情報データ辞書(案)
発効日 : 平成 18 年 3 月 22 日
問合せ先 : 国土交通省国土技術政策総合研究所
jouho@nilim.go.jp

4.データ内容及び構造

4.1.データ内容

4.1.1.データ集合

4.1.1.1.災害情報データ集合

データ要素名		災害情報データ集合
	タグ名称	DisasterInfomationDataset
	コード	D0010001
クラス図		<<DataSet>> 災害情報データ集合 + 有効期間 : TM_Period + 災害名 : CharacterString + 災害種類 : 災害種類 = 1 + 地理的範囲 : EX_GeographicExtent
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		災害情報の集まり。一つの災害に対して一つ作成される。 複数の災害が発生した際には、一つの災害情報データ集合を作成することとし、災害種類に複数の災害を記述してもよい。
属性	名称	有効期間
	タグ名称	validTime
	定義	災害情報の収集を開始してから、終了するまでの期間。
	型	TM_Period
	定義域	期間の長さは 10 年を越えないものとする。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	災害名
	タグ名称	name
	定義	災害を識別するために付けられた名前。
	型	CharacterString
	定義域	全角または半角英数字 40 文字以内
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	災害種類
	タグ名称	type
	定義	災害の種類。初期値は 1(震災)とする。
	型	災害種類
	定義域	1, 2, 3, 4
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	地理的範囲
	タグ名称	area
	定義	被災した範囲。被災した管轄区域を含む範囲を ・矩形 ・多角形 ・自由記述 のいずれかで記述すること。
	型	EX_GeographicExtent
	定義域	380000k m ² 以下
	多重度	1

	順序	なし
役割	名称	要素
	タグ名称	element
	定義	データ集合から、災害情報への合成関連
	型	災害情報
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		複数種類の災害が同時に発生した場合に対応し、定義を修正した。複数の災害が同時に発生した場合、被害情報等をそれぞれの災害で分類することが事実上困難であることから、複数種類の災害を一つの災害として取り扱うことを可能な構造とした。

4.1.1.2.災害情報

データ要素名		災害情報
	タグ名称	DisasterInfomation
	コード	D0010002
クラス図		災害情報 + 登録者 : 担当者 + 情報源[0..1] : 担当者 + データ有効期間 : TM_Period
上位型		なし
抽象・具象区分		抽象
定義		災害に付随して発生した全ての情報。
属性	名称	登録者
	タグ名称	registant
	定義	情報を登録した職員の氏名
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 11010009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	情報源
	タグ名称	resource
	定義	情報を提供した職員の氏名。他機関等の情報も含む。登録者と同じである場合は省略可。
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 11010009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	0..1
	順序	なし

属性	名称	データ有効期間
	タグ名称	validTime
	定義	災害情報が登録されてから、削除されるまでの期間
	型	TM_Period
	定義域	災害情報が収録される災害情報データ集合の有効期間に含まなくてはならない。
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		中部地方整備局ヒアリングにより、情報の品質を問うことは困難であり、情報源さえ明らかであれば、不明な点、疑問は問い合わせる、という意見を反映。

4.1.1.3.災害種類

データ要素名		災害種類
	タグ名称	DisasterType
	コード	D0010003
クラス図		<<CodeList>> 災害種類 1:震災 2:風水害 3:火山災害 4:雪害
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		災害の種類を表すコード 1:震災 2:風水害 3:火山災害 4:雪害 各地方整備局，事務所の運営要領に従い，上記コードに分類されない災害を記載する場合は，コードを追加し，利用する。
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		クラス図の修正

4.1.1.4.災害情報カテゴリ

データ要素名		災害情報カテゴリ
	タグ名称	DisasterInfoCategory
	コード	D0010004
クラス図		災害情報カテゴリ + カテゴリ : 情報カテゴリ
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		災害に付随して発生した全ての情報を区分するためのカテゴリ
属性	名称	カテゴリ
	タグ名称	category
	定義	災害情報の分類
	型	情報カテゴリ
	定義域	情報カテゴリに記載された分類
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	要素
	タグ名称	element
	定義	情報カテゴリから、災害情報への集成関連
	型	災害情報
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.1.5.情報カテゴリ

データ要素名		情報カテゴリ
	タグ名称	DisasterInfomationCategoryCodeList
	コード	D0010005
クラス図	<<CodeList>> 情報カテゴリ + 点検 + 人的被害発生箇所 + 被害 + 集計結果 + 記者発表 + 支援要請・指示 + 災害用ヘリ要請	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	災害情報を分類するカテゴリ。アプリケーションを開発する場合はこの情報カテゴリを用いて情報を分類することができる。情報のカテゴリは任意に追加・編集してよい。 ・ 点検 ・ 人的被害発生箇所 ・ 被害 ・ 集計結果 ・ 記者発表 ・ 支援要請・指示 ・ 災害用ヘリ要請	
登録ステータス	新規登録	
	版数	1.0
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.2.体制

4.1.2.1.体制

データ要素名		体制						
	タグ名称	DisasterSystem						
	コード	D0020001						
クラス図		<table><tr><td colspan="2">体制</td></tr><tr><td colspan="2">体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>	体制		体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString			
体制								
体制種類：地整体制コード = 注意, 警戒, 非常 組織名：機関名称 発令期間：TM_Period 設置・廃止の根拠：CharacterString								
上位型		災害情報						
抽象・具象区分		具象						
定義		地方整備局, 事務所等の体制。						
属性	名称	体制種類						
	タグ名称	type						
	定義	体制の種類。						
	型	地整体制コード 10070084						
	定義域	道路通信標準「地整体制コード」の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	組織名						
	タグ名称	name						
	定義	体制をとった機関の名称。						
	型	機関名称 1101005						
	定義域	道路通信標準「機関名称」の定義に準拠する。						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	発令期間						
	タグ名称	period						
	定義	発令され, 体制をとってから解除するまでの期間。						
	型	TM_Period						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	設置・廃止の根拠						
	タグ名称	basis						
	定義	体制をとる根拠条項やその理由						
	型	CharacterString						
	定義域	JPGIS の定義に準拠する						
	多重度	1						
	順序	なし						
登録ステータス		新規登録						
	版数	1.0						
設定日		2005/02/28						
	最終更新日	2005/02/28						
最終設定者		JACIC						
その他								

4.1.2.2.体制に応じた実施作業

データ要素名		体制に応じた実施作業				
	タグ名称	Activity				
	コード	D0020002				
クラス図			<table><tr><td>体制に応じた実施作業</td></tr><tr><td>班・係名：関連部署名 作業概要[1..*]：CharacterString</td></tr><tr><td></td></tr></table>	体制に応じた実施作業	班・係名：関連部署名 作業概要[1..*]：CharacterString	
体制に応じた実施作業						
班・係名：関連部署名 作業概要[1..*]：CharacterString						
上位型		災害情報				
抽象・具象区分		具象				
定義		地方整備局, 事務所等の体制に応じた各班・各係のやるべきこと。				
属性	名称	班・係名				
	タグ名称	name				
	定義	班・係を識別する名称。				
	型	関連部署名 1101008				
	定義域	道路通信標準「関連部署名」の定義に準拠する。				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	作業概要				
	タグ名称	content				
	定義	各班・各係のやるべき内容。				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。				
	多重度	1..*				
	順序	なし				
役割	名称	体制				
	タグ名称	status				
	定義	当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照				
	型	体制				
	多重度	1				
	順序	なし				
役割	名称	様式				
	タグ名称	form				
	定義	当該実施作業で使わなくてはならない様式への参照				
	型	様式				
	多重度	0..*				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.2.3.様式

データ要素名		様式
	タグ名称	Form
	コード	D0020003
クラス図		様式 様式名：様式名
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		地方整備局，事務所等の体制に応じて，各班・各係が用いる様式。
属性	名称	様式名
	タグ名称	name
	定義	様式を識別する名称。
	型	様式名
	定義域	様式名で定義されたコードのいずれか。
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	災害情報
	タグ名称	info
	定義	当該実施作業をやらなくてはならない体制への参照
	型	災害情報
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.2.4.情報カテゴリ

データ要素名		様式名
	タグ名称	FormatIdentifier
	コード	D0020004
クラス図		<<CodeList>> 様式名
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		様式の名称。地方整備局の防災業務計画や事務所で指定された様式の様式番号等，様式を識別するコードを定義する。
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.3.伝達情報

4.1.3.1.伝達情報

データ要素名		伝達情報
	タグ名称	Message
	コード	D0030001
クラス図		<<Type>> 伝達情報 + 発信元 : 担当者 + 受信先 : 担当者 + 発信日時 : TM_Instant + 受信日時 : TM_Instant + 種類 : 伝達情報種類 + 内容 : CharacterString
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省内において上位機関から下位機関への指示事項, 下位機関から上位機関への報告, 支援要請あるいは機関内での伝達で交わされる情報
属性	名称	発信元
	タグ名称	sender
	定義	情報を発信した職員の氏名
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	受信元
	タグ名称	addressee
	定義	情報を受信した職員の氏名
	型	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	発信日時
	タグ名称	sendTime
	定義	伝達情報が発信された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	受信日時
	タグ名称	receiveTime
	定義	伝達情報が受信された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1

	順序	なし
属性	名称	種類
	タグ名称	type
	定義	伝達情報の種類。
	型	伝達情報種類
	定義域	伝達情報種類に定められたコード
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	内容
	タグ名称	contents
	定義	やり取りされた内容
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	親
	タグ名称	parent
	定義	当該伝達情報の元となる伝達情報
	型	伝達情報
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	子
	タグ名称	child
	定義	当該伝達情報の子となる伝達情報
	型	伝達情報
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	資機材
	タグ名称	request
	定義	伝達情報に付随する支援要請の内容への参照
	型	不足する資機材
	多重度	0..1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.3.2.必要な資機材

データ要素名		必要な資機材
	タグ名称	RequestResource
	コード	D0030002
クラス図		不足する資機材 + 名称 : CharacterString + 規格 : CharacterString + 単位 : CharacterString + 数量 : Decimal + 出動機関[0,1] : 機関名
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		地方整備局, 事務所等の体制に応じた各班・各係のやるべきこと。
属性	名称	名称
	タグ名称	name
	定義	必要な資機材の名称。
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	規格
	タグ名称	spec
	定義	必要な資機材の規格。
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	単位
	タグ名称	unit
	定義	必要な資機材の単位
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	数量
	タグ名称	quantity
	定義	必要な資機材の量
	型	Decimal
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	出動機関
	タグ名称	send
	定義	必要な資機材の量
	型	機関名称 1101005
	定義域	道路通信標準「機関名称」の定義に準拠する。
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	伝達情報

	タグ名称	message
	定義	当該必要資機材が要請・指示された元となる情報への参照
	型	伝達情報
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.3.3.伝達情報種類

データ要素名		伝達情報種類
	タグ名称	MessageType
	コード	D0030003
クラス図	<<CodeList>> 伝達情報種類 + 1 : 指示 + 2 : 要請 + 3 : 報告 + 4 : 伝達	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	伝達情報の種類。以下のコードに従う。 1: 指示 2: 要請 3: 報告 4: 伝達	
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.3.4.担当者

データ要素名		担当者
	タグ名称	Charge
	コード	D0030004
クラス図		<<DataType>> 担当者 + 組織名 : 機関名称 + 部署名 : 関連部署名 + 氏名 : 担当氏名
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		情報を発信・受信した職員の所属・氏名
属性	名称	組織名
	タグ名称	org
	定義	組織名称
	型	機関名称 1101005
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	部署名
	タグ名称	sec
	定義	部署の名称。
	型	関連部署名 1101008
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	氏名
	タグ名称	name
	定義	担当者の名前
	型	担当氏名 11010009
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.災害時に発生する情報

4.1.4.1.地震

データ要素名		地震
	タグ名称	Earthquake
	コード	D0040001
クラス図		地震 + 地震名称 : CharacterString + 震度 : 震度 + 震源地 : CharacterString + 地震規模 : 震源規模 + 発災日時 : TM_Instant + 震源の深さ : 震源深さ + 津波発生可能性 : Boolean
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		地方整備局または事務所が体制をとる必要がある地震。
属性	名称	震度
	タグ名称	rank
	定義	地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。
	型	震度 10010076
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	震源地
	タグ名称	center
	定義	地震が発生した場所
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	地震規模
	タグ名称	scale
	定義	震源の規模(マグネチュード)を現す数値。
	型	震源規模 10070072
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	発災日時
	タグ名称	break
	定義	地震が発生した日時。
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	震源の深さ
	タグ名称	depth
	定義	震源の深さ。

	型	震源深さ 10050073
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	津波発生の可能性
	タグ名称	tsunami
	定義	当該地震による津波発生の可能性の有無
	型	Boolean
	定義域	JPGIS の定義に準拠する
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	余震
	タグ名称	aftershock
	定義	当該地震の後に続いて発生する地震
	型	地震
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	震度分布
	タグ名称	distribution
	定義	当該地震による各地の震度
	型	震度分布
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.2.震度分布

データ要素名		震度分布
	タグ名称	RankDistribution
	コード	D0040002
クラス図		震度分布 + 震度：震度 + 観測地：地理識別子
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		地震によって各地の観測所で観測された震度
属性	名称	震度
	タグ名称	rank
	定義	地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。
	型	震度 10010076
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	観測地
	タグ名称	point
	定義	震度が観測された地点
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.3. 気象

データ要素名		気象
	タグ名称	WeatherCondition
	コード	D0040003
クラス図		気象 + 場所：地理識別子 + 気象形態：気象形態 + 日時：TM_Instant + 予測内容[0..1]：気象状態予測
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		大気の状態
属性	名称	場所
	タグ名称	point
	定義	気象が観測または予測された地点
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に準拠する。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	気象形態
	タグ名称	condition
	定義	気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。
	型	気象形態 10070001
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	日時
	タグ名称	date
	定義	気象が観測または予測された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	予測内容
	タグ名称	forecast
	定義	現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測（今後の状態）を、気象状況予測コードとして示す。
	型	気象状態予測 10070002
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28

	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.4.点検

データ要素名		点検			
	タグ名称	Inspection			
	コード	D0040004			
クラス図		<table><tr><td>点検</td></tr><tr><td>+ 点検種類：管理</td></tr><tr><td></td></tr></table>	点検	+ 点検種類：管理	
点検					
+ 点検種類：管理					
上位型		災害情報			
抽象・具象区分		具象			
定義		各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認すること			
属性	名称	点検種類			
	タグ名称	type			
	定義	点検の対象となる施設の種類			
	型	管理			
	定義域	管理でコード化されたコード			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	点検区間			
	タグ名称	section			
	定義	当該点検で巡回する区間			
	型	点検単位			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	点検結果			
	タグ名称	result			
	定義	当該点検の結果			
	型	点検結果			
	多重度	0..1			
	順序	なし			
登録ステータス		新規登録			
	版数	1.0			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.4.5.管理

データ要素名		管理
	タグ名称	Manage
	コード	D0040005
クラス図	<<CodeList>> 管理 + 1 : 河川 + 2 : 道路	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	管理の種類。以下のコードに従う。各機関は、管理する施設の種類により、以下のコードを追加作成する。 1: 河川 2: 道路	
登録ステータス	新規登録	
	版数	1.0
設定日	2005/02/28	
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC	
その他		

4.1.4.6.点検単位

データ要素名		点検単位
	タグ名称	InspectionUnit
	コード	D0040006
クラス図	点検単位 + 点検区間 : Sequence<地理識別子> + 点検期間種類 : 事象状態区分 = 未着手 + 点検期間[0..1] : TM_Period + 点検情報 : CharacterString	
上位型	災害情報	
抽象・具象区分	具象	
定義	各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認する単位	
属性	名称	点検区間
	タグ名称	unit
	定義	点検する区間
	型	Sequence<地理識別子>
	定義域	点検区間の始点、終点はかならず含まなくてはならない。
	多重度	1
	順序	あり
属性	名称	点検期間種類
	タグ名称	type
	定義	点検の進捗状態。 [詳細無し(0)、予定(1)、発生中(3)、終了(4)、無効データ(9)]
	型	事象状態区分 10070094
	定義域	道路通信標準の定義に準拠する。使用可能なコードは 0: 未着手の場合 1: 予定された場合

		2: 点検中 3: 点検完了 のみとする。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	点検期間
	タグ名称	term
	定義	点検開始から終了までの期間
	型	TM_Period
	定義域	JPGIS の定義に従う。
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	点検情報
	タグ名称	info
	定義	点検者等点検についての詳細な情報を記す。既存資料の所在やファイル名等を記載してもよい。
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う。
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	施設
	タグ名称	facilities
	定義	点検区間内の点検対象となる施設への参照
	型	施設
	多重度	1..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.7.点検結果

データ要素名		点検結果			
	タグ名称	InspectionResult			
	コード	D0040007			
クラス図		<table><tr><td>点検結果</td></tr><tr><td>+ 被害有無 : Boolean</td></tr><tr><td></td></tr></table>	点検結果	+ 被害有無 : Boolean	
点検結果					
+ 被害有無 : Boolean					
上位型		災害情報			
抽象・具象区分		具象			
定義		各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認した結果			
属性	名称	被害有無			
	タグ名称	check			
	定義	点検区間に被害が存在したか否か。被害があった場合は True, なかった場合は False となる。			
	型	Boolean			
	定義域	JPGIS の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
役割	名称	被害			
	タグ名称	damages			
	定義	点検結果となる施設の被害情報への参照			
	型	施設被害			
	多重度	0..*			
	順序	なし			
登録ステータス		新規登録			
	版数	1.0			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2005/02/28			
最終設定者		JACIC			
その他					

4.1.4.8.被害

データ要素名		被害
	タグ名称	Damage
	コード	D0040008
クラス図	被害 + 発見日時 : TM_Instant + 発見者 : 担当者 + 目印[0..1] : 地理識別子 + 内容 : 災害の概略 + 施設名[0..1] : 地理識別子	
上位型	災害情報	
抽象・具象区分	具象	
定義	災害によって発生した被害	
属性	名称	発見日時
	タグ名称	date
	定義	被害を発見した日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	発見者
	タグ名称	担当者
	定義	担当者(道路通信標準) 機関名称 1101005 関連部署名 1101008 担当氏名 1101009
	型	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
	順序	なし
属性	名称	目印
	タグ名称	site
	定義	被害発生箇所が目印になるもの
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	内容
	タグ名称	content
	定義	災害の内容を記述する
	型	災害の概略 10070038
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	施設名
	タグ名称	name
	定義	被害を受けた施設の名称
	型	地理識別子
	定義域	被災地域内の施設の名称であること
	多重度	0..1

	順序	なし
役割	名称	施設
	タグ名称	facility
	定義	施設への参照
	型	施設
	定義域	被災地域内に存在する施設への参照であること。
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/22
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.9.一般被害

データ要素名		一般被害			
	タグ名称	OtherDamages			
	コード	D0040009			
クラス図		<table><tr><td>一般被害</td></tr><tr><td>+ 発生場所：地理識別子</td></tr><tr><td></td></tr></table>	一般被害	+ 発生場所：地理識別子	
一般被害					
+ 発生場所：地理識別子					
上位型		被害			
抽象・具象区分		具象			
定義		防災エキスパート等から報告された一般被害の情報			
属性	名称	発生場所			
	タグ名称	point			
	定義	被害が報告された場所			
	型	地理識別子			
	定義域	JPGIS の定義に従う			
	多重度	1			
	順序	なし			
登録ステータス		更新			
	版数	1.1			
設定日		2005/02/28			
	最終更新日	2006/03/27			
最終設定者		JACIC			
その他		上位クラスに属性を移動。			

4.1.4.10.庁舎の被害

データ要素名		庁舎の被害
	タグ名称	DamagesOfGOB
	コード	D0040010
クラス図		庁舎の被害 + 被害規模 : 規模
上位型		被害
抽象・具象区分		具象
定義		地方整備局や事務所, 出張所の庁舎に対する被害の内容
属性	名称	被害規模
	タグ名称	scale
	定義	被害の規模
	型	被害規模
	定義域	規模で定められたコード
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		上位クラスに属性を移動。内容自体は変更無。

4.1.4.11.観測機器被害

データ要素名		観測機器被害
	タグ名称	ObservatoryDamages
	コード	D0040011
クラス図		観測機器被害
上位型		被害
抽象・具象区分		具象
定義		各出張所の担当者が観測機器の被災状況を確認した結果
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/07
最終設定者		JACIC
その他		属性及び関連を上位クラスに移動

4.1.4.12.施設被害

データ要素名		施設被害						
	タグ名称	FacilityDamages						
	コード	D0040012						
クラス図		<table><tr><td>施設被害</td></tr><tr><td>+ 人的被害有無 : Boolean</td></tr><tr><td>+ 被害規模 : 規模</td></tr><tr><td>+ 交通規制有無 : Boolean</td></tr><tr><td>+ 被害箇所 : 区間</td></tr><tr><td> </td></tr></table>	施設被害	+ 人的被害有無 : Boolean	+ 被害規模 : 規模	+ 交通規制有無 : Boolean	+ 被害箇所 : 区間	
施設被害								
+ 人的被害有無 : Boolean								
+ 被害規模 : 規模								
+ 交通規制有無 : Boolean								
+ 被害箇所 : 区間								
上位型		被害						
抽象・具象区分		具象						
定義		各出張所の担当者が点検によって確認した所管施設の被災状況						
属性	名称	人的被害有無						
	タグ名称	human						
	定義	人的被害があったか否か。被害があった場合は True, なかった場合は False。						
	型	Boolean						
	定義域	JPGIS の定義に従う						
	多重度	1						
	順序	なし						
属性	名称	交通規制有無						
	タグ名称	traffic						
	定義	交通規制があるか否か。交通規制があった場合は True。なかった場合は False						
	型	Boolean						
	定義域	JPGIS の定義に従う						
属性	名称	被害箇所						
	タグ名称	segment						
	定義	被害が発生した区間。開始点のみでもよい。						
	型	区間						
	定義域	被災地域内に含まれること						
役割	名称	交通規制						
	タグ名称	traffic						
	定義	被害により発生した交通規制への参照						
	型	交通規制						
	多重度	0..1						
	順序	なし						
役割	名称	詳細						
	タグ名称	details						
	定義	詳細情報への参照						
	型	施設被害詳細						
	多重度	0..*						
	順序	なし						
登録ステータス		更新						
	版数	1.1						
設定日		2005/02/28						
	最終更新日	2006/03/27						
最終設定者		JACIC						
その他								

4.1.4.13.施設被害詳細

データ要素名		施設被害詳細
	タグ名称	FacilityDamageDetails
	コード	D0040013
クラス図		施設被害詳細 + 被害詳細 : CharacterString + 緊急復旧の必要性 : Boolean
上位型		施設被害
抽象・具象区分		具象
定義		各出張所の担当者が詳細点検により確認した所管施設の被災状況
属性	名称	緊急復旧の必要性
	タグ名称	urgency
	定義	緊急復旧の必要性があるかないか
	型	Boolean
	定義域	true, false
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	被害詳細
	タグ名称	Details
	定義	被害の詳細。既存資料の所在やファイル名等を記載する。
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う。
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	計画
	タグ名称	plan
	定義	応急復旧計画への参照
	型	応急復旧計画
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.14.工事現場被害

データ要素名		工事現場被害
	タグ名称	ConstructionSiteDamages
	コード	D0040014
クラス図		工事現場被害 + 避難人数 : Integer + 負傷者人数 : Integer + 行方不明者数 : Integer + 被害規模 : 規模
上位型		被害
抽象・具象区分		具象
定義		工事現場の被災状況
属性	名称	避難人数
	タグ名称	evacuee
	定義	避難している人数。
	型	Integer
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	負傷者
	タグ名称	injured
	定義	負傷している人数。
	型	Integer
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	行方不明者数
	タグ名称	missing
	定義	行方不明の人数。
	型	Integer
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	被害規模
	タグ名称	scale
	定義	被害の規模
	型	被害規模
	定義域	規模で定められたコード
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.15.テレビ・ラジオ情報

データ要素名		テレビ・ラジオの情報
	タグ名称	News
	コード	D0040015
クラス図		テレビ・ラジオの情報 + 放送日時 : TM_Instant + 放送局 : CharacterString + 放送内容 : 災害の概要 + 施設名[0..*] : 地理識別子
上位型		被害
抽象・具象区分		具象
定義		各出張所の担当者が所管施設の被災状況を確認した結果
属性	名称	放送日時
	タグ名称	date
	定義	報道された日時
	型	TM_Instant
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	放送局
	タグ名称	press
	定義	報道した報道機関の名称
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	放送内容
	タグ名称	contents
	定義	放送された被害の内容
	型	災害の概略 10070038
	定義域	道路通信標準の定義に従う。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	施設名
	タグ名称	name
	定義	報道された施設の名称
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	施設
	タグ名称	facilities
	定義	報道された対象となる施設
	型	施設
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		削除
	版数	1.0
設定日		2005/02/28

最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC
その他	テレビ・ラジオ情報は、情報源であるため使用しない。

4.1.4.16.応急復旧計画

データ要素名		応急復旧計画					
	タグ名称	EmaergencyPlan					
	コード	D0040016					
クラス図		<table><tr><td>応急復旧計画</td></tr><tr><td>+ 工事区間：区間</td></tr><tr><td>+ 計画内容：復旧概要</td></tr><tr><td>+ 情報の確認：登録状況 = 未確認</td></tr><tr><td></td></tr></table>	応急復旧計画	+ 工事区間：区間	+ 計画内容：復旧概要	+ 情報の確認：登録状況 = 未確認	
応急復旧計画							
+ 工事区間：区間							
+ 計画内容：復旧概要							
+ 情報の確認：登録状況 = 未確認							
上位型		災害情報					
抽象・具象区分		具象					
定義		工事現場の被災状況					
属性	名称	工事区間					
	タグ名称	segment					
	定義	応急復旧計画が立てられた区間					
	型	区間					
	定義域	関連する被害の区間との包含・近接関係があること					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	計画内容					
	タグ名称	plan					
	定義	応急復旧の計画詳細。図面等既存資料の所在や関連するファイル名を記述してもよい。					
	型	復旧概要					
	定義域	道路通信標準の定義に従う					
	多重度	1					
	順序	なし					
属性	名称	情報の確認					
	タグ名称	confirmation					
	定義	事務所から報告された応急復旧計画の内容が地方整備局で確認されたか、修正の指示がだされたかを記載する。					
	型	登録状況					
	定義域	登録状況に定義されたコードに従う。					
	多重度	1					
	順序	なし					
役割	名称	施設被害詳細					
	タグ名称	damages					
	定義	元となる被害情報への参照					
	型	施設被害詳細					
	多重度	1					
	順序	なし					
役割	名称	応急復旧					
	タグ名称	repairs					
	定義	実施状態を示す応急復旧への参照					
	型	応急復旧					
	多重度	1..*					

	順序	なし
役割	名称	伝達情報
	タグ名称	messages
	定義	当該応急復旧計画に対しての指示事項等を示す伝達情報への参照
	型	伝達情報
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.17.応急復旧

データ要素名		応急復旧
	タグ名称	EmergencyRepairs
	コード	D0040017
クラス図		応急復旧 + 作業期間 : TM.Period + 状況 : 応急復旧状況 = 予定 + 実施内容[0..1] : 復旧概要
上位型		災害情報
抽象・具象区分		具象
定義		応急復旧の作業状況
属性	名称	作業期間
	タグ名称	period
	定義	実際に応急復旧に要した期間
	型	TM_Period
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	状況
	タグ名称	status
	定義	応急復旧時の復旧作業実施状況を示す。 { 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9) }
	型	応急復旧状況
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	実施内容
	タグ名称	contents
	定義	応急復旧の実施内容。図面等既存資料の所在や関連するファイル名を記述してもよい。
	型	復旧概要
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	応急復旧計画

	タグ名称	plan
	定義	元となる応急復旧計画への参照
	型	応急復旧計画
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.18.規模

データ要素名		規模
	タグ名称	DamageScale
	コード	D0040018
クラス図		<<CodeList>> 規模 + 1 : 甚大 + 2 : 大 + 3 : 中 + 4 : 小
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		災害の規模。以下のコードに従う。 1: 甚大 被災の程度が大きく、当該施設の機能をまっとうできない。かつ人的被害が発生あるいは発生の恐れがある。 2: 大 被災の程度が大きく、当該施設の機能をまっとうできない。 3: 中 当該施設の機能の一部に不具合が生じるが利用は可能である。 4: 小 被災しているが、当該施設の機能に大きな影響はない
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.4.19.登録状況

データ要素名		登録状況
	タグ名称	EntryStatus
	コード	D0040019

クラス図	<<CodeList>> 登録状況 + 1 : 未確認 + 2 : 確認 + 3 : 修正指示
上位型	なし
抽象・具象区分	具象
定義	伝達情報の種類。以下のコードに従う。 1: 未確認 2: 確認 3: 修正指示
登録ステータス	新規登録
版数	1.0
設定日	2005/02/28
最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC
その他	

4.1.4.20.工事現場被害

データ要素名		交通規制
	タグ名称	TrafficRestriction
	コード	D0040020
クラス図		交通規制 + 規制区間 : 区間 + 規制期間 : TM_Period + 規制内容 : 規制内容 + 位置図[0..1] : CharacterString
上位型		被害
抽象・具象区分		具象
定義		道路被害や復旧活動にともなう道路の閉鎖
属性	名称	規制区間
	タグ名称	segment
	定義	規制している区間
	型	区間
	定義域	管轄内に存在すること
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	規制期間
	タグ名称	period
	定義	規制している期間
	型	Integer
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	規制内容
	タグ名称	contents
	定義	規制の内容
	型	規制内容

	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	位置図
	タグ名称	map
	定義	位置を表す図面
	型	CharacterString
	定義域	ファイル名等
	多重度	0..1
	順序	なし
	登録ステータス	新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.5. 平常時に蓄積する情報

4.1.5.1. 施設

データ要素名		施設
	タグ名称	Facilities
	コード	D0050001
クラス図		施設 + 施設名[0..1] : 地理識別子 + 場所 : 区間
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省の道路管理者や河川管理者等が管理する施設。
属性	名称	施設名
	タグ名称	name
	定義	施設を識別する名称
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	場所
	タグ名称	location
	定義	施設が設置された区間。開始位置のみでもかまわない。
	型	区間
	定義域	管理区域内に存在すること
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	施設諸元
	タグ名称	details
	定義	当該施設の設計時の情報や図面，日常点検結果や防災対策施工結果等への参照
	型	施設諸元等
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		施設の位置を上位クラスに移動

4.1.5.2. 施設諸元等

データ要素名		施設諸元等
	タグ名称	FacilityDetails
	コード	D0050002
クラス図		施設諸元等
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省の道路管理者や河川管理者等が管理する施設の詳細な情報。諸元や図面類など既存資料の所在やファイル名を記述することができる。

登録ステータス	新規登録
版数	1.0
設定日	2005/02/28
最終更新日	2005/02/28
最終設定者	JACIC
その他	

4.1.5.3.道路施設

データ要素名		道路施設
	タグ名称	RoadFacilities
	コード	D0050003
クラス図		道路施設 + 道路施設種類：構造物種別 + 運用管理：機関名称 + 緊急輸送路種別：CharacterString
上位型		施設
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省の道路管理者が管理する施設。
属性	名称	道路施設種類
	タグ名称	type
	定義	道路施設の種類
	型	構造物種別
	定義域	道路通信標準の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	運用管理
	タグ名称	manage
	定義	当該道路を運用管理する機関の区分
	型	施設管理区分
	定義域	河川基幹 DB の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	緊急輸送路種別
	タグ名称	emergencyType
	定義	緊急輸送路種別の指定種別
	型	CharacterString
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	指定
	タグ名称	section
	定義	防災上等なんらかの指定を受けている区間への参照
	型	防災区間
	定義域	道路施設の区間と包含関係にあること
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28

最終更新日	2006/03/27
最終設定者	JACIC
その他	防災区間への参照を追加。

4.1.5.4.河川施設

データ要素名		河川施設
	タグ名称	RiverFacilities
	コード	D0050004
クラス図		河川施設 + 河川施設種類：河川構造物種別 + 運用管理：機関名称
上位型		施設
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省の河川管理者が管理する施設。
属性	名称	河川施設種類
	タグ名称	type
	定義	河川施設の種類
	型	河川構造物種別
	定義域	河川基幹 DB 仕様の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	運用管理
	タグ名称	manage
	定義	当該河川施設を運用管理する機関の区分
	型	施設管理区分
	定義域	河川基幹 DB の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	指定
	タグ名称	section
	定義	防災上等なんらかの指定を受けている区間への参照
	型	防災区間
	定義域	河川施設の区間と包含関係にあること
	多重度	0..*
	順序	なし
登録ステータス		更新
	版数	1.1
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		防災区間への参照および運用管理を追加。

4.1.5.5.建設現場

データ要素名		建設現場				
	タグ名称	Constructions				
	コード	D0050005				
クラス図		<table><tr><td>建設現場</td></tr><tr><td>+ 工事名 : CharacterString</td></tr><tr><td>+ 作業人数 : Integer</td></tr><tr><td></td></tr></table>	建設現場	+ 工事名 : CharacterString	+ 作業人数 : Integer	
建設現場						
+ 工事名 : CharacterString						
+ 作業人数 : Integer						
上位型		施設				
抽象・具象区分		具象				
定義		国土交通省の道路または河川管理者が管理する施設の建設現場				
属性	名称	工事名				
	タグ名称	name				
	定義	工事の名称				
	型	CharacterString				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	作業人数				
	タグ名称	workers				
	定義	当該建設現場に従事する作業者の人数				
	型	Integer				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.5.6.観測機器

データ要素名		観測機器				
	タグ名称	Observatory				
	コード	D0050006				
クラス図		<table><tr><td>観測機器</td></tr><tr><td>+ 種類：センサ種別</td></tr><tr><td>+ 観測対象：地理識別子</td></tr><tr><td> </td></tr></table>	観測機器	+ 種類：センサ種別	+ 観測対象：地理識別子	
観測機器						
+ 種類：センサ種別						
+ 観測対象：地理識別子						
上位型		施設				
抽象・具象区分		具象				
定義		道路や河川等の施設に設置された常時観測機器				
属性	名称	種類				
	タグ名称	type				
	定義	観測機器の種類				
	型	センサ種別				
	定義域	道路通信標準の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	観測対象				
	タグ名称	subject				
	定義	観測機器が観測する対象となる施設				
	型	地理識別子				
	定義域	JPGIS の定義に従う				
	多重度	1				
	順序	なし				
役割	名称	収集情報				
	タグ名称	info				
	定義	観測した情報への参照				
	型	常時観測機器からの情報				
	多重度	1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2005/02/28				
	最終更新日	2005/02/28				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.5.7.庁舎概要

データ要素名		庁舎概要
	タグ名称	GovrenmentOfficeBuilding
	コード	D0050007
クラス図		庁舎概要 + 構造 : <code>CharacterString</code> + 延べ面積 : <code>Decimal</code> + 所在地 : 地理識別子
上位型		施設
抽象・具象区分		具象
定義		国土交通省が管理する建物の概要
属性	名称	所在地
	タグ名称	address
	定義	庁舎の所在地
	型	地理識別子
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	構造
	タグ名称	structure
	定義	庁舎の構造
	型	<code>CharacterString</code>
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	延べ面積
	タグ名称	area
	定義	庁舎の延べ面積
	型	<code>Decimal</code>
	定義域	JPGIS の定義に従う
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2005/02/28
	最終更新日	2005/02/28
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.5.8.地理識別子

データ要素名		地理識別子
	タグ名称	GeographicIdentifier
	コード	D0050008
クラス図		<<Basic Type>> 地理識別子
上位型		CharacterString
抽象・具象区分		具象
定義		場所を識別する文字列。SI_LocationInstance の属性 geographicIdentifier または alternativeGeographicIdentifier の値と一致しなくてはならない。
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.5.9.防災施設

データ要素名		防災施設
	タグ名称	Disaster-preventionFacility
	コード	D0050010
クラス図		防災施設 + 種類 : CharacterString
上位型		施設
抽象・具象区分		具象
定義		防災上の施設
属性	名称	種類
	タグ名称	type
	定義	防災施設の種類
	型	CharacterString
	定義域	防災拠点, 防災倉庫, 広域避難所 など
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/02/27
最終設定者		JACIC
その他		背景データとして必要な施設を追加。

4.1.5.10.堤防

データ要素名		堤防
	タグ名称	Bank
	コード	D0050009
クラス図		堤防 + 暫定・供用の別 : CharacterString
上位型		河川施設
抽象・具象区分		具象
定義		河川水・湖水の氾濫(はんらん)、海水の浸入を防ぐため河岸・湖岸・海岸に沿って築造する土石・コンクリートなどの構築物。土手。つつみ。
属性	名称	暫定・供用の別
	タグ名称	type
	定義	堤防の状態
	型	CharacterString
	定義域	暫定, 供用
	多重度	1
	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/02/27
最終設定者		JACIC
その他		背景データとして必要な施設を追加。

4.1.5.11.防災区間

データ要素名		防災区間
	タグ名称	Disaster-preventionSection
	コード	D0050011
クラス図		防災区間 + 区間 : 区間 + 種類 : CharacterString
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		路線や河川など、特定の区間を指定した区間
属性	名称	区間
	タグ名称	segment
	定義	指定される区間。開始位置のみでもよい。
	型	区間
	定義域	管轄区間との包含関係があること。
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	種類
	タグ名称	type
	定義	指定される区間の種類
	型	CharacterString
	定義域	水防団区間, 洪水予報区間, 直轄地すべり防止箇所, 直轄砂防区域, 雨量規制区間
	多重度	1

	順序	なし
登録ステータス		新規登録
	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/02/27
最終設定者		JACIC
その他		背景データとして必要な施設を追加。

4.1.5.12.区間

データ要素名		区間				
	タグ名称	Segment				
	コード	D0050012				
クラス図		<table><tr><td>区間</td></tr><tr><td>+ 開始位置：地理識別子</td></tr><tr><td>+ 終了位置[0..1]：地理識別子</td></tr><tr><td></td></tr></table>	区間	+ 開始位置：地理識別子	+ 終了位置[0..1]：地理識別子	
区間						
+ 開始位置：地理識別子						
+ 終了位置[0..1]：地理識別子						
上位型		なし				
抽象・具象区分		具象				
定義		路線や河川など、特定の区間を指定した区間				
属性	名称	開始位置				
	タグ名称	start				
	定義	指定される区間の開始位置				
	型	地理識別子				
	定義域	管轄区間との包含関係があること。				
	多重度	1				
	順序	なし				
属性	名称	終了位置				
	タグ名称	end				
	定義	指定される区間の終了位置				
	型	地理識別子				
	定義域	管轄区間との包含関係があること。				
	多重度	0..1				
	順序	なし				
登録ステータス		新規登録				
	版数	1.0				
設定日		2006/03/27				
	最終更新日	2006/02/27				
最終設定者		JACIC				
その他						

4.1.5.13.ハザードマップ

データ要素名		ハザードマップ
	タグ名称	HazardMap
	コード	D0050013
クラス図	ハザードマップ	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	浸水予想区域等を色分けした地図。	
登録ステータス	新規登録	

	版数	1.0
設定日		2006/03/27
	最終更新日	2006/03/27
最終設定者		JACIC
その他		

4.1.6.他のデータ辞書から引用する型

詳細は附属書を参照すること。

4.1.6.1.JPGIS(地理情報標準プロファイル)から引用する型

型名	概略
TM_Period	期間を記述するための型
TM_Instant	瞬間を記述するための型
GM_Object	幾何形状を記述するための最上位の型
GM_Point	点を記述するための型
DirectPosition	座標値を記述するための型
SI_Gazetteer	地名集を記述するための型
SI_LocationType	地理識別子の型を記述するための型
SI_LocationInstance	地理識別子を記述するための型
CharacterString	文字列を記述するための型
Decimal	十進数を記述するための型
Integer	整数を記述するための型

4.1.6.2.道路通信標準から引用する型

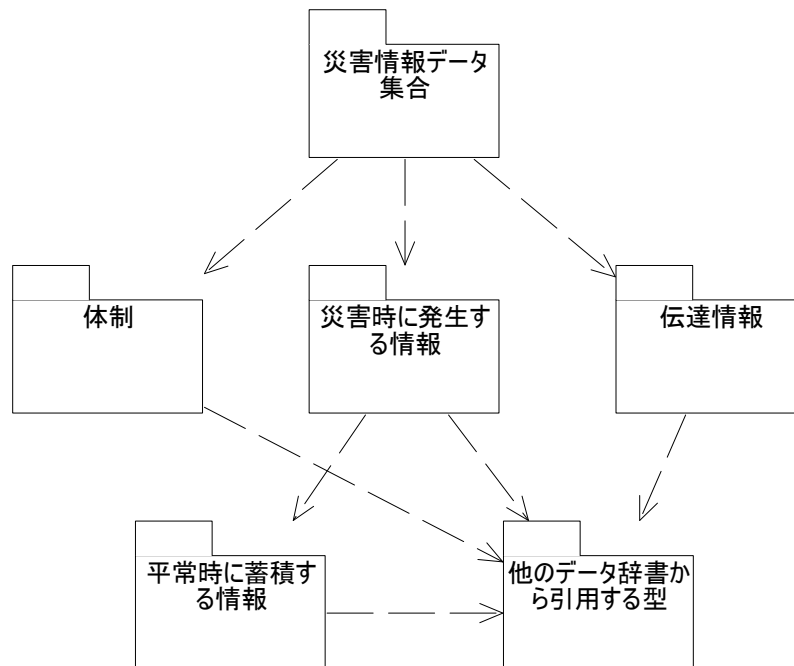
型名	データ ID	概略
機関名称	11010005	機関の名称を記述するための型
関連部署名	11010008	部署の名称を記述するための型
担当氏名	11010009	氏名を記述するための型
路線名	10020002	路線名を記述するための型
路線方向	10020007	路線方向を記述するための型
国土交通省路線毎 KP	10010014	道路距離標を記述するための型
規制内容	10070054	交通規制の内容を記述する型
気象形態	10070001	気象状態を記述するための型
気象状態予測	10070002	気象状態の予測内容を記述するための型
構造物種別	10040035	道路施設の種別を記述するための型
運営主体住所	11010010	住所を記述するための型
運営主体電話番号	11010011	電話番号を記述するための型
運営主体 FAX 番号	11010012	FAX 番号を記述するための型
運営主体 Email アドレス	11010013	Email アドレスを記述するための型
地整体制コード	10070084	機関の体制を記述するための型
震度	10070076	震度を記述するための型
震源規模	10070072	マグニチュードを記述するための型
震源深さ	10050073	震源の深さを記述するための型
渋滞状況	10070070	渋滞の程度を記述するための型
1 時間交通量	10050007	1 時間の交通量を記述するための型
災害の概略	10070038	災害の概要を記述するための型
復旧概要	10070041	復旧概要を記述するための型
応急復旧状況	10070093	応急復旧の状況を記述するための型
センサ種別	12100001	観測機器の種別を記述するための型
道路被害状況	10070023 ~ 10070031	道路被害の内容を記述するための型

4.1.6.3.河川基幹データベースシステム標準仕様(案)から引用する型

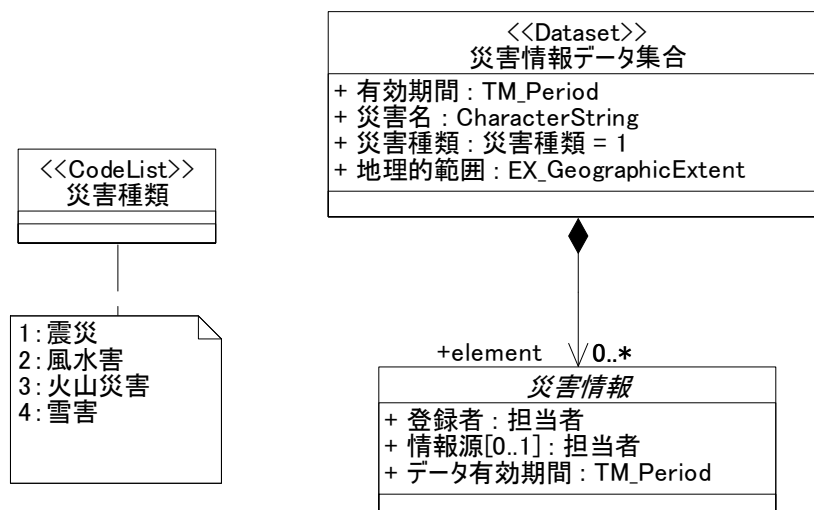
型名	概略
河川番号	河川を識別するための型
水系名	水系を記述するための型
河川名	河川名を記述するための型
左右岸	左右岸を記述するための型
河川構造物種別	河川構造物の種別を記述するための型
施設管理区分	河川構造物を管理する区分

4.2.データ構造

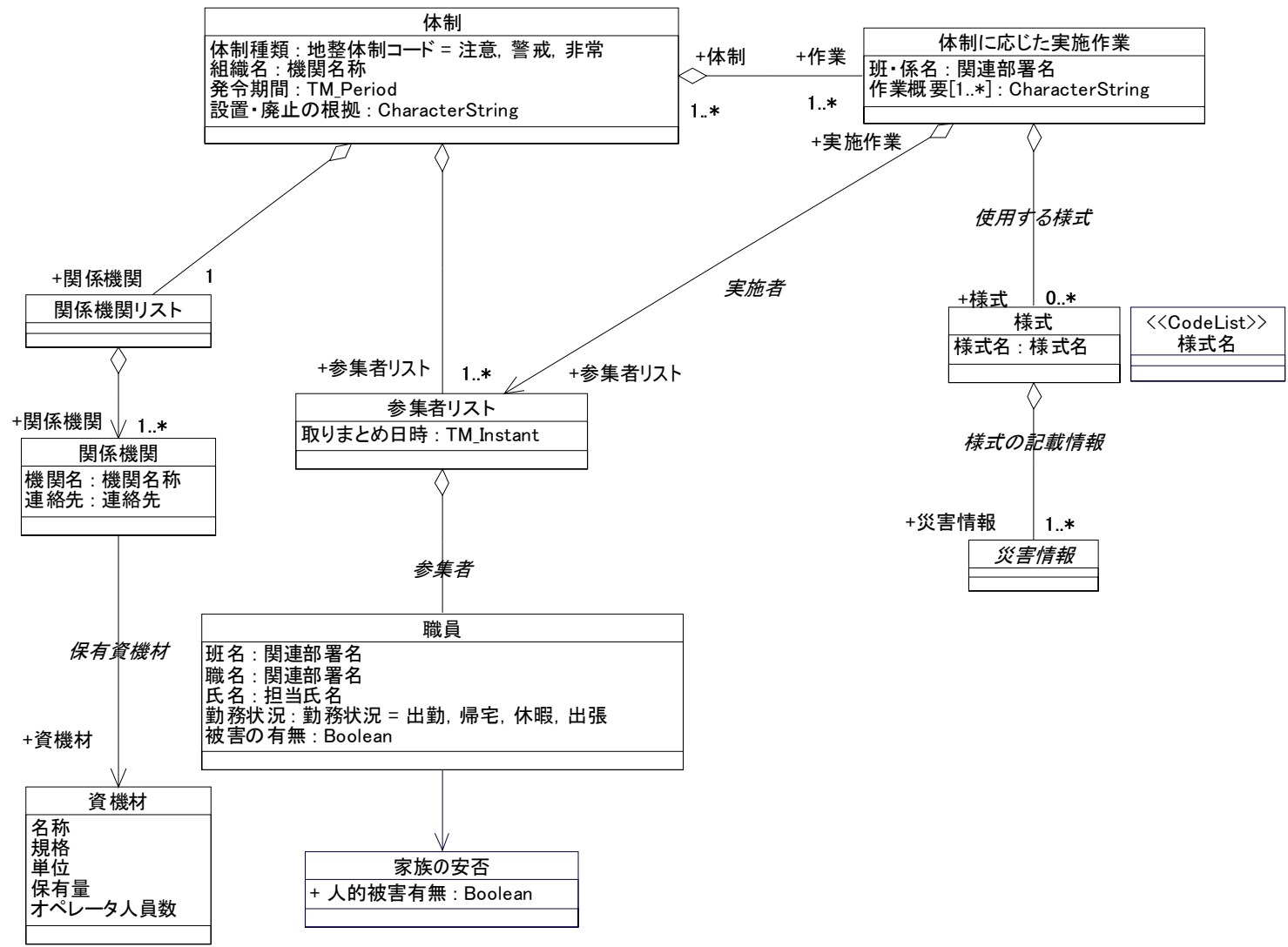
4.2.1.パッケージ構成



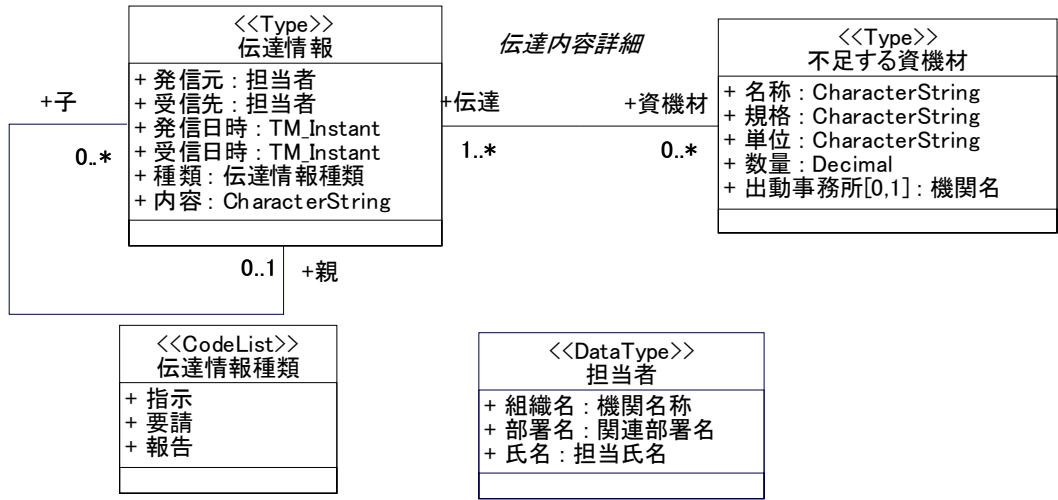
4.2.2.データ集合



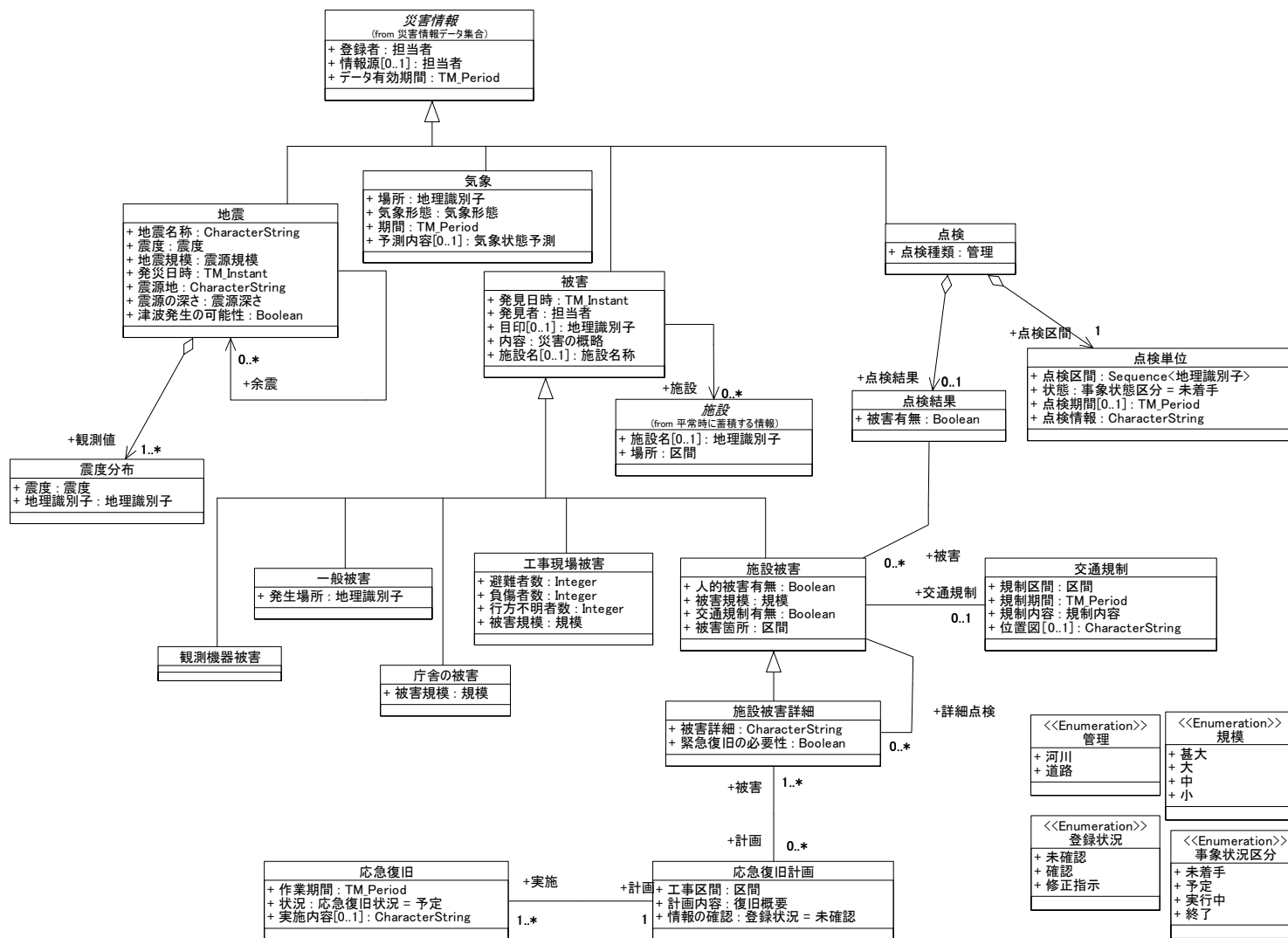
4.2.3.体制



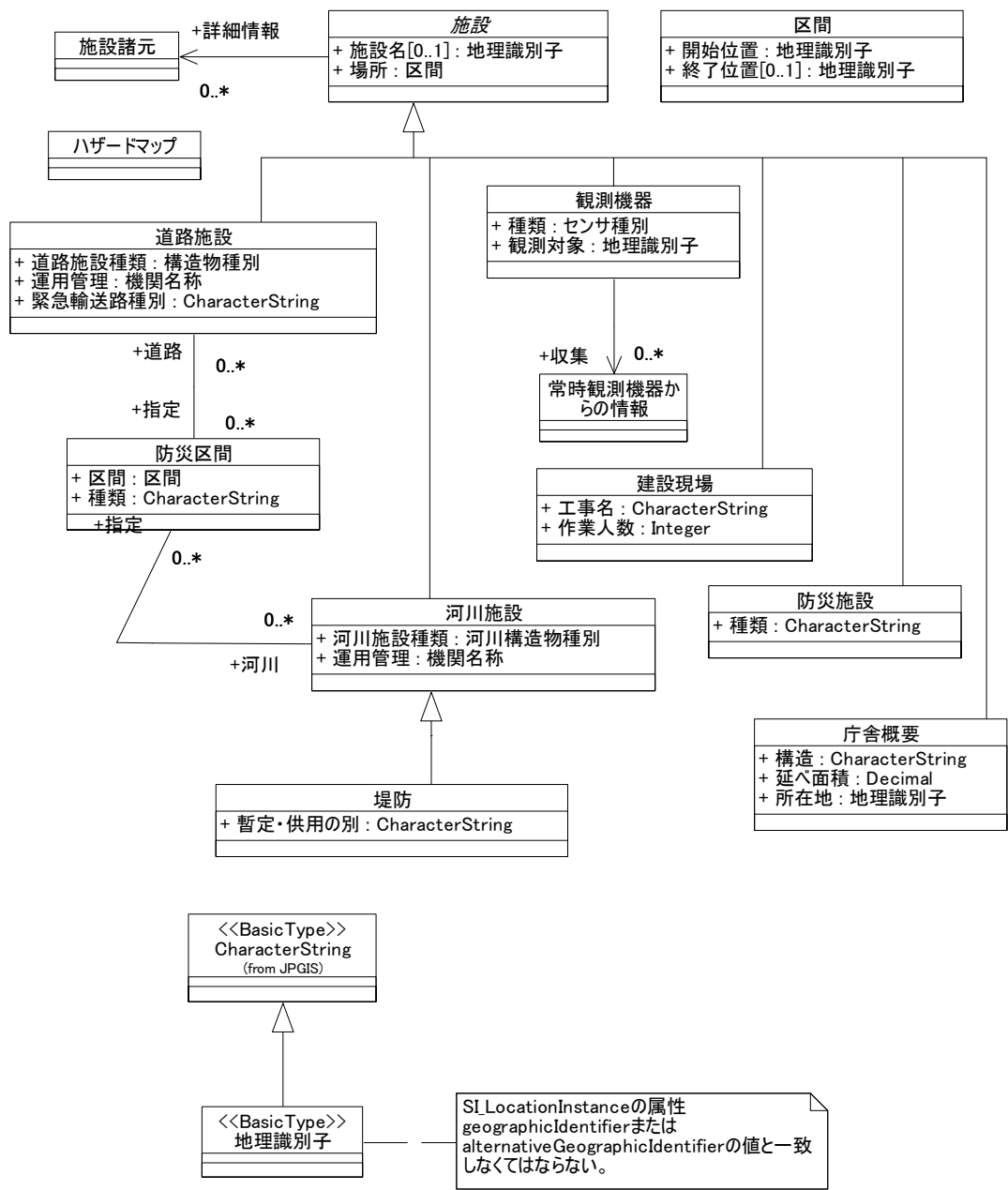
4.2.4.伝達情報



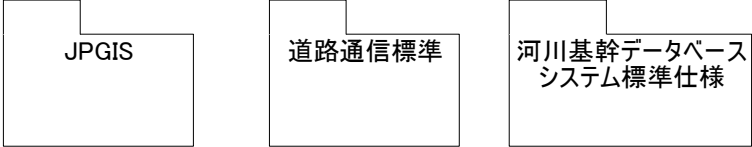
4.2.5.災害時に発生する情報



4.2.6.平常時に蓄積する情報



4.2.7.他のデータ辞書から引用する型



5. 参照系

5.1. 時間参照系

時間参照系は、参照系識別子：GC / JST※を採用する。

※ 別称：グレゴリオ暦/日本標準時

5.2. 座標参照系

座標参照系は、参照系識別子：JGD2000, TP/ (B,L),H ※を採用する。

※ 別称：日本測地系 2000(緯度, 経度), 東京湾平均海面上の高さ

5.3. 地理識別子による空間参照系

本データ辞書(案)で使用する地理識別子による空間参照系を以下の通り定義する。

場所インスタンスを作成する場合は、以下の定義に基づき、該当する場所型を参照しなくてはならない。

	識別子またはID	説明
地理識別子による空間参照系	LRS_Mlit	国土交通省における地理識別子による空間参照系
場所型	LT_Address	住所のための場所型
	LT_RivP	河川距離標のための場所型
	LT_RdP	道路距離標のための場所型
	LT_RdEg	路線名のための場所型
	LT_RivEg	河川名のための場所型
	LT_Fc	施設のための場所型(ランドマーク等)
	LT_RivFc	河川施設のための場所型
	LT_RdFc	道路施設のための場所型
	LT_RdNd	交差点名のための場所型
	LT_RivNd	文合流点のための場所型
	LT_Office	事務所管理区域のための場所型
	LT_Branch	出張所管理区域のための場所型

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GI
  xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  http://www.mlit.go.jp/gis/schema/LRS_Mlit
  LRS_Mlit.xsd" version="1.0" timeStamp="2006-02-22T09:30:47-09:00">
  <dataset>
    <object>
      <jps:RS_LRS id="LRS_Mlit">
        <jps:RS_ReferenceSystem.name>
          <jps:RS_Identifier>
            <jps:RS_Identifier.code> LRS_Mlit </jps:RS_Identifier.code>
          </jps:RS_Identifier>
        </jps:RS_ReferenceSystem.name>
        <jps:RS_LRS.theme>国土交通省のための地理識別子による空間参照系</jps:RS_LRS.theme>
        <jps:RS_LRS.overallOwner>
          <jps:CI_ResponsibleParty>
            <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
          </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
          <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
        </jps:CI_ResponsibleParty>
      </jps:RS_LRS>
    </object>
  </dataset>
</GI>
```

```

        </jps:CI_ResponsibleParty>
    </jps:RS_LRS.overallOwner>
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Address" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivP" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdP" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdEg" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivEg" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Fc" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdFc" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivFc" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RdNd" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_RivNd" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Office" />
    <jps:RS_LRS.locationTypes idref="LT_Branch" />
</jps:RS_LRS>
    <jps:SI_LocationType id="LT_Address">
        <jps:SI_LocationType.name>住所</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>人が居住する場所の名前または土地の名前
    </jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_RivP">
        <jps:SI_LocationType.name>河川距離標</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>河口を起点とし、上流に向かって一定間隔で配置された杭。
    </jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
        <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg" />
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_RdP">
        <jps:SI_LocationType.name>道路距離標</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>起点から終点に向かって一定間隔で配置されたポスト。
    </jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001" />
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
    </jps:SI_LocationType>

```

```

        </jps:SI_LocationType.owner>
        <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_RivEg">
        <jps:SI_LocationType.name>河川名</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>河川の識別子</jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivP"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivNd"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RivFc"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_Office"/>
        <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Office"/>
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_RdEg">
        <jps:SI_LocationType.name>路線名</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>道路の識別子</jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdP"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdNd"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_RdFc"/>
        <jps:SI_LocationType.child idref="LT_Office"/>
        <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Office"/>
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_Fc">
        <jps:SI_LocationType.name>施設</jps:SI_LocationType.name>
        <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
        <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
        <jps:SI_LocationType.definition>ランドマークなど、国土交通しょうが管理していない建物や施設。
    </jps:SI_LocationType.definition>
        <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
        <jps:SI_LocationType.owner>
            <jps:CI_ResponsibleParty>
                <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
            </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
                <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
            </jps:CI_ResponsibleParty>
        </jps:SI_LocationType.owner>
        <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
    </jps:SI_LocationType>
    <jps:SI_LocationType id="LT_RivFc">
        <jps:SI_LocationType.name>河川施設</jps:SI_LocationType.name>

```

```

    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>堤防や堰、ダム等の河川管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
      <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RivFc">
  <jps:SI_LocationType.name>河川施設</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>堤防や堰、ダム等の河川管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RdFc">
  <jps:SI_LocationType.name>道路施設</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>橋梁やトンネル等の道路管理施設。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RivNd">
  <jps:SI_LocationType.name>河川分合流点</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>本川と支川等の分岐または合流点。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_RdNd">

```



```

    <jps:SI_LocationType.name>交差点</jps:SI_LocationType.name>
    <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
    <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
    <jps:SI_LocationType.definition>異なる路線が交差する地点</jps:SI_LocationType.definition>
    <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
    <jps:SI_LocationType.owner>
      <jps:CI_ResponsibleParty>
        <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
      </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
      <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
    </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_Offce">
  <jps:SI_LocationType.name>事務所管理区域</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>河川，道路又は混合事務所が管理する区域
</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RivEg"/>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_RdEg"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:SI_LocationType id="LT_Branch">
  <jps:SI_LocationType.name>出張所管理区域</jps:SI_LocationType.name>
  <jps:SI_LocationType.theme>災害対応時における位置特定方法の一つ</jps:SI_LocationType.theme>
  <jps:SI_LocationType.identification>名前</jps:SI_LocationType.identification>
  <jps:SI_LocationType.definition>出張所が管理する区域。</jps:SI_LocationType.definition>
  <jps:SI_LocationType.territoryOfUse idref="geographicExtent001"/>
  <jps:SI_LocationType.owner>
    <jps:CI_ResponsibleParty>
      <jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>国土交通省国土技術政策総合研究所
    </jps:CI_ResponsibleParty.organisationName>
    <jps:CI_ResponsibleParty.role>002</jps:CI_ResponsibleParty.role>
  </jps:CI_ResponsibleParty>
  </jps:SI_LocationType.owner>
  <jps:SI_LocationType.parent idref="LT_Offce"/>
</jps:SI_LocationType>
<jps:EX_GeographicDescription id="geographicExtent001">
  <jps:EX_GeographicDescription.geographicIdentifier>
    <jps:MD_Identifier>
      <jps:MD_Identifier.code>日本国内</jps:MD_Identifier.code>
    </jps:MD_Identifier>
  </jps:EX_GeographicDescription.geographicIdentifier>
</jps:EX_GeographicDescription>
</object>
</dataset>
</GI>

```

6.データ製品配布

本データ辞書(案)に従ったデータの交換の符号化には XML を用いる。符号化仕様は XMLSchema を用いる。

6.1.配布形式情報

6.1.1. 災害情報データ集合のための符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
  xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" xmlns:ds="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema"
  elementFormDefault="qualified" attributeFormDefault="unqualified">
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" schemaLocation="jpsRoot.xsd"/>
  <xs:element name="DisaterInfomationDataset">
    <xs:complexType>
      <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
        <xs:element name="validTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
        <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
        <xs:element name="type" type="ds:DisasterType"/>
        <xs:element name="area" type="jps:EX_GeographicExtent"/>
        <xs:any namespace="http://www.mlit.go.jp/disaster/schema
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:element name="DisaterInformation" type="ds:DisaterInformation" abstract="true"/>
  <xs:complexType name="DisaterInformation" abstract="true">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jps:IM_Object">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="registant" type="ds:Charge"/>
          <xs:element name="resource" type="ds:Charge" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
          <xs:element name="validTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DisaterInfoCategory" type="ds:DisaterInfoCategory"/>
  <xs:complexType name="DisaterInfoCategory">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="jps:IM_Object">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="category" type="ds:DisaterInfomationCategoryCodeList"/>
          <xs:element name="element" type="ds:ref_DisasterInformation" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="DisaterSystem" type="ds:DisaterSystem" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
  <xs:complexType name="DisaterSystem">
    <xs:complexContent>
      <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
        <xs:sequence>
          <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
          <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
          <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period"/>
          <xs:element name="basis" type="jps:CharacterString"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

```

```

        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Activity" type="ds:Activity" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Activity">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="content" type="jps:CharacterString" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="status" type="jps:IM_ObjectReference"/>
                <xs:element name="form" type="ds:ref_Form" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Form" type="ds:Form" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Form">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="ds:FormatIdentifier"/>
                <xs:element name="info" type="ds:ref_DisasterInformation" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Message" type="ds:Message" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Message">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="sender" type="ds:Charge"/>
                <xs:element name="addressee" type="ds:Charge"/>
                <xs:element name="sendTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
                <xs:element name="receiveTime" type="jps:ref_TM_Period"/>
                <xs:element name="type" type="ds:MessageType"/>
                <xs:element name="contents" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="parent" type="ds:ref_Message" minOccurs="0"/>
                <xs:element name="child" type="ds:ref_Message" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="request" type="jps:ref_TM_Period"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RequestResource" type="ds:RequestResource"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="RequestResource">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="spec" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="unit" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="quantity" type="jps:Decimal"/>
                <xs:element name="send" type="ds:i1101005" minOccurs="0"/>
                <xs:element name="message" type="ds:ref_Message" maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Charge">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="org" type="ds:i1101005"/>
        <xs:element name="sec" type="ds:i1101008"/>
        <xs:element name="name" type="ds:i1101009"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:element name="Earthquake" type="ds:Earthquake" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Earthquake">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="rank" type="ds:i10010076"/>
                <xs:element name="center" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="scale" type="ds:i10070072"/>
                <xs:element name="break" type="jps:ref_TM_Instant"/>
                <xs:element name="depth" type="ds:i10050073"/>
                <xs:element name="tsunami" type="jps:Boolean"/>
                <xs:element name="aftershock" type="ds:ref_Earthquake" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
                <xs:element name="distribution" type="ds:RankDistribution" maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RankDistribution" type="ds:RankDistribution" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="RankDistribution">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="rank" type="ds:i10010076"/>
                <xs:element name="point" type="ds:GeographicIdentifier"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="WeatherCondition" type="ds:WeatherCondition"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="WeatherCondition">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="point" type="ds:GeographicIdentifier"/>
                <xs:element name="condition" type="ds:i10070001"/>
                <xs:element name="date" type="jps:ref_TM_Instant"/>
                <xs:element name="condition" type="ds:i10070002" minOccurs="0"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Inspection" type="ds:Inspection" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Inspection">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>

```

```

        <xs:element name="type" type="ds:ManageCode" />
        <xs:element name="section" type="ds:ref_InspectionUnit" />
        <xs:element name="result" type="ds:ref_InspectionResult" minOccurs="0" />
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="InspectionUnit" type="ds:InspectionUnit" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="InspectionUnit">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="unit" type="ds:Sequence_GeographicIdentifier" />
                <xs:element name="type" type="ds:i10070094" />
                <xs:element name="term" type="jps:ref_TM_Period" minOccurs="0" />
                <xs:element name="info" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="facilities" type="ds:ref_Facilities" maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="InspectionResult" type="ds:InspectionResult" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="InspectionResult">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="check" type="jps:Boolean" />
                <xs:element name="damages" type="ds:ref_FacilityDamages" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Damage" type="ds:Damage" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="Damage">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="date" type="jps:Boolean" />
                <xs:element name="eyewitness" type="ds:Charge" />
                <xs:element name="site" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="contents" type="ds:i10070038" />
                <xs:element name="facilities" type="ds:ref_Facilities" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="DamagesOfGOB" type="ds:DamagesOfGOB" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="DamagesOfGOB">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Damage">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

<xs:element name="FacilityDamages" type="ds:FacilityDamages" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="FacilityDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="human" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="traffic" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="inspection" type="ds:ref_Inspection" minOccurs="0" />
        <xs:element name="trafficRestriction" type="ds:ref_TrafficRestriction" minOccurs="0" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="TrafficRestriction" type="ds:TrafficRestriction" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="TrafficRestriction">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period" />
        <xs:element name="contents" type="ds:i10070054" />
        <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
        <xs:element name="map" type="jps:CharacterString" minOccurs="0" />
        <xs:element name="damage" type="ds:ref_FacilityDamages" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="FacilityDamageDetails" type="ds:FacilityDamageDetails"
substitutionGroup="ds:FacilityDamages" />
<xs:complexType name="FacilityDamageDetails">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:FacilityDamages">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="urgent" type="jps:Boolean" />
        <xs:element name="details" type="jps:CharacterString" />
        <xs:element name="plan" type="ds:ref_EmergencyPlan" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="ObservatoryDamages" type="ds:ObservatoryDamages" substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="ObservatoryDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage" />
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="ConstructionSiteDamages" type="ds:ConstructionSiteDamages"
substitutionGroup="ds:Damage" />
<xs:complexType name="ConstructionSiteDamages">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ds:Damage">
      <xs:sequence>
        <xs:element name="evacuee" type="jps:Integer" />
        <xs:element name="injured" type="jps:Integer" />

```

```

        <xs:element name="missing" type="jps:Integer" />
        <xs:element name="scale" type="ds:DamageScale" />
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EmergencyPlan" type="ds:EmergencyPlan" substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="EmergencyPlan">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="segment" type="ds:Segment" />
                <xs:element name="plan" type="ds:i10070041" />
                <xs:element name="confirmation" type="ds:EntryStatus" />
                <xs:element name="damages" type="ds:ref_FacilityDamageDetails" maxOccurs="unbounded" />
                <xs:element name="repairs" type="ds:ref_EmergencyRepairs" maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="EmergencyRepairs" type="ds:EmergencyRepairs"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation" />
<xs:complexType name="EmergencyRepairs">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="period" type="jps:ref_TM_Period" />
                <xs:element name="status" type="ds:i10070093" />
                <xs:element name="contents" type="ds:i10070041" minOccurs="0" />
                <xs:element name="plan" type="ds:ref_EmergencyPlan" />
                <xs:element name="confirmation" type="ds:EntryStatus" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Facilities" type="ds:Facilities" abstract="true" substitutionGroup="jps:IM_Object" />
<xs:complexType name="Facilities" abstract="true">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jps:IM_Object">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="location" type="ds:Segment" />
                <xs:element name="details" type="ds:ref_FacilityDetails" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RoadFacilities" type="ds:RoadFacilities" substitutionGroup="ds:Facilities" />
<xs:complexType name="RoadFacilities">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="ds:i10040035" />
                <xs:element name="manage" type="ds:Shisetsukanrikubun" />
                <xs:element name="emergencyType" type="jps:CharacterString" />
                <xs:element name="section" type="ds:ref_Disaster-preventionSection" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RiverFacilities" type="ds:RiverFacilities" substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="RiverFacilities">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="ds:Kasenkozobutsushubetsu"/>
                <xs:element name="manage" type="ds:Shisetsukanrikubun"/>
                <xs:element name="section" type="ds:ref_Disaster-preventionSection" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Bank" type="ds:Bank" substitutionGroup="ds:RiverFacilities"/>
<xs:complexType name="Bank">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:RiverFacilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="jps:Boolean"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Constructions" type="ds:Constructions" substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="Constructions">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="name" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="workers" type="jps:Integer"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Observatory" type="ds:Observatory" substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="Observatory">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="ds:i12100001"/>
                <xs:element name="subject" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="info" type="ds:ref_ObservatoryData"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="GovrenmentOfficeBuilding" type="ds:GovrenmentOfficeBuilding"
substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="GovrenmentOfficeBuilding">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="address" type="ds:GeographicIdentifier"/>
                <xs:element name="structure" type="jps:CharacterString"/>
                <xs:element name="area" type="jps:Decimal"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```



```

        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Disaster-preventionFacility" type="ds:Disaster-preventionFacility"
substitutionGroup="ds:Facilities"/>
<xs:complexType name="Disaster-preventionFacility">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:Facilities">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="Disaster-preventionSection" type="ds:Disaster-preventionSection"
substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="Disaster-preventionSection">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation">
            <xs:sequence>
                <xs:element name="section" type="ds:GeographicIdentifier"/>
                <xs:element name="type" type="jps:CharacterString"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="HazardMap" type="ds:HazardMap" substitutionGroup="ds:DisaterInformation"/>
<xs:complexType name="HazardMap">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ds:DisaterInformation"/>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="Segment">
    <xs:sequence>
        <xs:element name="start" type="ds:GeographicIdentifier"/>
        <xs:element name="end" type="ds:GeographicIdentifier" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:simpleType name="DisasterType">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="DamageScale">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="DisaterInfomationCategoryCodeList">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="4"/>
        <xs:enumeration value="5"/>
        <xs:enumeration value="6"/>
        <xs:enumeration value="7"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="FormatIdentifier">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="MessageType">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="ManageCode">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="EntryStatus">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="GeographicIdentifier">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Sequence_GeographicIdentifier">
    <xs:list itemType="ds:GeographicIdentifier"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101005">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101008">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i1101009">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10010076">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070072">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10050073">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070002">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070001">
    <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>

```

```

</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070094">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070054">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070038">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070041">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10070093">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i10040035">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="i12100001">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Shisetsukanrikubun">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:simpleType name="Kasenkozobutsushubetsu">
  <xs:restriction base="jps:CharacterString"/>
</xs:simpleType>
<xs:complexType name="ref_DisasterInformation">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Form">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Message">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Earthquake">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Inspection">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_InspectionUnit">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_InspectionResult">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_Facilities">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_FacilityDamages">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_FacilityDamageDetails">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="ref_EmergencyRepairs">

```

```

    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_EmergencyPlan">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Observatory">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_ObservatoryData">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Constructions">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_FacilityDetails">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_TrafficRestriction">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_EmergencyPlan">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
  <xs:complexType name="ref_Disaster-preventionSection">
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```

6.2.配布媒体情報

データ集合及びメタデータを格納する媒体は、本データ辞書では規定しない。データ提供者・利用者間で協議の上決定するものとする。

7.メタデータ

災害情報データ辞書(案)のメタデータは「JMP2.0」を採用する。

附属書 1 災害情報データ辞書(案) 拡張規則

1. 本附属書の位置づけ

災害対応時には様々な情報が必要となるが、情報を扱う人あるいはシステム間での定義が異なるため相互流通を阻害する一因となっている。そこで、国土交通省内における災害対応業務において必要となる情報(災害情報)の流通性を高めるために、必要な情報を整理し、相互理解が可能な仕様として災害情報データ辞書(案)(以下本データ辞書(案))の策定を行った。

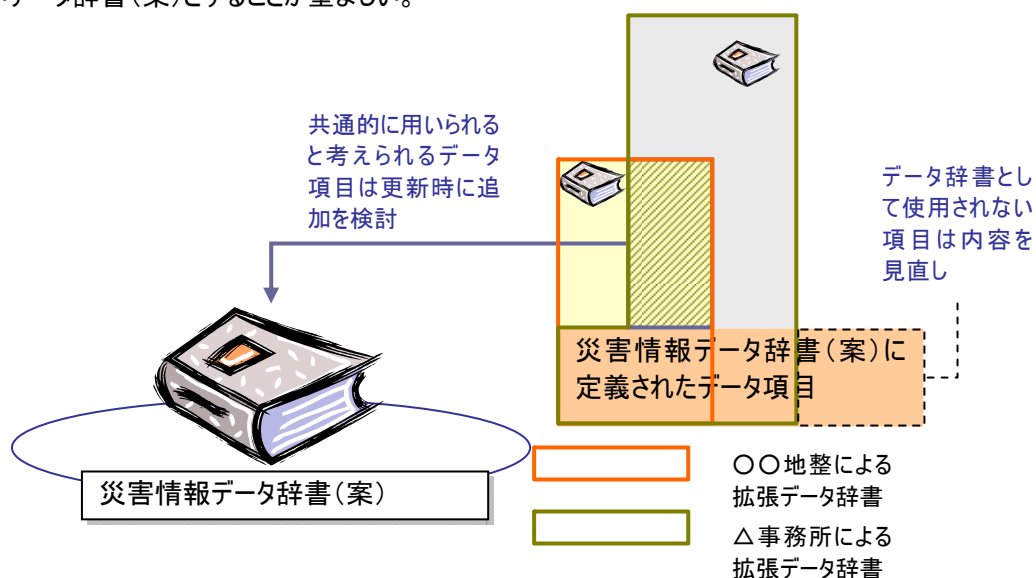
本データ辞書(案)は汎用的な利用を想定しデータ項目の定義を行っている。実際の災害対応においては地域特性等を考慮した特化したデータが必要な場合があるため、本データ辞書(案)の項目では不足する場合も考えられる。しかしながら各地方整備局や事務所が独自に本データ辞書(案)の拡張を行った場合、当初の目的である災害情報の流通性確保が困難となる。

そこで本データ辞書(案)の拡張に一定の規則をもうけ、拡張を行いたい場合にはこの規則に則り本データ辞書(案)の拡張を行うことを本付属書で規定するとともに「拡張のための規則」について規定する。

本データ辞書(案)においては汎用的な利用を想定しデータ項目の定義を行っている。実際の災害対応においては地域特性等を考慮した特化したデータが必要な場合があるため、データ辞書(案)の項目では不足する場合も想定される。その場合は本データ辞書を拡張し、データの定義を行うことができる。ただし、データの追加を行う場合には、本書付属書に示す拡張規則に従わなければならない。

これにより実用性を高めるとともに、相互流通性を担保することも可能となる。

将来的には、拡張規則に従ったデータ辞書の作成に合わせて見直しをかけ、汎用的なデータとして定義することが望ましいデータについてはデータ辞書(案)のデータ項目として更新することにより、実業務に則した使いやすいデータ辞書(案)とすることが望ましい。



なお、本データ辞書(案)の定義が詳細であるため使用に制限を行いたい場合を想定し、「制限のための規則」についても本付属書で規定する。

2. 拡張のための規則

本データ辞書(案)で定義したスキーマ(データの内容及び構造)は、以下の規則に則り拡張することができる。

規則 1 データの構造の拡張について

- ・ 新規にデータの型を追加したい場合は、本データ辞書(案)に定義されたいずれかの型から当該情報が属すると考えられる型を上位の型とし、継承により定義する。
- ・ 既にある型に対して属性の追加や関連の追加を行いたい場合は、既にある型を継承させた新しい型を作成し、追加を行う。

規則 2 文書作成について

- ・ 規則 1 に従い、データの構造及び内容を更新する場合にはかならずデータ構造とその定義文書を作成しなければならない。
- ・ データ構造は拡張せず、属性値のみの拡張を行う場合も定義文書を作成しなければならない。
- ・ データ構造及び定義文書は、本データ辞書(案)5章に示す書式に従うこと。

規則 3 符号化規則作成について

- ・ 属性の追加や関連の追加を行った場合には JPGIS 附属書 8 に示される変換規則に従い符号化規則を作成しなければならない。
- ・ 符号化規則を作成する場合は、元となる本データ辞書(案)6.1 に示す XMLSchema の要素及び型定義を拡張し作成しなければならない。

規則 4 データ辞書公開について

- ・ 本データ辞書(案)を拡張し、データ辞書を作成した場合には、作成したデータ辞書を公開しなければならない。
- ・ 本データ辞書(案)を拡張し、データ辞書を作成した場合には、本データ辞書(案)の問合せ先に通知しなければならない。

規則5 データ辞書拡張の制限について

- ・ 既に同等の拡張が他のデータ辞書において定義されている場合には可能な限りこれを採用する。

3.制限のための規則

本データ辞書(案)で定義したスキーマ(データの内容及び構造)は、以下の規則に則り制限することができる。

規則 1 データの構造及び内容の制限について

- ・ 本データ辞書(案)の一部を制限して使用する場合は、本データ辞書(案)に示されたデータ構造の修正は行わず、定義文書のその他欄に制限の内容を明記し対応することとする。

附属書 2 他のデータ辞書からの引用

1. 本附属書の位置づけ

本附属書は、災害情報データ辞書(案)で引用する他のデータ辞書の定義を記すものである。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

2. JPGIS(Japan Profile for Geographic Information Standards) 第 1.0 版

本章は、災害情報データ辞書(案)において JPGIS から引用する要素についてその定義を示す。
 なお JPGIS 全体については別添 2 JPGIS に示す。

2.1.空間スキーマ

本データ辞書案において、直接的に空間スキーマの型を使用しないが、使用する他のスキーマの記述(例:SI_LocationInstance の属性 position の型として GM_Point を用いる)に必要なため、これらの間接的に使用する型のみをここで示す。

2.1.1.GM_Object

データ要素名		GM_Object
	タグ名称	GM_Object
クラス図		<pre> classDiagram class GM_Object["<<Type>>\nGM_Object"] class RS_CRS["<<Type>>\nRS_CRS\n(from Reference System)"] GM_Object --> RS_CRS : Coordinate Reference System +CRS RS_CRS "0..1" </pre>
上位型		なし
抽象・具象区分		抽象
定義		全ての幾何オブジェクトの基底型
役割	名称	CRS
	タグ名称	CRS
	定義	Coordinate Reference System 関連によって、この GM_Object と DirectPosition の座標に用いる座標参照系をつなげる。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.1.2.GM_Point

データ要素名		GM_Point
	タグ名称	GM_Point
クラス図		<pre> classDiagram class GM_Point["<<Type>>\nGM_Point"] GM_Point --> DirectPosition : + position : DirectPosition </pre>
上位型		GM_Primitive
抽象・具象区分		具象
定義		ただ一つの点からなる幾何オブジェクトを表す基本的なデータ型
属性	名称	position
	タグ名称	position
	定義	GM_Point がもつ位置となる座標値
	型	DirectPosition
	定義域	1
	多重度	1
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

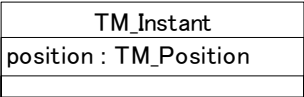
2.1.3.DirectPosition

データ要素名		DirectPosition
	タグ名称	DirectPosition
クラス図	<pre> classDiagram class DirectPosition["<<DataType>>\nDirectPosition"] { coordinate : Sequence<Number> dimension : Integer } class CoordinateReferenceSystem["<<Type>>\nRS_CRS\n(from Reference System)"] DirectPosition "0..n" -- "0..1" CoordinateReferenceSystem : +CoordinateReferenceSystem CoordinateReferenceSystem "0..1" -- "0..n" DirectPosition : +directPosition </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	ある座標参照系上の位置	
属性	名称	coordinate
	タグ名称	coordinate
	定義	指定した参照系におけるこの位置の座標を保持する数値 (Number) の列
	型	Sequence<Number>
	定義域	座標参照系に従う
	多重度	1
	順序	あり
属性	名称	dimension
	タグ名称	dimension
	定義	座標列の長さ (項数)。これは参照系によって決まり、省略することが可能である。
	型	Integer
	定義域	座標参照系に従う
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	coordinateReferenceSystem
	タグ名称	coordinateReferenceSystem
	定義	役割名 coordinateReferenceSystem によって、RS_CRS と、この DirectPosition は任意に関連付く。対象となる DirectPosition が参照系への参照をもつ、より大きなオブジェクトに含まれている場合は空のままとしてよい。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.時間スキーマ

本データ辞書(案)においては、瞬間を示す TM_Instantと期間を示す TM_Periodを用いる。またそれらを作成するために必要となる TM_Position 及び時間位置を記述する型について記述する。

2.2.1.TM_Instant

データ要素名		TM_Instant
	タグ名称	TM_Instant
クラス図	 <pre> classDiagram class TM_Instant { position : TM_Position } </pre>	
上位型		TM_Primitive
抽象・具象区分		具象
定義		瞬間(TM_Instant)は、零次元幾何プリミティブであり、時間上の位置を表現する。これは空間における点と同等である。実際には、瞬間は時間間隔であるが、その持続時間は時間尺度の分解能より短い。
属性	名称	position
	タグ名称	position
	定義	TM_Instant の位置
	型	TM_Position
	定義域	座標参照系に従う
	多重度	1
	順序	なし
役割	名称	begunBy
	タグ名称	begunBy
	定義	Beginning 関連は、期間を示す TM_Period(端点 begunBy の先につながる)と、この TM_Instant とを関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	endedBy
	タグ名称	endedBy
	定義	Ending 関連は、期間を示す TM_Period(端点 endedBy の先につながる)と、この TM_Instant とを関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.2.2.TM_Period

データ要素名		TM_Period
	タグ名称	TM_Period
クラス図	<pre> classDiagram class TM_Instant { position : TM_Position } class TM_Period TM_Instant "1" -- "0..*" TM_Period : Beginning (+begin, +begunBy) TM_Instant "1" -- "0..*" TM_Period : Ending (+end, +endedBy) note for TM_Period "{self.begin.position < self.end.position}" </pre>	
上位型	TM_Primitive	
抽象・具象区分	具象	
定義	期間(TM_Period)は、時間の範囲を表現する一次元幾何プリミティブとする。期間は空間における曲線と同等であり、曲線のように、始点及び終点(瞬間)を境界にもつ開区間をなし、長さ(持続時間)をもつ。その時間上の位置は、それが始まる瞬間及び終わる瞬間の時間位置によって記述し、その長さは二つの時間位置間の時間距離に等しい。 {self.begin.position < self.end.position}は、期間開始の時間位置が期間終了の時間位置よりも小さく(より以前に)なければならないことを示す。	
役割	名称	begin
	タグ名称	begin
	定義	Beginning 関連は、期間開始位置を示す TM_Instant(端点 begin の先につながる)と、この TM_Period を関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
役割	名称	end
	タグ名称	end
	定義	Ending 関連は、期間開始位置を示す TM_Instant(端点 end の先につながる)と、この TM_Period を関連付ける。
	型	TM_Period
	多重度	0..*
	順序	なし
引用元	JPGIS	
その他		

2.2.3.TM_Position

データ要素名		TM_Position
	タグ名称	TM_Position
クラス図	<pre> classDiagram class TM_Position { <<Union>> anyOther : TM_TemporalPosition date8601 : Date time8601 : Time dateTime8601 : DateTime } </pre>	
上位型	なし	
抽象・具象区分	具象	
定義	TM_Position は、その属性となる四つのデータ型のうち唯一を選択する共用体である。Date, Time, DateTime は、ISO/TS 19103 で定義している基本的なデ	

	ータ型とする。これらは、日付及び時刻を文字列として符号化する JIS X 0301 に適合する。これらのデータ型は、グレゴリオ暦及び協定世界時を参照する時間位置を記述するために使用してもよい。TM_TemporalPosition 及びその下位型は、これ以外の時間参照系を参照する時間位置を記述するために使用しなければならない。
引用元	JPGIS
その他	

2.2.4.TM_TemporalPosition

データ要素名		TM_TemporalPosition
	タグ名称	TM_TemporalPosition
クラス図		<<DataType>> TM_TemporalPosition indeterminatePosition[0..1] : TM_IndeterminateValue
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		TM_TemporalPosition は、RS_CRS との関連及び属性 indeterminatePosition をもち、二つの下位クラスが存在する。
属性	名称	indeterminatePosition
	タグ名称	indeterminatePosition
	定義	不確定位置。不明(unknown)、以前(before)、以後(after)、現在(now)のいずれかをとる。
	型	TM_IndeterminateValue
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	frame
	タグ名称	frame
	定義	TM_TemporalPosition を RS_CRS(端点 frame の先につながる)に接続する。この関連は、インスタンスレベルで明示する必要はない。特に指示がない場合には、TM_TemporalPosition は、グレゴリオ暦と協定世界時との関連を指す。また、この関連は、地物カタログの属性型定義、又はデータ集合のためのメタデータで識別することもできる。
	型	RS_CRS
	多重度	0..1
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.2.5.TM_Caldate

データ要素名		TM_CalDate
	タグ名称	TM_CalDate
クラス図		<<DataType>> TM_CalDate calDate : Sequence<Integer> calendarEraName : CharacterString
上位型		TM_TemporalPosition
抽象・具象区分		具象
定義		ある暦の中で特定した時間位置を表すために使用しなければならないデータ型

属性	名称	calDate
	タグ名称	calDate
	定義	正の整数の列で、最初の整数は、暦における階層の最上位レベルで使う単位の特定の値を示す。二番目の整数は、暦における階層の二番目のレベルで使う単位の特定の値を示し、以下同様に続く。JIS X 0301 で定義しているグレゴリオ暦における日付を示すための形式は、年、月、日の値によって構成するあらゆる日付を示すために使用してもよい。
	型	Sequence<Integer>
	多重度	1
	順序	あり
属性	名称	calendarEraName
	タグ名称	calendarEraName
	定義	日付が参照する暦年代の名称
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.2.6.TM_ClockTime

データ要素名		TM_ClockTime			
	タグ名称	TM_ClockTime			
クラス図	<table><tr><td><<DataType>> TM_DateAndTime</td></tr><tr><td>clkTime : Sequence<Number></td></tr><tr><td></td></tr></table>		<<DataType>> TM_DateAndTime	clkTime : Sequence<Number>	
<<DataType>> TM_DateAndTime					
clkTime : Sequence<Number>					
上位型	TM_CalDate				
抽象・具象区分	具象				
定義	一日よりも短い分解能で時間位置を識別するために、TM_CalDate を継承し、かつ時刻を示す属性をもつデータ型				
属性	名称	clkTime			
	タグ名称	clkTime			
	定義	calDate と類似した構造の正数の列を規定する。最初の正数は、時計の階層の中で最上位レベルに使う単位の特定の値を示し、二番目の数は二番目のレベルに使う単位の特定の値を示し、以下、同様に続く。最後の数以外は整数でなければならない、最後の数は整数又は実数のいずれでもよい。			
	型	Sequence<Number>			
	多重度	1			
	順序	あり			
引用元	JPGIS				
その他					

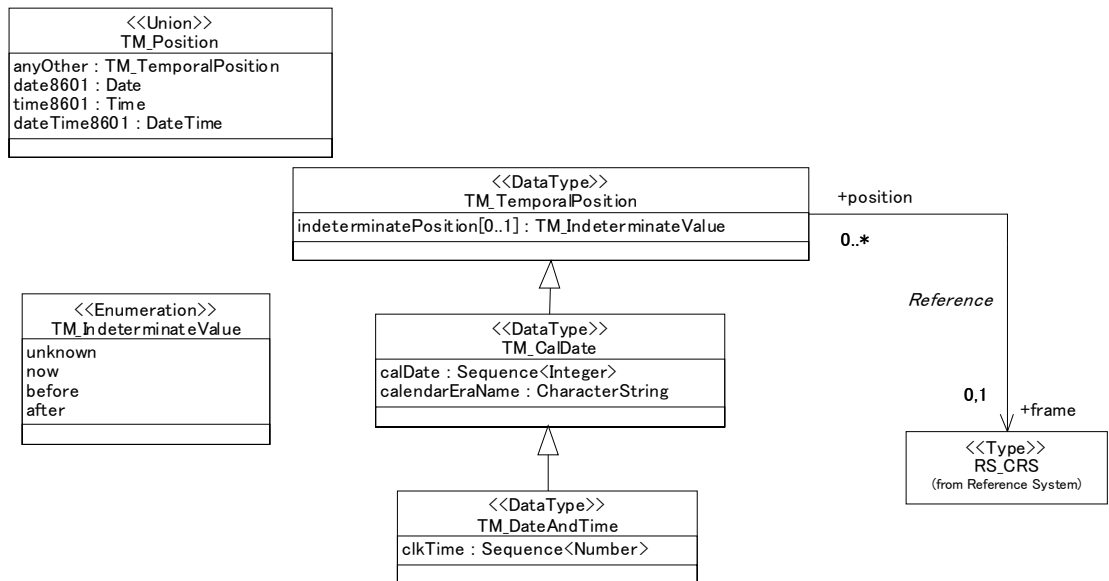


図 16 時間スキーマ 時間位置

2.3.地理識別子による空間参照

本項では地理識別子を記述するために使用する型の定義を示す。

2.3.1.SI_Gazetteer

データ要素名		SI_Gazetteer
タグ名称		SI_Gazetteer
クラス図		<pre> classDiagram class SI_Gazetteer { name : CharacterString scope[0..1] : CharacterString territoryOfUse : EX_GeographicExtent custodian : CI_ResponsibleParty coordinateSystem[0..1] : RS_CRS } </pre>
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		地名辞典 (SI_Gazetteer) は、空間参照系のなかにある場所型を参照する場所インスタンスの要覧とする。場所インスタンスが作成又は廃止されたときや、場所インスタンスの新しいバージョンが作成されたときは、地名辞典の新しいバージョンを作成しなければならない。
属性	名称	名前
	タグ名称	name
	定義	地名辞典の名前
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	適用範囲
	タグ名称	scope
	定義	地名辞典に含まれた場所型について記述する
	型	CharacterString

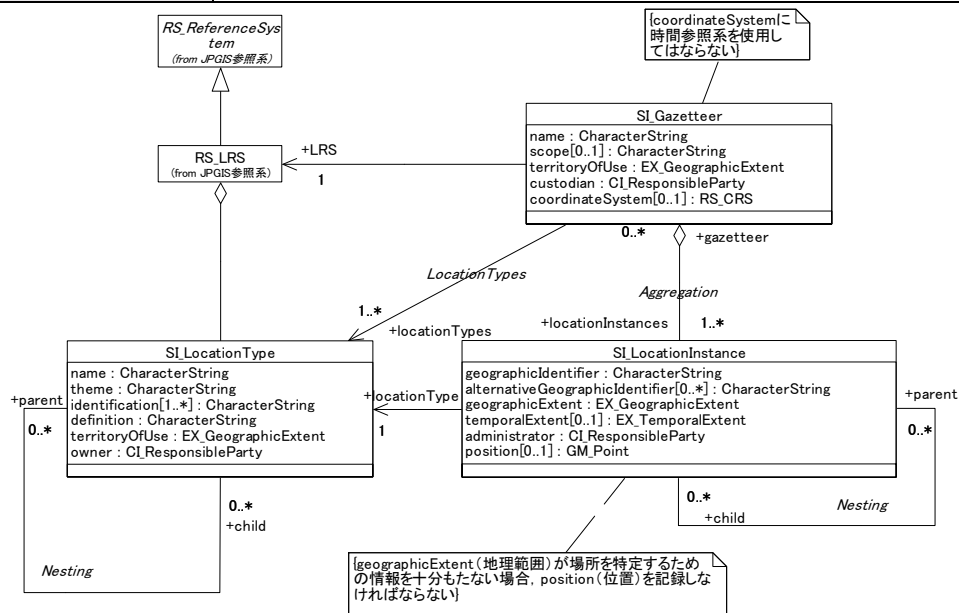
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	使用領域
	タグ名称	territoryOfUse
	定義	地名辞典の収録地域
	型	EX_GeographicExtent
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	責任者
	タグ名称	custodian
	定義	地名辞典のメンテナンスに責任がある組織の名称
	型	CI_ResponsibleParty
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	座標参照系
	タグ名称	coordinateSystem
	定義	地名辞典の中で位置を記述するために使われる座標系の名前
	型	CharacterString
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	locationInstances
	タグ名称	locationInstances
	定義	Aggregation 関連は、この SI_Gazetteer と SI_LocationInstance とを関連付ける集成であり、SI_Gazetteer は一つ以上の SI_LocationInstance で構成しなければならない。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	1..*
	順序	なし
役割	名称	locationTypes
	タグ名称	locationTypes
	定義	LocationTypes 関連は、この SI_Gazetteer を SI_LocationType に関連付ける。SI_Gazetteer は一つ以上の SI_LocationType を参照しなければならない。
	型	SI_LocationType
	多重度	1..*
	順序	なし
引用元		JPGIS
その他		

2.3.2.SI_LocationInstance

データ要素名	SI_LocationInstance
タグ名称	SI_LocationInstance

クラス図		<pre> classDiagram class SI_LocationInstance { geographicIdentifier : CharacterString alternativeGeographicIdentifier[0..*] : CharacterString geographicExtent : EX_GeographicExtent temporalExtent[0..1] : EX_TemporalExtent administrator : CI_ResponsibleParty position[0..1] : GM_Point } SI_LocationInstance "0..*" -- "0..*" SI_LocationInstance : parent SI_LocationInstance "0..*" -- "0..*" SI_LocationInstance : child (Nesting) </pre> [geographicExtent(地理範囲)が場所を特定するための情報を十分もたない場合、position(位置)を記録しなければならない]
上位型		なし
抽象・具象区分		具象
定義		場所インスタンス(SI_LocationInstance)は、空間参照系のなかにある場所型を参照するインスタンスである。いずれかの属性が変化した場合、SI_LocationInstance の新しいインスタンスを生成しなければならない。ただし、この場合は、属性 temporalExtent を記述しなければならない。SI_LocationInstance の変化の例としては、境界変更によって地方自治体の行政区域が変わったときがある。
属性	名称	地理識別子
	タグ名称	geographicIdentifier
	定義	地名辞典の中で一意となるインスタンスの識別子
	型	CharacterString
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	代替地理識別子
	タグ名称	alternativeGeographicIdentifier
	定義	geographicIdentifier で記述した以外の、この場所インスタンスに対する別の地理識別子を記述する
	型	CharacterString
	多重度	0..*
	順序	なし
属性	名称	地理範囲
	タグ名称	geographicExtent
	定義	場所インスタンスの範囲。 多角形、矩形あるいは自由記述のいずれかの方法を用いる。
	型	EX_GeographicExtent
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	時間範囲
	タグ名称	temporalExtent
	定義	場所インスタンスの存続期間
	型	EX_TemporalExtent
	多重度	0..1
	順序	なし
属性	名称	管理者
	タグ名称	administrator
	定義	場所インスタンスの特性を定義する責任がある組織の名前
	型	CI_ResponsibleParty
	多重度	1
	順序	なし
属性	名称	位置

	タグ名称	position
	定義	場所インスタンスの代表点の座標
	型	GM_Point
	多重度	0..1
	順序	なし
役割	名称	parent
	タグ名称	parent
	定義	Nesting 関連は、この SI_LocationInstance をその一部分である他の SI_LocationInstance (端点 parent の先につながる)、又はこの SI_LocationInstance を細分化する他の SI_LocationInstance (端点 child の先につながる)に関連付ける。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	0..*
役割	名称	child
	タグ名称	child
	定義	Nesting 関連は、この SI_LocationInstance をその一部分である他の SI_LocationInstance (端点 parent の先につながる)、又はこの SI_LocationInstance を細分化する他の SI_LocationInstance (端点 child の先につながる)に関連付ける。
	型	SI_LocationInstance
	多重度	0..*
役割	名称	locationType
	タグ名称	locationType
	定義	LocationType 関連役割は、この SI_LocationInstance を SI_LocationType に関連付ける。SI_LocationInstance は SI_LocationType を参照しなければならない。
	型	SI_LocationType
	多重度	1
引用元		JPGIS
その他		



3. 各分野の標準仕様

3.1.道路通信標準(Ver1.05)データディクショナリ編

本章では、災害情報データ辞書(案)で引用する道路通信標準に定義された型を示す。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

型名	データ ID	概略
機関名称	11010005	機関の名称を記述するための型
関連部署名	11010008	部署の名称を記述するための型
担当氏名	11010009	氏名を記述するための型
路線名	10020002	路線名を記述するための型
路線方向	10020007	路線方向を記述するための型
国土交通省路線毎 KP	10010014	道路距離標を記述するための型
規制内容	10070054	交通規制の内容を記述する型
気象形態	10070001	気象状態を記述するための型
気象状態予測	10070002	気象状態の予測内容を記述するための型
構造物種別	10040035	道路施設の種別を記述するための型
運営主体住所	11010010	住所を記述するための型
運営主体電話番号	11010011	電話番号を記述するための型
運営主体 FAX 番号	11010012	FAX 番号を記述するための型
運営主体 Email アドレス	11010013	Email アドレスを記述するための型
地整体制コード	10070084	機関の体制を記述するための型
震度	10070076	震度を記述するための型
震源規模	10070072	マグニチュードを記述するための型
震源深さ	10050073	震源の深さを記述するための型
渋滞状況	10070070	渋滞の程度を記述するための型
1 時間交通量	10050007	1 時間の交通量を記述するための型
災害の概略	10070038	災害の概要を記述するための型
復旧概要	10070041	復旧概要を記述するための型
応急復旧状況	10070093	応急復旧の状況を記述するための型
センサ種別	12100001	観測機器の種別を記述するための型
道路被害状況	10070023 ~ 10070031	道路被害の内容を記述するための型

・ 機関名称

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／機関名称 organizationAgencyName (2)DE識別コード 11010005
2. データ定義	(1)定義 道路管理者の機関の名称を示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等)

	○ 九州地方建設局災害対応システム 管理機関名 情報提供先機関名 (2)データ定義内容 道路管理者の機関の名称を示す。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・次のシステムのデータ項目を共通化した。 ○ 関東地方整備局画像交換システム 機関名称 UTF8string(20) ・データ型を「OCTET STRING K(20)」から「UTF8string(20)」に変更した。 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ○ 関東地方整備局画像情報交換システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「UTF8string(20)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「(20)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「(20)」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 関連部署名

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／関連部署コード organizationDivisionCode (2)DE識別コード 11010007
2. データ定義	(1)定義 道路管理者の関連する部署をコードで示す。 各道路管理者が定める関連部署のコード体系に従う。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(0..9999) ②内部表現形式(データフォーマット) 9999 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9999 ④データ単位
3. 登録ステータス	1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 管理機関部署 (2)データ定義内容 道路管理者の関連する部署をコードで示す。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法

	(4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「INTEGER」から「INTEGER(0..9999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「-」から「9999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「-」から「0.9999」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 担当氏名

1. DE名称	1)クラス名/DE名(ASN.1name) 運営主体情報/担当氏名 organizationPersonName (2)DE識別コード 11010009
2. データ定義	(1)定義 関連する担当者の氏名を示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 情報収集道路管理者氏名 ○ 関東地方建設局特車行政手続き対応 申請者担当者__漢字名 VARCHAR2(80) (2)データ定義内容 関連する担当者の氏名を示す。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」

	へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 路線名

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 道路・網情報／路線名 roadRouteName (2)DE識別コード 10020002
2. データ定義	(1)定義 有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(120)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.6
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/01
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) 路線の名称を示す。 (2)データ定義内容 有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/01/31 (1)変更内容 ・定義内容を以下のように変更した。 「公団路線及び一般道路の路線名称を、フリーテキストにより示す。」 (2)その他(変更時の検討内容など) ・DD グループによる定義の充足 Ver0.03 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。 ○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末設置路線名 ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 路線名 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 路線名 ○ 関東地方建設局特車行政手続き対応 最上位の路線名称 VARCHAR2(80) Ver0.03 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項

	目を共通化した。 ○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)の設定方針の統一を図るため、「OCTET STRING」から「UTF8String(size(80))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(80)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(80)」から「-」へ変更した。 Ver0.6 2005/07/01 (1)変更内容 日本道路公団民営化による組織変更への対応と、登録可能な路線名を拡張するため以下の変更を行った。 定義を「公団路線及び一般道路の路線名称を、フリーテキストにより示す。」から「有料道路系路線及び一般道系路線の路線名称を、フリーテキストにより示す。」に変更した。外部表現形式を「UTF8String(size(80))」から「UTF8String(size(120))」に変更した。
9. 関連DS	・00000 共通 DS_02000 位置情報 DS_02200 区間位置 DS_02203 スパン DS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02111 有料道路路線の管理系 KPDS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02112 国土交通省路線の管理系 KPDS ・00000 共通 DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS

・ 路線方向

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 道路・網情報／路線方向 roadRouteDirectionCode (2)DE識別コード 10020007
2. データ定義	(1)定義 車線の通行方向を表すコード。 {詳細なし(0),方向無関係(上下、東西、南北線)(1),上り(2),下り(3),内回り(4),外回り(5),上り(内回り)(6),下り(外回り)(7),上下(8),東行き(9),西行き(10),北行き(11),南行き(12),両方行(13),上り別線(14),下り別線(15),上り左(16),下り左(17),上り右(18),下り右(19),上り両ルート(20),下り両ルート(21),内回り左(22),外回り左(23),内回り右(24),外回り右(25),無効データ(97),その他(98),不明(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99 ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.61
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/27
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム

	○ JH東京第二管理局交通管制システム 方向 01:上り, 02:下り, 03:内周り, 04:外回り, 05:東行き, 06:西行き, 07:南行き, 08:北行き, 09:方向無関係(上下、東西、南北線), 10:上り別線, 11:下り別線, 12:上り左, 13:下り左, 14:上り右, 15:下り右, 16:上り両ルート, 17:下り両ルート, 18:内回り左, 19:外回り左, 20:内回り右, 21:外回り右, 99:その他交通情報交換インタフェース基準仕様書 ○ 首都公団交通管制システム 方向 1:内回, 2:外回, 3:上り, 4:下り, 5:東行, 6:西行, -1:不明 首都公団交通管制システムインタフェース仕様書 ○ 関東地建道路交通情報システム関連 路線方向 1:上り, 2:下り, 3:内回り, 4:外回り, 5:東行き, 6:西行き, 7:北行き, 8:南行き, 9:両方向, 15:情報なし 関東地建 VICS 仕様書 ○ その他 道路管理に関するシステムタスクフォース(H10年度道路通信標準における検討成果) 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果) コード定義(コード名称:路線路線方向) 上り下り (2)データ定義内容 ある断面における車道の方向を示すコード。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/01/06 (1)変更内容 ・以下の定義に変更した。 「車線の通行方向を表すコード。」 (2)その他(変更時の検討内容など) Ver0.03 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。 ○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末の道路延長上の方向 ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置 ○ 北海道開発局他主体接続システム 上下区分{上り線(1)、下り線(2)} ○ 北海道開発局寒冷地用AHSシステム 観測位置 ○ 北陸地方建設局道路行政支援システム 上下区分{上り線(1)、下り線(2)} Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・無効データの設定 ・次のシステムのデータを共通化した。 ○ 関東地方整備局画像交換システム 路線方向 Ver0.10 2001/03/15

	(1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)を「ENUMERATED{none(0), national-h(1), city-h(2), pricing(3), exclusive(4), national(5), local-pref(6), local(7), pref(8), city(9), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), up(inbound)(6), down(outbound)(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboudLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」へ変更した。 Ver1.02 2003/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)を「ENUMERATED{none(0),noDirection(1),up(2),down(3),inbound(4),outbound(5),up(inbound)(6),down(outbound)(7),updown,(8),eastbound(9),westbound(10),northbound(11),southbound(12),bothDirections(13),upAnotherLane(14),downAnotherLane(15),upLeft(16),downLeft(17),upRight(18),downRight(19),upBothRoutes(20),downBothRoutes(21),inboudLeft(22),outboundLeft(23),inboundRight(24),outboundRight(25),invalidData(97),other(98),unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboudLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」へ変更した。 Ver0.41 2004/03/16 (1)変更内容 兵庫県兵庫県道路情報総合管理システムからの要求により、以下の変更を行った。 ・関連 DS に「00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS」を追加した。 Ver0.61 2005/07/27 (1)変更内容 誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。 外部表現形式を「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboudLeft(22), outboundLeft(23), inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}」から「ENUMERATED{none(0), noDirection(1), up(2), down(3), inbound(4), outbound(5), upInbound(6), downOutbound(7), updown,(8), eastbound(9), westbound(10), northbound(11), southbound(12), bothDirections(13), upAnotherLane(14), downAnotherLane(15), upLeft(16), downLeft(17), upRight(18), downRight(19), upBothRoutes(20), downBothRoutes(21), inboundLeft(22), outboundLeft(23),
--	--

	inboundRight(24), outboundRight(25), invalidData(97),other(98), unknown(99)}}に変更した。
9. 関連DS	・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02111 公団路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02112 建設省路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02100 地点位置 DS_02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS_02116 自治体等管理路線の管理系 KPDS ・00000 共通DS_02000 位置情報DS_02200 区間位置 DS_02204 基本道路リンク DS

・ 国土交通省路線毎 KP

1. DE名称	(1)クラス名／DE名 (ASN.1name) 位置情報／国土交通省路線毎 KP locationNationalRoadSpotKp (2)DE識別コード 10010014
2. データ定義	(1)定義 国土交通省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 100m 間隔で付番されている。 国土交通省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(-999999..999999) ②内部表現形式(データフォーマット) 999999 ③データ表現形式(実際の数値表現) -999999..999999 ④データ単位 m
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.50
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/03/04
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) H10 道路通信標準道路関連情報 DD (H10年度道路通信標準における検討成果) ○ 関東地建道路情報システム、情報板、道の駅、VICS: 既存システム調査した仕様書は、「建設省関東地方建設局道路交通情報システム関連機器仕様書、システム概要仕様書および関連仕様書一式」、「東京国道工事事務所道路情報システムシステム仕様書」、「千葉道の駅システムシステム仕様書」 ○ 特車管理情報(H10年度道路通信標準における検討成果) ○ インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果) (2)データ定義内容 建設省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 10m 間隔で付番されている。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。 ○ 九州地方建設局災害対応システム 観測端末の道路延長上の位置(kp) ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 観測位置 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム

	観測位置 ○ 北海道開発局寒冷地用AHSシステム 観測位置 ○ 北陸地方建設局道路行政支援システム 設置 KP 最小単位 1m0.10 Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・位置情報クラスに定義されていた当該 DD 項目を、地物識別データとして登録し直した。 Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・DE 名を「建設省路線毎 KP」から「国土交通省路線毎 KP」へ変更した。 ・定義を「建設省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 10m 間隔で付番されている。建設省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する」から「国土交通省路線毎に定められた KP 値。各路線に沿って概ね 100m 間隔で付番されている。国土交通省の路線毎のキロポスト資料「道路台帳付図」を外部参照する。」へ変更した。 ・単位に「m」を設定した。 Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のためデータ表現形式(実際の数値表現)を「0.999999 最小刻み値は 1m」から「0..999999 最小刻み値は 1m」へ変更した。 Ver0.50 2005/03/04 (1)変更内容 管轄路線の一部の区間において、マイナス値の KP を割り当てて道路管理をしている場合があるため、以下の変更を行った。 外部表現形式を「INTEGER(0..999999)」から「INTEGER(-999999..999999)」に変更した。データ表現形式を「0..999999」から「-999999..999999」に変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS__02000 位置情報DS__02100 地点位置 DS__02110 道路延長の位置 2 次元地点位置 DS__02112 建設省路線の管理系 KPDS

・ 規制内容

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／規制内容 eventRestrictionContent (2)DE識別コード 10070054
2. データ定義	(1)定義 交通規制の大枠の内容を示す。 {規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),幅員減少(12),通行注意(13),その他(97),不明(98),無効データ(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),roadNarrowAheads(12),trafficCaution(13),others(97),unknown(98),invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99 ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.6
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2005/07/01
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム

	○ JH東京第二管理局交通管制システム 交通規制イベント規制内容 1: 通行止 2: チェーン規制 3: 80キロ規制 4: 70キロ規制 5: 60キロ規制 6: 50キロ規制 7: 40キロ規制 8: 車線規制 9: 対面通行 10: 交互通行 11: 移動規制 12: 流入制限 13: 路肩通行止 99: その他参考資料交通情報交換インターフェース基準仕様書 ○ 関東地建道路交通情報システム関連 規制内容 障害発生に伴う規制の内容を示す。 0: 規制なし、1: 通行止、2: 右左折規制、3: 速度規制、4: 車線規制、5: 片側規制、6: チェーン規制、7: オンランプ規制、8: 大型通行止、9: 移動規制、10: オフランプ規制、14: その他、15: 不明 参考資料関東地建道路交通情報システム仕様書 ○ その他 (2) データ定義内容 大枠の規制の内容を示す。 (3) その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1) 時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間 (2) 数値的な精度 (3) データ生成方法監視員による入力 (4) 信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される。
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/01/18 (1) 変更内容 ・定義内容を以下のように変更した。 「道路交通法」、「道路法」等やその付属法令に基づく交通規制の大枠の内容を示す。 (2) その他(変更時の検討内容など) 参考文献: 道路交通の管理と運用 Ver0.03 2000/02/18 (1) 変更内容 ・展開ガイドライン東北地方建設局道路関連情報事前情報提供パッケージの規制内容と定義や品質が共通であることを確認し、共通化した。当パッケージの定義は次の通り。 5 分周期 Ver0.04 2000/03/15 (1) 変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の展開ガイドラインの情報項目を共通化した。北海道開発局の他機関接続システムは、「夜間通行止(5)、冬期通行止(6)」のコードが若干異なっているため、コード定義に追加して共通化した。 ○ 日本道路公団高速バス情報提供システム 規制内容規制の内容 1: 規制なし、2: 通行止め、3: 速度規制、4: 車線規制、5: 片側規制、6: チェーン規制、7: オンランプ規制、8: 不明 ○ 九州地方建設局災害対応システム 規制内容規制の内容を示す。 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(9)} 情報更新 5 分周期 ○ 東北地方建設局道路関連情報事前提供システム 規制内容 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(8)} 5 分周期 ○ 四国地方建設局道路関連情報事前提供システム 規制内容 {規制なし(1)、通行止め(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、不明(8)} 5 分周期 ○ 北海道開発局他主体接続システム 規制種別 {全面通行止(1)、片側交互通行(2)、片側通行止(3)、車線規制(4)、夜間通行止(5)、冬期通行止(6)、大型車通行止(7)} Ver0.20 2002/03/15 (1) 変更内容 ・コードを「{規制なし(0)、通行止(1)、右左折規制(2)、速度規制(3)、車線規制(4)、片側規制(5)、チェーン規制(6)、オンランプ規制(7)、大型通行止め(8)、移動規制(9)、オフランプ

	規制(10),80キロ規制(11),70キロ規制(12),60キロ規制(13),50キロ規制(14),40キロ規制(15),対面通行(16),交互通行(17),流入制限(18),路肩通行止(19),夜間通行止(20)、冬期通行止(21),その他(22),不明(23) }」から「 { 規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),その他(97),不明(98),無効データ(99) }」へ変更した。 ・上記変更に伴い、外部表現形式を「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),speedLimit80km/h(11),speedLimit70km/h(12),speedLimit60(13),speedLimit50(14),speedLimit40(15),twoWayTraffic(16),AlternatingTraffic(17),inflowRestriction(18),roadShoulderRoadClosed(19),nightRoadClosed(20),roadClosedInWinter(21),others(22),unknown(23) }」から「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),others(97),unknown(98),invalidData(99) }」へ変更した。 ・上記変更に伴い、データ表現形式を「00..23」から「00..99」へ変更した。 ・「規制内容」及び「規制内容詳細」のコード内容が類似しており、統合化すべき内容であるためひとつのデータディクショナリ「規制内容詳細」に統合し、当該DDは削除していたが、「規制内容詳細」との違いを明確にし、登録ステータスを「invalid」から「recorded」へ変更した。 Ver0.6 2005/07/01 (1) 変更内容 リアルタイム路上規制入力システム(新道路情報提供システム)からの要求により、以下の変更(コード追加)をおこなった。 コード ASN 型を「 { 規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),その他(97),不明(98),無効データ(99) }」から「 { 規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),幅員減少(12),通行注意(13),その他(97),不明(98),無効データ(99) }」に変更した。外部表現形式を 「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),others(97),unknown(98),invalidData(99) }」から 「ENUMERATED {noDetails(0),closedToTraffic(1),turningRestriction(2),speedLimit(3),trafficLaneRestriction(4),oneSidedControl(5),chainRestriction(6),onRampControl(7),closedToLargeSizedSpecialVehicles(8),intransitRestriction(9),offRampControl(10),roadNarrowAheads(12),trafficCaution(13),others(97),unknown(98),invalidData(99) }」に変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15105 通行規制情報 DS

気象形態

1. DE名称	(1)クラス名／DE名 (ASN.1name) イベント情報／気象形態 eventWeatherPattern (2)DE識別コード 10070001
2. データ定義	(1)定義 気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、

	雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。 詳細なし(0),晴(1),雨(2),雪(3),霧(4),雷(5),風雨(6),雷雨(7),大雨(8),風雪(9),大雪(10),吹雪(11),地吹雪(12),凍結(13),凍結の恐れ(14),積雪(15),シャーベット(16),圧雪(17),雪崩(18),横風(19),台風(20),地震(21),洪水(22),河川氾濫(23),決壊(24),波浪(25),高潮(26),高波(27),越波(28),津波(29),噴火(30),土石流(31),薄雲(32)、曇(33)、砂じんあらし(34)、みぞれ(35)、あられ(36)、ひょう(37)、晴・曇(38)その他(98),無効データ(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOfFreezing(14),deepSnows(15),sherbet(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sideWind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..99 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.61
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/10(2)最終更新日 2005/07/27
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○道路管理に関するシステムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果) 日本道路公団 交通情報交換インタフェース仕様書 データ名:気象分類 定義{1:雨, 2:雪, 3:霧, 4:凍結, 5:横風, 6:風雨, 7:雷雨, 8:積雪, 9:吹雪, 10:凍結の恐れ, 11:高波, 12:台風, 13:地震, 99:その他} 気象イベントフォーマット 首都公団交通管制システムインタフェース仕様書 データ名:形態 定義:{141:強風, 142:凍結, 143:霧, 144:雪} 異常事態イベント 異常気象 首都公団 システム97 データ名:異常気象形態 定義:当該異常気象の形態を示すコード(人による判断で入力されるコード) {141:強風, 142:凍結, 143:霧, 144:雪, 145:雨*, 146:高波*, 147:地震*, 148:その他*} (2)データ定義内容 天候状態を、天候コードに合わせて示す。雲量がおおむね 80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね 80%以上の状態で、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね 1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。 {詳細なし(0),雨(1),雪(2),霧(3),雷(4),風雨(5),雷雨(6),大雨(7),風雪(8),大雪(9),吹雪(10),地吹雪(11),凍結(12),凍結の恐れ(13),積雪(14),シャーベット(15),圧雪(16),雪崩(17),

	横風(18),台風(19),地震(20),洪水(21), 河川氾濫(22),決壊(23),波浪(24), 高潮(25),高波(26),越波(27),津波(28), 噴火(29),土石流(30),その他(98),不明(99)} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 0～99 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴 (変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・定義を「天候状態を、天候コードに合わせて示す。雲量がおおむね80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね80%以上の状態、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。」から「気象とはある地域の気温・湿度・降水量・日照時間・雲量等を総合した大気の状態をいい、気象状態を、気象コードに合わせて示す。雲量がおおむね80%未満の状態、他の天候に該当しない場合を「晴」、雲量がおおむね80%以上の状態、他の天候に該当しない場合を「曇」、雨が降っている状態を「雨」、細かな水滴又は煙等が地面近くを覆い、その視界が概ね1km 未満又は、霧状の細かな水滴が雨状に振る状態を「霧」、雪、みぞれ、ひょう、あられが降っている状態を「雪」という。」へ変更した。 Ver0.61 2005/07/27 (1)変更内容 誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。 外部表現形式を 「ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOfFreezing(14),deepSnows(15),sherbert(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sidewind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)}」から 「ENUMERATED{notSpecified(0),fine(1),precipitation(2),snow(3),fog(4),thunder(5),windAndRain(6),thunderAndRain(7),heavyRain(8),windAndSnow(9),heavySnow(10),snowstorm(11),blowingSnow(12),freezing(13),fearOfFreezing(14),deepSnows(15),sherbet(16),snowCompaction(17),snowslide(18),sideWind(19),typhoon(20),earthquake(21),flooding(22),riverOverflow(23),leveeCollapse(24),waves(25),floodTide(26),highWaves(27),toppingWaves(28),tsunami(29),eruption(30),debrisFlow(31),thinCloud(32),overcast(33),dustStorm(34),sleet(35),graupel(36),hail(37),fineAndCloudy(38)others(98),invalidData(99)}」に変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報

・ 気象状態予測

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／気象状態予測 eventWeatherConditionForecast (2)DE識別コード 10070002
2. データ定義	(1)定義 現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測(今後の状態)を、気象状況予測コードとして示す。 {無効データ(0),強い(1),弱い(2),強まる(3),弱まる(4),解消(5),接近中(6),警報発令(7),注意報発令(8),解除(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),cautionAnnounced(8),cancelled(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/10 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果) 日本道路公団 データ名 : 気象状態 1:強い, 2:弱い, 3:強まる, 4:弱まる, 5:解消, 99:その他 気象イベントフォーマット 交通情報交換インタフェース仕様書 (2)データ定義内容 現場作業員が気象庁予報などを参考に判断した、気象状態予測(今後の状態)を、気象状況予測コードとして示す。 {強い(1),弱い(2),強まる(3),弱まる(4),解消(5),接近中(6),警報発令(7),注意報発令(8),解除(9)} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため外部表現形式(データ型)を 「ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),CautionAnnounced(8),cancelled(9)}」から 「ENUMERATED{invalidData(0),strong(1),weak(2),gettingStronger(3),gettingWeaker(4),subsiding(5),approaching(6),warningAnnounced(7),cautionAnnounced(8),cancelled(9)}」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報

・ 構造物種別

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 施設情報／構造物種別 facilityStructureType (2)DE識別コード 10040035
2. データ定義	(1)定義 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11),無効データ(99)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{roadSurface(1),shoulder(2),slopeFace(3),bridgeBeam(4),retainingWallAndBankProtection(5),crossingFacilities(6),tunnel(7),roadAccessory(8),utilityTunnel(9),occupiedProperty(10),other(11)invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/25 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ※システムモデルに基づくメッセージセットで定義された DE に対応 データ名 : 構造物種別 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11)} (2)データ定義内容 構造物の種別を表す {路面(1),路肩(2),法面(3),橋梁(4),擁壁・護岸(5),横断施設(6),トンネル(7),道路附属物(8),共同溝(9),占有物件(10),その他(11)} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 ・無効データの設定 Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・クラスを「計測情報」から「施設情報」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13001 変位観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13002 加速度観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13003 ひずみ観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13004 応力観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13005 土圧観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13006 間隙水圧観測装置 ・10000 個別システム用DS_13000 構造物状態観測データDS_13007 水位観測装置

・ 運営主体住所

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体住所 organizationAddress (2)DE識別コード 11010010
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の住所 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(40)) ②内部表現形式 (データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者住所 VARCHAR2(80) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の住所 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(40)」から「UTF8String(size(40))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(40)」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(40)」から「-」へ変更した。 Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため ASN.1name を「organizationAdress」から「organizationAddress」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体電話番号

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体電話番号 organizationTelNum (2)DE識別コード 11010011
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の電話番号 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式 (データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) -

	④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者電話番号 CHAR(13) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の電話番号 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「INTEGER(0..999999999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「9999999999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「0..9999999999」へ変更した。 Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・コード番号にアルファベットが含まれているコードがあるため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0..999999999)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「9999999999」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0..9999999999」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体 FAX 番号

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体 FAX 番号 organizationFaxNum (2)DE識別コード 11010012
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の FAX 番号 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(20)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO

6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者 FAX 番号 CHAR(13) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の FAX 番号 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(20)」から「INTEGER(0..9999999999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「K(20)」から「9999999999」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「K(20)」から「0..9999999999」へ変更した。 Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・コード番号にアルファベットが含まれているコードがあるため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0..9999999999)」から「UTF8String(size(20))」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「9999999999」から「-」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0..9999999999」から「-」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 運営主体 Email アドレス

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 運営主体情報／運営主体 Email アドレス organizationEmail (2)DE識別コード 11010013
2. データ定義	(1)定義 当該運営主体及び担当者の Email アドレス (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) OCTET STRING(size(0..256)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/03/10 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 関東地方建設局 特車行政手続き対応 申請者担当者 E_mail 名 VARCHAR2(40) (2)データ定義内容 当該運営主体及び担当者の Email アドレス (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.01 2001/03/15 (1)変更内容

	・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、クラス名を「3 運営主体情報」から「運営主体情報」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)を「OCTET STRING K(40)」から「OCTET STRING(size(0..256))」へ変更した。
9. 関連DS	00000 共通DS_04000 運営主体情報DS

・ 地整体制コード

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／地整体制名称 eventRegionalConstructionBureauSystemName (2)DE識別コード 10070082
2. データ定義	(1)定義 地整の体制を表す名称 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..64)) ②内部表現形式 (データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局 災害対応システム 事務所体制コード 事務所の体制を表すコード 1 整数 情報更新 5 分周期 地建体制コード 地建の体制を表すコード 1 整数 (2)データ定義内容 事務所、地建の体制を表す名称 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・DE 名を「体制名称」から「地整体制名称」へ変更した。 ・誤記のため、ASN.1name を「OfficeSystemName」から「eventRegionalConstructionBureauSystemName」へ変更した。 ・定義を「事務所、地建の体制を表す名称」から「地整の体制を表す名称」へ変更した。 ・外部表現形式(データ型)の設定方針の統一を図るため、「OCTET STRING」から「UTF8String(size(0..64))」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15500 道路管理者用情報 DS_15501 警戒体制

・ 震度

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name)
---------	------------------------

	イベント情報／震度 eventMeasuredScaleOfAnEarthquake (2)DE識別コード 10070006
2. データ定義	(1)定義 地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(1..8) ②内部表現形式 (データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..8 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/12 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース、OD 交通データ計測・予測システムタスクフォース、(H10 年度道路通信標準における検討結果) ○展開ガイドライン 九州地建災害対応システム データ名 日本道路公団東京第二管理局 イベント処理装置一局内システム データ名:計測震度 定義:計測される震度 ○道路管理に関するシステムタスクフォース、インテリジェント情報板システムタスクフォース、OD 交通データ計測・予測システムタスクフォース(H10 年度道路通信標準における検討結果) (2)データ定義内容 地震のときの地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすもの。各地に設置された震度計や気象台や測候所の担当者の判断により、気象庁の震度階級に基づき震度1～8で定義される。 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 5 分周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2000/01/20 (1)変更内容 ・以下の定義に変更した。 「地震のときの、地面の揺れが強いかわい、その程度を表わすものであり、各地に設置された震度計の計測により、気象庁の震度階級に基づき震度0～7の 10 階級で示される。」 (2)その他(変更時の検討内容など) 初期設定における表現の、「測候所の担当者の判断」、「震度1～8で定義」は以前用いられていた考え方であるため、現在行われている変更内容のように訂正を行った。 Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・以下のデータを共通化した。 ○展開ガイドライン 九州地建災害対応システム データ名 :震度 定 義 :マグニチュードを示す。 精度、単位:0.1 整数 Ver0.02 2000/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項

	目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム ○ 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため外部表現形式(データ型)を「INTEGER(10..80)」から「INTEGER(1..8)」へ変更した。 ・誤記のため内部表現形式(データフォーマット)を「99」から「9」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_12000 環境観測データDS_12100 気象 DS_12109 地震 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報

・ 震源規模

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 計測情報／震源規模 calculationEarthquakeScale (2)DE識別コード 10050072
2. データ定義	(1)定義 震源の規模(マグネチュード)を現す数値 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(0.. 999) ②内部表現形式 (データフォーマット) 99v9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0.. 99.9 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2001/08/01 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム (2)データ定義内容 震源の規模(マグネチュード)を現す数値 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・内部表現形式(データフォーマット)を「999」から「99v9」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0.. 999」から「0.. 99.9」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15107 気象情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15122 地震震源情報

・ 震源深さ

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 計測情報／震源深さ calculationCentrumDepth (2)DE識別コード 10050073
2. データ定義	(1)定義 震源の深さ(Km)を現す数値 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(0.. 9999) ②内部表現形式 (データフォーマット) 999v9

	③データ表現形式(実際の数値表現) 0.. 999.9 ④データ単位 Km
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2001/08/01 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局 東海道路災害情報共有システム (2)データ定義内容 震源の深さ(Km)を現す数値 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・誤記のため、外部表現形式(データ型)を「INTEGER(0.. 999.9)」から「INTEGER(0.. 9999)」へ変更した。 ・内部表現形式(データフォーマット)を「9999」から「999v9」へ変更した。 ・データ表現形式(実際の数値表現)を「0.. 9999」から「0.. 999.9」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15122 地震震源情報

・ 渋滞状況

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／渋滞状況 eventTrafficJamLesStatus (2)DE識別コード 10070070
2. データ定義	(1)定義 現状の渋滞状況を示す。 {渋滞なし(1),自由流(2),流れが悪い(3),渋滞中(4),混雑(5),断続渋滞(6),,無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{noJam(1),freeFlow(2),illFlow(3),jam(4),crowded(5),continuousJam(6),invalidData(9)} ②内部表現形式 (データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位 -
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 1999/12/15 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ JH東京第一管理局交通管制システム ○ JH東京第二管理局交通管制システム 渋滞状況 渋滞イベントフォーマット {渋滞中(1),流れが悪い(2)} 交通情報交換インタフェース仕様書 ○ 関東地建 道路交通情報システム関連 渋滞状況 渋滞区間の渋滞状況を示す。 {不明(0)、渋滞なし(1)、混雑(2)、渋滞(3)、(4)断絶渋滞、(5)～(15)未使用} ○ その他

	インテリジェント情報板情報(H10年度道路通信標準における検討成果) コード定義(コード名称: 渋滞 状況コード) 渋滞 混雑 自由流 (2)データ定義内容現在の渋滞状況を示す。 {渋滞なし(1),自由流(2),流れが悪い(3),渋滞中(4),混雑(5),断続渋滞(6),} (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される。
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/01/31 (1)変更内容 ・コードに「無効データ」を追加した。 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所 道路管理システム Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため ASN.1name を「eventTrafficDamLesStatus」から「eventTrafficJamLesStatus」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15101 渋滞情報

・ 時間交通量

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) 計測情報/1 時間交通量 calculationTrafficVolume60m (2)DE識別コード 10050007
2. データ定義	(1)定義 単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。 2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類は以下に示す通りとする。 2 車種分類は、車長の長さが 4.75m 以上の場合は大型車両とし、4.75 m 未満の場合は小型車両とする。 4 車種分類は、バスは、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75m 以上、床面高さが低いものとする。大型貨物は、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75 m 以上、床面高さが高いものとする。小型貨物は、車高が 3.5m 以上 4.0m 未満又は 1.5m 以上、車長が 4.75m 未満のもの。乗用車は、車高が 1.5m 未満のものとする。 11 車種分類は、歩行者類、自転車類、動力付き二輪車類、軽乗用車、乗用車、バス、軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車とする。 (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) INTEGER(0..999999) ②内部表現形式 (データフォーマット) 999999 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..999999 ④データ単位 台
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2002/03/15 (2)最終更新日 2002/10/28
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) (2)データ定義内容 単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。

	(3)その他 MS との調整により DE を追加した。
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 1 時間 (2)数値的な精度 0..999999、1 台 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/10/28 (1)変更内容 ・2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類を明確にするため、定義を「単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。」から「単位時間(1 時間)における通過車両の交通量である。2 車種分類・4 車種分類・11 車種分類は以下に示す通りとする。2 車種分類は、車長の長さが 4.75m 以上の場合大型車両とし、4.75 m 未満の場合は小型車両とする。 4 車種分類は、バスは、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75m 以上、床面高さが低いものとする。大型貨物は、車高が 2.0m 以上、車長が 4.75m 以上、床面高さが高いものとする。小型貨物は、車高が 3.5m 以上 4.0m 未満又は 1.5m 以上、車長が 4.75m 未満のもの。乗用車は、車高が 1.5m 未満のものとする。 11 車種分類は、歩行者類、自転車類、動力付き二輪車類、軽乗用車、乗用車、バス、軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車とする。」へ変更した。
9. 関連DS	交通量計測値

・ 災害の概略

1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/災害の概略 eventDisasterOutline (2)DE識別コード 10070038
2. データ定義	(1)定義 災害情報の概略を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..65536)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/02/29 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○展開ガイドライン北海道開発局他主体との接続パッケージ データ名:災害の概略 災害情報の概略を示す (2)データ定義内容 災害情報の概略を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 随時 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2:データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容

	・外部表現形式(データ型)を「UTF8String」から「UTF8String(size(0..65536))」へ変更した。
9. 関連DS	10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15109 災害情報

・ 復旧の概要

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／復旧概要 eventRestorationOutline (2)DE識別コード 10070041
2. データ定義	(1)定義 対策内容の説明、対策行程を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) UTF8String(size(0..65536)) ②内部表現形式(データフォーマット) - ③データ表現形式(実際の数値表現) - ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.20
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/02/29 (2)最終更新日 2002/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○展開ガイドライン北海道開発局他主体との接続パッケージ データ名:復旧概要 対策内容の説明、対策行程を示す (2)データ定義内容 対策内容の説明、対策行程を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) 随時 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.02 2001/03/15 (1)変更内容 ・定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム Ver0.20 2002/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)を「UTF8String」から「UTF8String(size(0..65536))」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15109 災害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15124 地震災害復旧情報

・ 応急復旧状況

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／応急復旧状況 eventEmergencyRestorationConditions (2)DE識別コード 10070093
2. データ定義	(1)定義 応急復旧時の復旧作業実施状況を示す。 { 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9) } (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),construction

	Completed(2),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 0..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.61
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2001/08/01 (2)最終更新日 2005/07/27
5. 最終設定者	JICE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム (2)データ定義内容 応急復旧時の復旧作業実施状況。 { 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9) } (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階)
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため外部表現形式(データ型)を 「ENUMERATED{NotInitiated (0), UnderConstruction (1), ContructionCompleted (2), DataInvalid (9)}」から 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),constructio nCompleted(2),invalidData(9)}」へ変更した。 Ver0.61 2005/07/27 (1)変更内容 誤記のため外部表現形式(データ型)の変更を行った。 外部表現形式を 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),constructio nCompleted(2),invalidData(9)}」から 「ENUMERATED{notInitiated(0),underConstruction(1),constructi onCompleted(2),invalidData(9)}」に変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15124 地震災害復旧情報

・ センサ種別

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) 装置識別情報／センサ種別 deviceDistinctionCollectSensorType (2)DE識別コード 12100001
2. データ定義	(1)定義 計測に利用するセンサの種別を示す (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED ②内部表現形式(データフォーマット) ③データ表現形式(実際の数値表現) ④データ単位
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス incomplete (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	更新日 (1)初期設定日 2002/03/15 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) (2)データ定義内容 計測に利用するセンサの種別を示す

	(3)その他 MS との調整により DE を追加した。
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) (2)数値的な精度 (3)データ生成方法 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) レベル 2: データの欠落は認めるが、欠落データについては補正データにより補完される
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため登録ステータスを「recorded」から「imcomplete」へ変更した。
9. 関連DS	運用定義 DS 処理機能設定 DS

・ 道路被害状況

1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／路面被害状況 eventRoadSurfaceDamage (2)DE識別コード 10070023
2. データ定義	(1)定義 路面の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),局所的な盛上がり(3),目地縁部の破損(4), 段差(5),土砂(6),落石(7),浸水(8),i 無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{deformationOfCrack(1),sinking(2),localSwelling(3), breakOfJoint(4),bump(5),soil(6),rockFall(7),inundation(8),invalid Data(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 路面被害状況 路面の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),局所的な盛上がり(3),目地縁部の破損(4),段差(5)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 路面の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報 項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の 項目の追加を行った。

	・土砂(6) ・落石(7) ・浸水(8)
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／路肩被害状況 eventShoulderDamage (2)DE識別コード 10070024
2. データ定義	(1)定義 路肩の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),段差(3),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{deformationOfCrack(1),sinking(2),bump(3),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 路肩被害状況 路肩の被害状況を示す {クラックの変形(1),陥没(2),段差(3)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 路肩の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／法面被害状況 eventSlopeFaceDamage (2)DE識別コード 10070025
2. データ定義	(1)定義 法面の被害状況を示す{クラック(1),崩壊(2),落石(3),浮石(4),保護工破損(5),排水工破損(6),落石防止工破損(7),その他法面に設置された施設破損(8),流出(9),無効データ(99)} (2)データの表現

	①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crack(1),collapse(2),rockfall(3),crumblingRock(4), protectionCollapse(5),drainCollapse(6),collapseOfAntiRockfallSystem(7),collapseOfOtherFaceOfSlopeFacilities(8),runoff(9),invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1) 登録ステータス recorded (2) 版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1) 初期設定日 2000/01/06 (2) 最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1) 対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 法面被害状況 法面の被害状況を示す {クラック(1),崩壊(2),落石(3),浮石(4),保護工破損(5),排水工破損(6), 落石防止工破損(7),その他法面に設置された施設破損(8)} 情報更新 5 分周期 (2) データ定義内容 法面の被害状況を示す (3) その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1) 時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2) 数値的な精度 (3) データ生成方法監視員による入力 (4) 信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1) 変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1) 変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。 ・流出(9) Ver0.31 2003/03/15 (1) 変更内容 ・外部表現形式(データ型)のコード内容のうち「collapseOfAnti-rockfallSystem(7)」を「collapseOfAntiRockfallSystem(7)」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1) クラス名/DE名 (ASN.1name) イベント情報/橋梁破損状況 eventBridgeDamage (2) DE識別コード 10070026
2. データ定義	(1) 定義 橋梁破損状況 {床版コンクリート亀裂(1),橋面舗装の盛上がり(2),地覆亀裂(3),高欄破損(4),伸縮継手溶接箇所の破損(5),伸縮継手の変形亀裂(6),主構部の変曲・ねじれ(7),主構部切損・亀裂(8),コンクリート桁のクラック(9),下部工破損(10),下部工沈下傾斜(11),その他添加物(占有物件)破損(12),落橋(13),橋面開き(14),橋面段差(15),無効データ(99)} (2) データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crackInFloorConcrete(1),swellingOfPavementOfB

	ridge(2),crackInPavementOfSurface(3),breakageOfHandrail(4),breakageOfWeldingPartOfExpansionJoint(5),deformationOfExpansionJoint(6),deformationOrTwistingOfMainStructure(7),crackInMainStructure(8),crackInConcreteSpar(9),collapseOfSubstructure(10),submersionOrSlantOfSubstructure(11),otherBreakageOfFacilities(12),fallABridge(13),openOfBridge(14),bumpOfBridge(15),invalidData(99)} ②内部表現形式(データフォーマット) 99 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..99 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○九州地方建設局災害対応システム 橋梁破損状況橋梁破損状況 {床版コンクリート亀裂(1),橋面舗装の盛上がり(2),地覆亀裂(3),高欄破損(4),伸縮継手溶接箇所の破損(5),伸縮継手の変形亀裂(6),主構部の変曲・ねじれ(7),主構部切損・亀裂(8),コンクリート桁のクラック(9),下部工破損(10),下部工沈下傾斜(11),その他添加物(占有物件)破損(12)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 橋梁破損状況 (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。 ・落橋(13) ・橋面開き(14) ・橋面段差(15)
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/擁壁・護岸被害状況 eventRetainingWallRevetmentDamage (2)DE識別コード 10070027
2. データ定義	(1)定義 擁壁・護岸の被害状況を示す{擁壁のクラック(1),擁壁の目地切れ(2),擁壁のはらみ出し(3),擁壁の滑動(4),護岸の背面土砂のクラック空隙(5),沈下移動(6),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型)

	ENUMERATED{crackInRetainingWall(1),crackInJointOfRetainingWall(2),localSwellingOfRetainingWall(3),deformationOfRetainingWall(4),crackOfBackFillOfSeaWall(5),submersion(6),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.30
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2002/07/01
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 擁壁・護岸被害状況 擁壁・護岸の被害状況を示す {擁壁のクラック(1),擁壁の目地切れ(2),擁壁のはらみ出し(3),擁壁の滑動(4),護岸の背面土砂のクラック空隙(5),沈下移動(6)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 擁壁・護岸の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム Ver0.30 2002/07/01 (1)変更内容 ・誤記のため ASN.1name を「eventRetainingWall/RevetmentDamage」から「eventRetainingWallRevetmentDamage」へ変更した。
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名／DE名(ASN.1name) イベント情報／横断施設被害状況 eventCrossingFacilityDamage (2)DE識別コード 10070028
2. データ定義	(1)定義 横断施設の被害状況を示す {横断歩道橋の桁・支柱の異常(1),横断歩道橋の桁継手部の破損(2),横断歩道橋の基礎の異常沈下(3),地下横断歩道の異常(4),地下横断歩道の排水ポンプの異常(5),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{troubleWithPoleOrSparOfPedestrianBridge(1),breakageOfJointOfPedestrianBridge(2),submersionOfFoundationOfPedestrianBridge(3),troubleWithPedestrianTunnel(4),troubleWithDrainPumpOfPedestrianTunnel(5),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded

	(2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 横断施設被害状況 横断施設の被害状況を示す {横断歩道橋の桁・支柱の異常(1),横断歩道橋の桁継手部の破損(2), 横断歩道橋の基礎の異常沈下(3),地下横断歩道の異常(4),地下横断歩道の排水 ポンプの異常(5)} (2)データ定義内容 横断施設の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成 方法など	(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変 更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化し た。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/トンネル被害状況 eventTunnelDamage (2)DE識別コード 10070029
2. データ定義	(1)定義 トンネルの被害状況を示す {覆工照明機器等の破損(1),覆工の亀裂(2),漏水等の異常(3),門及び坑門付近斜 面の崩壊(4),換気装置の破損(5),照明設備の破損(6),非常用施設の破損(7),覆面 崩壊(8),無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{breakageOfLiningLighting(1),crackInLining(2),le akageOfWater(3),collapseOfGateOrGateSlope(4),breakageOfVentil ation(5),breakageOfLightning(6),breakageOfEmergencyFacilities(7),collapseOfAMask(8),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム トンネル被害状況 トンネルの被害状況を示す{覆工照明機器等の破損(1),覆工の亀裂(2),漏水等の異 常(3),門及び坑門付近斜面の崩壊(4),換気装置の破損(5),照明設備の破損(6),非 常用施設の破損(7)} 情報更新 5 分周期

	(2)データ定義内容 トンネルの被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性)データ生成は随時、データ更新は5分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 ①定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム ○ 中部地方整備局東海道路災害情報共有システム ②中部地方整備局東海道路災害情報共有システムで使用する以下の項目の追加を行った。 ・覆面崩壊(8)
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名/DE名(ASN.1name) イベント情報/道路附属物被害状況 eventRoadAccessoriesDamage (2)DE識別コード 10070030
2. データ定義	(1)定義 道路附属物の被害状況を示す {照明・標識等のポール・支柱のわん曲(1), 灯具取付部の破損(2), 自転車駐車場の倒壊・亀裂(3), 無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{bendingOfLightingPoleOrRoadSigns(1), breakageOfLightingConnection(2), troubleWithBicycleParking(3), invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.10
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2001/03/15
5. 最終設定者	HIDE
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 道路附属物被害状況 道路附属物の被害状況を示す {照明・標識等のポール・支柱のわん曲(1), 灯具取付部の破損(2), 自転車駐車場の倒壊・亀裂(3)} 情報更新 5分周期 (2)データ定義内容 道路附属物の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は5分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変	Ver0.10 2001/02/01

更毎に追記)	(1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム
9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS_15123 地震災害情報
1. DE名称	(1)クラス名／DE名 (ASN.1name) イベント情報／共同溝被害状況 eventCommonDuctDamage (2)DE識別コード 10070031
2. データ定義	(1)定義 共同溝の被害状況を示す {躯体の亀裂(1),継手部漏水(2),マンホール換気口の異常(3),その他排水、換気、照明、配電設備等の破損(4)、無効データ(9)} (2)データの表現 ①外部表現形式(データ型) ENUMERATED{crackInBody(1),leakageOfWaterFromJoint(2),troubleWithManhole(3),otherBreakageOfDrainageVentilationLightingElectricalSupply(4),invalidData(9)} ②内部表現形式(データフォーマット) 9 ③データ表現形式(実際の数値表現) 1..9 ④データ単位-
3. 登録ステータス	(1)登録ステータス recorded (2)版数 0.31
4. 初期設定・最終更新日	(1)初期設定日 2000/01/06 (2)最終更新日 2003/03/15
5. 最終設定者	HIDO
6. 初期データ定義内容	(1)対象サービス、システム(名称、構成、概要等) ○ 九州地方建設局災害対応システム 共同溝被害状況 共同溝の被害状況を示す {躯体の亀裂(1),継手部漏水(2),マンホール換気口の異常(3),その他排水、換気、照明、配電設備等の破損(4)} 情報更新 5 分周期 (2)データ定義内容 共同溝の被害状況を示す (3)その他
7. データ品質、機能、作成方法など	(1)時間性能(実時間性) データ生成は随時、データ更新は 5 分間周期 (2)数値的な精度 (3)データ生成方法監視員による入力 (4)信頼性(データの欠落の発生に対する許容段階) 特になし
8. データ定義変更履歴(変更毎に追記)	Ver0.10 2001/02/01 (1)変更内容 無効データの設定 Ver0.10 2001/03/15 (1)変更内容 定義内容や品質が同様と考え以下の実証検討対象システムの情報項目を共通化した。 ○ 栃木県大田原土木事務所道路管理システム Ver0.31 2003/03/15 (1)変更内容 ・外部表現形式(データ型)のコード内容のうち 「otherBreakageOfDrainage,ventilation,lighting,electricalSupply(4)」を「otherBreakageOfDrainageVentilationLightingElectricalSupply(4)」へ変更した。

9. 関連DS	・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15121 災害被害情報 ・10000 個別システム用DS_15000 道路交通関連情報 DS_15100 事象情報 DS__15123 地震災害情報
---------	--

3.2. 河川基幹データベースシステム標準仕様(案)第 2.1 版

本章では、災害情報データ辞書(案)で引用する河川基幹データベース標準仕様(案)に定義された型を示す。なお、データ辞書(案)において引用する部分のみをプロファイルするものであり、全体を示すものではない。

型名	概略
河川番号	河川を識別するための型
水系名	水系を記述するための型
河川名	河川名を記述するための型
左右岸	左右岸を記述するための型
河川構造物種別	河川構造物の種別を記述するための型
施設管理区分	河川構造物を管理する区分

- 河川番号

型名	河川番号
データ型	CharacterString
データ長	16
定義	河川を識別するための番号
備考	

- 水系名

型名	水系名
データ型	CharacterString
データ長	40
定義	水源から共通の流出口に至る一連の流路の集合。本流とその支流、それらに接続する湖・沼なども含む。
備考	

- 河川名

型名	河川名
データ型	CharacterString
データ長	40
定義	河川法における河川の名前。 一級河川及び二級河川を指す。「一級河川」とは、国土保全上又は国民経済上特に重要な水系で政令で指定したものに係る河川(公共の水流及び水面をいう。以下同じ。)で国土交通大臣が指定したものをいう。「二級河川」とは、前条第一項の政令で指定された水系以外の水系で公共の利害に重要な関係があるものに係る河川で都道府県知事が指定したものをいう。
備考	

- 左右岸

型名	左右岸
データ型	CharacterString
データ長	2
定義	左岸及び右岸の別
備考	値として左または右をとる。

- 河川構造物種別

型名	河川構造物種別		
データ型	CharacterString		
データ長	0, 5		
定義	河川構造物の種類を識別する番号		
備考	以下の値をとる		
構造物種別	属性番号	構造物種別	属性番号
ダム	01	揚水機場	07
堰	02	排水機場	08
樋門・樋管	03	橋梁	09
水門	04	観測施設	10
閘門	05	堤防	11
陸閘	06	護岸	12
緊急河川敷道路	90	緊急船着場	91

*本データ辞書(案)で拡張

施設管理区分

型名	施設管理区分		
データ型	CharacterString		
データ長	10		
定義	施設を管理する主体		
備考	以下の値をとる		
管理区分	属性番号	管理区分	属性番号
国	01	許可工作物	04
県	02	兼用工作物	05
市町村	03	その他	06

4. JMP2.0（日本版メタデータプロファイル）

災害情報データ辞書(案)においてメタデータの仕様は, JMP2.0 を採用する。なおメタデータは災害後に, 収集した情報を管理する場合等の説明情報として用いる。

JMP2.0 の仕様は, 別添 1「JMP2.0 仕様書（国土地理院技術資料 E1-No.281）」による。

災害情報データ辞書(案)においてメタデータの仕様として, JMP2.0 を採用する。なおメタデータは災害後に, 収集した情報を管理する場合等の説明情報として用いる。

JMP2.0 の仕様は, 別添 1「JMP2.0 仕様書（国土地理院技術資料 E1-No.281）」による。

国土技術政策総合研究所

TECHNICAL NOTE of N I L I M

N o . 405

June 2007

編集・発行 © 国土技術政策総合研究所

本資料の転載・複写の問い合わせは

〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地

企画部研究評価・推進課 TEL029-864-2675